
スーパーマリオスタジアムキャラで逃走中

アクアイド

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スーパーマリオスタジアムキャラで逃走中

【Nコード】

N9996V

【作者名】

アクアイド

【あらすじ】

ベースボールアイランドを舞台に、スーパーマリオスタジアムのキャラ46人が逃走中をくり広げる！

始まりと賞金と人数（前書き）

小学6年生ですが、頑張って小説を作りたいです。

始まりと賞金と人数

アクアイド「今回から初めて書きます。出来れば見てください。」

マリオ「早く始める!」

アクアイド「すぐ始めるから、待ってる!」

ルイーダ「今回は何人でやるの?」

アクアイド「46人だ!」

全員「多っ!」

アクアイド「待て!スマブラxでも36人いるから!そして、3日間逃げ切れば、500万円もらえる!」

全員「長っ!」

クッパ「ちよつと待て!いくらなんでも長すぎるぞ!」

アクアイド「賞金が多いからいいじゃん!」

クッパ「・・・分かった・・・」

次回はキャラ、マップ紹介!

始まりと賞金と人数（後書き）

マリオ「ところで、ハンターは何人だ？」
アクアイド「3人。」

マリオ「よし頑張るぞ！」

45人（マリオ以外）「おう！」

参加者とマップと説明（1）（前書き）

特撮好きなので、仮面ライダーオーズのようなサブタイトルになっています（ただし時々）。

また、行を変えて投稿するようにします。

参加者とマップと説明（1）

参加者46人の説明　スーパーマリオスタジアムミラクルベースボールのキャラ。

ちなみに能力はファミリースポールから。今回はミラクルベースボールで言うバランス、テクニクタイプのキャラ。

マリオ

一応主人公。だけど性格が悪い時もある。

一人称は俺。

足は少し早い。ミッションには賞金関係以外行かない。

ルイージ

他の作者さんの逃走中ではひどい目に逢うことが多い。

一人称は僕。

足はマリオより少し早い。ミッションには基本行く。

デイジー

元気な、サラサランドの姫。

一人称は私。

足はやや遅い。ミッションにはハンター関連のみ行く。

キャサリン

オカマだが、ヨッシーに好意を寄せている。

一人称はあたし。

足は普通。頼りたいので、ミッションには前半のみ行く。

キノピオ（赤・青・黄・緑・紫）

キノコ頭の住民。

一人称は赤が私で青が僕で黄がワイで緑と紫が俺。

足は少し早く、黄・赤・紫・緑・青の順に早くなる。

ミッションには、基本行く。

ヘイホー（赤・青・黄・緑・黒）

仮面を被った兵隊。

一人称は僕だが、黒のみ俺。

足は普通で、青・黒・赤・黄・緑の順に早い。

ミッションには行かない。

クリボー

一回踏むだけで倒せる、敵。

一人称は俺。

足はやや遅い。ミッションには行くが、協力系は行かない。

ノコノコ（緑・赤）

立つことのできる亀。

一人称はオレッチ（マリストのカメキからとっている）

足は普通で、緑のほぅが若干速い。

ミッションの参加は気まぐれ。

ピーチ

キノコ王国の姫。

一人称は私。

足はやや遅い。ミッションには基本行く。

ワルイージ

ワリオの相棒。悪いことを考えることが多い。

一人称は俺。

足は遅い。ミッションには行かない。

テレサ

人気の高い敵、お化け。

一人称は僕。

足は意外に早い。ミッションには行かない。

キノじい

キノピオ族の長老。

一人称はわたくし。

足はかなり遅い。ミッションには行かない。

パタパタ（赤、緑）

羽根の生えたノコノコ。

一人称は私（ノコノコと同じでパレットから取った）。

足はやや早い。ミッションには基本行く。

カメック（赤、青、黄、緑）

魔法使いの亀。

一人称は私。

足はかなり遅く、緑・青・黄・赤の順に遅くなる。
ミッションには行く時と行かないときがある。

カロン（白・緑・黒・青）

骨になったノコノコ。

一人称は俺。

足は普通で、黒・青・白・緑の順に早くなる。
ミッションには行かない。

参加者とマップと説明（1）（後書き）

続きは一週間後までかな。

参加者とマップと説明（2）（前書き）

参加者とマップと説明（1）の続き。今回はスピード、パワータイ
プ。

参加者とマップと説明(2)

ヨッシー

緑色の恐竜。

一人称は私。

足が一番速い。ミッションには結構行く。

デイドー

帽子をかぶったサル。

一人称はオイラ。

足は結構速い。ミッションにはマリオと同じで賞金関係のみ行く。

ベビーマリオ

マリオの幼少時代。

一人称は僕。

足は速い。ミッションには行かない。

パタクリボー

羽根の生えたクリボー。

一人称はオイラ。

足はやや速い。ミッションには行かない。

マール(青・赤・緑)

貝殻の民族。

一人称は私。

足は速く、赤・緑・青の順に速くなる。
ミッションには行く。

ドンキーコング

ネクタイを付けたゴリラ。

一人称は俺。

足は遅い。

ミッションには行かない。

クッパ

トゲの生えた亀。

一人称は吾輩。

足は一番遅い。ミッションには行かない。

ワリオ

悪いマリオ。

一人称は俺。

足は遅い。ミッションはマリオと同じ（ry

クッパJr.

クッパの子供。

一人称は僕。

足は意外に速い。ミッションには父が行かないと行かない。

キングテレサ

テレサのキング。

一人称は俺。

足は遅い。ミッションには行かない。

モンテ（青・赤・黄）

ヤシの木が生えた民族。

一人称は俺。

足は遅く、黄・青・赤の順に遅い。

ミッションにはマールが行くなら行く。

マップ

ベースボールアイランド（スーパーマリオスタジアム ファミリー

ベースボールの舞台）

エントランス

港

マリオスタジアム

ピーチリンク

ヨッシーパーク

ワリオシティ

DKジャングル

次回スタート！

参加者とマップと説明（2）（後書き）

クツパ「吾輩の説明適當すぎるだろ！」

アクアイド「間違っていないからいーじゃん！」

クツパ「……………」

オープニングゲームパート1（前書き）

一応言っていますが、ギャグ要素があります。

オープニングゲームパート1

マリオ「オーピングゲームだ！」

45人「イエーイ！」

アクアイド「ちょっと言い忘れていたことがあった！」

「ええええええええええええええええ！」

マリオ「早くしろよ！」

アクアイド「待て！」

アクアイド「エントランスに、自首用電話を設置してある。」

「しかし、電話をかけるためには1コインが必要だ。」

アクアイド「そこで、君たちに10コインをあげよう。」

「アクアイド」このコインは、食糧などを一つにつき全て1コインで買うことができる。」

アクアイド「どう使うかは、君たちの自由だ。」

「パタクリボー、そういえば、オープンングゲームはなんだ？」

「アクアイド、鎖を引くゲームだ。」

アクアイド「ではくじを引け。なお、鎖にはアイテムもあるからな。」

マリオ「鎖46本あるからな!」

ルイーダ「5番!アイテムが引けそうだ!」

マリオ「38番か。ひけなさそうだな。」

緑ヘイホー「うわあ、15番。たいていここでハンター放出するんだよなあ・・・」

1番目は青キノピオ。

青キノピオ「じゃあ、青紫ひきます!」

ルイーダ「1番目からは引かないよな。」

グイツ! ガゴン!

3体のハンターが放出された・・・

ルイーダ「まじかよ!?!」

油断していたルイーダ。青キノピオに抜かれ・・・

「ポン」

ルイーダ「ぐわあゝ!」ルイーダ確保残り45人

というワルイージの妄想だった。

45人「妄想かよ!」

青キノピオ「次回は本当にひくよ!」

オープニングゲームパート1（後書き）

逃走中同盟の皆さんとも仲良くしていきたいです。

オープニングゲームパート2（前書き）

文字がまだ足りない…

オープニングゲームパート2

青キノピオ「えいつ！」

グイッ！

シーン…

青キノピオ「セーフなので、逃げますね。」

青キノピオはそう言うつもりでワリオシティのほうに行った。

この後、テレサが薄ピンク、黒ヘイホーが黒、クッパが黄土色を出してセーフ。

5番目はルイージ。

マリオ「ルイージー！おまえはほかの小説ではひどい目にあってるから頑張れよー！」

ルイージ「黄緑を引く！」

ルイージ「てえいやつつつつつつあああああー！」

マリオ「気合入り過ぎ！」

グイッ

シーン……

ルイージ「セーフだ！何か書いてある・・・」

そこには冷凍銃と書いてあった！

ルイージは冷凍銃をもらい、去って行った。

その後、12番手の黄色ヘイホーが赤を引いて足の速さを2倍にできるスピードシューズを、15番手の緑ヘイホーが水色を引いて全部で1時間使える羽根を、19番手のヨッシーが白を引いて逃走者の位置を知らせるナビをゲットした。

20番手はヘイホー。

ヘイホー「銅色引きます！」

残り28人「渋い！」

グイッ！

シーン…

ヘイホー「この鎖」「ハンタードール」「って書いてあります！」

マリオ「なんだそりゃ！」

アクアイド「自分が確保されたときに、5分間の間に誰かを確保すれば復活できるというものなのだが・・・」

29人「え？」

アクアイド「実は陰で（公開するつもりはない、それにつまらない）逃走中を3週間前にやったのだが、このハンタードールを着た逃走者がほかの逃走者を確保した後に熱中症になって倒れた。」

キングテレサ「それでどうなったんだ？」

アクアイド「・・・3日後に息を引き取った。」

29人「ええっ！」

アクアイド「嘘。」

29人「きつぱり言うな！」

アクアイド「というわけで今回は、ハンターバッジを用意している。」

「

ハイホー「ありがとうございます！」

その時。

ハンタードール「グオオッ！！オマエラオスオマエラオス！」

何とどこからともなくハンタードールが襲ってきた！

29人「ええっ！」

そしてその後から3人の人影・・・

いったい何者なのか・・・

オープニングゲームパート2（後書き）

突然の展開！

急展開！デビルハンタードール（前書き）

この場にいない逃走者

1 番目青キノピオ

2 番目テレサ

3 番目黒ヘイホー

4 番目クツパ

5 番目ルイージ

6 番目黄キノピオ

7 番目赤マール

8 番目青モンテ

9 番目ディディー

10 番目ドンキー

11 番目赤ノコノコ

12 番目黄ヘイホー

13 番目ワリオ

14 番目クリボー

15 番目緑ヘイホー

16 番目パタパタ

17 番目ワルイージ

18 番目緑キノピオ

19 番目ヨッシー

ヘイホーはまだ逃げていない。

つまりここにいるのは27人。

そして、次回は長い技の名前が出てきます。

後、今回は名前の後に何番に引くかが出てきます。

急展開！デビルハンタードール

変な奴1「俺達は新たな帝国を作り、この逃走中を支配しようとしている。」

マリオ（38）「逃走中だけかよ！」

変な奴2「その名は超集団メルザス。」

青ヘイホー（26）「（こっちの質問無視しやがったー！）」

変な奴3「そして、ハンタードールは使われなくなった恨みを利用してデビルハンタードールとなったのさ。」

緑マーレ（37）「デビルハンタードール・・・」

アクアイド「正体を見せる！」

変な奴1「いやいやいや、見せたら小説としての面白みが無くなるじゃん。」

キングテレサ（29）「小説の はなし 話すなー！」

変な奴3「というわけで、正体は見せられないんだ。」

ベビイマリオ（34）「じゃー、スター。」

変な奴3人「え」

変な奴1「てかさつきから変な奴ばつか書くな！」

ベビィマリオ「じゃ、正体を見せるために」

ベビィマリオ「パワフルベビィアタック！」

変な奴3人組「ぐわっ！」

正体はいかに！？

マリオ「続くんかい！」

アクアイド「だって更新したの昼だし、昼飯食わないと。」

パタクリボー（42）「ならしょうがないな。」

ちなみにベビィマリオがスターと言った理由はパワフルベビィになるためです

（スターもちゃんと持ってた）

急展開！デビルハンタードール（後書き）

ルイージ「僕たち前書きと後書きしか出てないね。」
緑ヘイホー「次回はきつと出れますよ！」

超決闘！デビルハンタードール集団（前書き）

ここにいる逃走者

マリオ

デイジー

キャサリン

赤・紫キノピオ

赤・青ヘイホー

ノコノコ

ピーチ

キノじい

緑パタパタ

青・赤・緑・黄カメック

白・緑・黒・青カロン

ベビィマリオ

パタクリボー

青・緑マール

クッパ jr

キングテレサ

赤・黄モンテ

これにアクアイドを足して28人になる。

デビルハンターが脅威を見せる！

ちなみに今回も番号つきです。

超決闘！デビルハンタードール集団

俺達の正体は・・・

アルファ！

ベータ！

ガンマ！

アルファ「俺はメルザスの最強の王。」

ベータ「俺はアルファの次に強い隊長。」

ガンマ「そして俺はベータの次に強い副隊長だ！」

マリオ（38）「やっと出てきたな！」

アルファ「だが、俺たちは戦わない。」

グリーンカロン（31）「何！？」

ベータ「戦うのはこいつらだ！」

と、ベータが言うと、後ろからデビルハンタードールがなんと99体出てきた！

ガンマ「この1000体ハンターに勝てるかな？クッククク・・・」

といい3人は不気味に去って行った。

青ヘイホー(26)「マスクブーメラン(予備のマスクをブーメランとして投げる)！」

スパッ！

ガンマ「イテッ！」

不気味に…去って…行った…

ブルーカロン(36)「青ヘイホー、雰囲気をぶち壊すな！」

青ヘイホー「すみません。」

それでも去って行った。

そして1000体のデビルハンタードールが28人に襲いかかった！

アクアイド「行くぞみんな！」

27人「おう！」

こうして死闘が始まった！

なお、どうして隠れた19人が気付かないかは考えてはいけない。

19人「結局出番なしかよ！」

ここから番号なくなります

マリオ「ウルトラファイア！」

デイジー「ローズ五月雨ニードル！」

キャサリン「スーパー吹き飛ばし！」

赤・紫キノピオ「スーパーキノコボム！」

デビルハンタードール達「グワアア！」

マリオ「アヒルみたいだな！」

デビルハンタードール「グワツグワツグワツ」

マリオ「本当になった！」

デビルハンタードール達「サスナボケー！」

ドカドカドカ！

マリオ「ぎゃあああああ」

マリオ「行くぜ赤モンテ！」

赤モンテ「おう！」

マリオは天高く飛んで行った！

デビルハンタードール達「ナンダ？」

するとマリオが急落下！

マリオ「流星ジャンプ！」

ドオオオオオオオン！

デビルハンタードール達「グワアアアアアアア」

カメック4人「超魔方阵！」

なんとデビルハンタードール達を一瞬のうちに消し去ってしまった！

カロンの4人「必殺ボーンアタック！」

ズドオオオオオオン！

デビルハンタードール達「ギャアアアアアアアア」

ヘイホー2人「キングキラードライダー！」

なんと巨大なキラードに乗って突進してきた！

ズガガガガガガガッ！

デビルハンタードール達「ドワアアアアアアアアアア」

ノコノコ「シエルアタック！」

ガガガガガガガガッ！

デビルハンタードール達「ダァァァ！」

ピーチ「ヒステリックボム！」

ズガガガガドーン！

デビルハンタードール達「デュワァァァァァァ！」

デビルハンタードール達「ジイサンニナニガデキル！」

キノじい「必殺！杖突風！」

ビュオオオオオオオオオオ！

デビルハンタードール達「グワァァァァァァ！」

その他もろもろありまして。

残りの逃走者「俺たちの活躍カットかよー！」

ついに倒したのだ！

やったぜ！

アクアイド「じゃあ21番目は誰だ？」

キャサリン「あたしよー！」

キャサリン「銀を引くわ！えい！」

ぐいつ！

ガゴン！

3体のハンターが放出された・・・

キャサリン「キャーーーーー！」

「ポン」

キャサリン「ああ・・・」キャサリン確保残り45人

さらに・・・

ズテッ！

なんとワリオ、転んでしまった！

「ポン」

ワリオ「なんでこういう時に転ぶんだよー！」ワリオ確保残り4人

マリオ「ついに始まったか・・・」

赤キノピオ「何々メールが届いてます」

パタパタ「港にてキャサリン確保 多分引いたんでしょーうね・・・。

「

黒ヘイホー「ワリオ確保残り44人　なんで2人も減ったんだ!？」

ついに本格的スタート!

超決闘！デビルハンタードール集団（後書き）

のちに超集団メルザスの事は全逃走者にメールで送られました。

驚き！店員の正体！そして苦渋の選択・・・（前書き）

今回は戦隊好きじゃないとわからないネタが多数あります。
後、全員戦隊好きとしています。

驚き！店員の正体！そして苦渋の選択・・・

青キノピオ「まずは、食糧補給をしなくては。」

マリオスタジアムの店へ行く青キノピオ。

そこには・・・

？「あ、いらつしゃい！」

青キノピオ「あなたは！激走戦隊カーレンジャーの、レッドレーサーの、陣内恭介さんですね！」

普通は激走戦隊カーレンジャーの皆さんは自動車会社ペガサスで働いています。

知らない人は検索してね。

恭介「どうしたの？」

青キノピオ「ってことは、他の店員も・・・」

その頃ピーチリンクの店

ブラッディカロン「ウィース。食べ物買いに来たぜ。」

？「あ、いらつしゃい。」

ブラッディカロン「あ、イエローレーサーの志乃原菜摘さん！」

菜摘「雇われてここに来たの。」

ヨッシーパークの店

青へいほー「すみませーん。」

？「はい、なんでもございますか？」

青へいほー「ブルーレーサーの、土門直樹さん！」

ワリオシティの店

黄色カメック「入らせてもらいますよ。」

？「誰？」

黄色カメック「あ、ピンクレーサーの、八神洋子さん！」

DKジャングルの店

赤ノコノコ「アイテムを買わないと・・・」

？「おう、いらっしやい！」

赤ノコノコ「グリーンレーサーの、上杉実さんじゃないですか！」

そう、全ての店の店員はペガサスの社員である。

雇ったのはアクアイド。

46人「お前かよ！」

プルルルル！

ルイージ「メール？」

テレサ「ミッション1これから、裏切り者の投票をする」

赤マーレ「残り時間71時間までに裏切り者の投票をせよ」

緑キノピオ「投票しないと強制失格」どうする・・・

マリオ「こいつだけだよ。」

ピーチ「あなただけよ！」

グリーンカロン「こいつしかいないよな・・・」

ぶるるるるる

ヨッシー「なぜ平仮名表記！？」

紫キノピオ「投票が終わった。」さて誰になったのかな・・・

驚き！店員の正体！そして苦渋の選択・・・（後書き）

次回初の正統派ミッション！

8人の追加戦士を解き放て！（前書き）

mission 2 始動！

mission の数はそれほど多くないが、長編になりそうだ…

8人の追加戦士を解き放て！

マリオストーリーの地図各地にて

キノコタウン

チヨロプー「いよいよか」

ノコノコ村

キノピコ「早く行きたいな」

ゴツゴツ山

ベビィルイージ「絶対逃げ切るでしゅ！」

テレサのお屋敷

ボスパックン「大丈夫かなあ…」

ジャンボル島

デイクシー「逃げ切るぞー！」

フラワーランド

ハンマーブロス「俺たちブロス族を認めてもらおうぜ！」

ファイアブロス「了解！」

ブーメランブロス「おう！」

車掌「準備はいいか！？」

係員「大変です！電気が無くなっています！さらに・・・」

係員「今電車がある所に、隕石が落ちてくるとのこと！」

車掌「何！？」

所変わって

ルイージ「12時スタートか・・・」

ちなみに今日は、小説を書き始めた8月21日の午後0時。

つまり逃走劇の終わりは、8月24日午後0時。

その頃

アルファ「電気を奪ったのも、隕石を落としたのも俺達さ。」

ベータ「ふっ・・・隕石が落ちれば、あの8人は死も確実だな。」

アクアイド「こんなことをするのはメルザスしかない！」

ブルルルルル

青キノピオ「何でしょうか…mission2!？」

黄ヘイホー「マリオストーリーのさまざまな地域から逃走エリアに向かうミラクルベースボールの隠しキャラの逃走者の乗る電車の電気が奪われた。」

緑キノピオ「残り70時間30分になると隕石が落ち8人が死ぬ。死ぬ!?さらつかいてやる!

嘘。なんだよー!」

ブラッディカロン「ただ、逃走中に参加できなくなる。」

黄色カメック「阻止するには港にあるレバーを引け!今71時間だな。」

ベビィマリオ「ここは行く!」

色々な人が行くようだ。

ベビィマリオ「さあ、着いたぞ。あれ?」

どうしたことが、レバーが下からない。

その近くに手紙が置いてあった。

ベビィマリオ「読めない・・・」

そりゃそうですよ、赤ちゃんだもん。

そこをタイミング良く、

ルイージ「あれ？どうしたの？」

ルイージが通りかかる。

ベビィマリオ「これ読んでくだちやい・・・」

ルイージ「悪いが、このレバーはマリオ↓ピーチ↓ヨッシー↓ワリオ↓ドンキー↓クッパの順にしないと下げられない。そして、レバーを下げられるのは、ミラクルベースボールで同じ球団だった者だけだ！
アルファ」

ベビィマリオ「そんなあ！マリオの球団の人と、ピーチの球団の人が来ないと、弟を助けられないなんて！早く呼ばなきゃ！マリオの球団の人ー！ピーチの球団の人ー！」

ルイージ「あの一？」

ベビィマリオ「誰か来てー！」

ルイージ「あのすみませんが話を・・・」

ベビィマリオ「気のせいかな隣にだれもいないのに声を感じるよ」

ルイージ「メガレンジャーEDの気のせいかな歌わないでよ！しかも替え歌で！」

ベビィマリオ「え？」

ルイーダ「あの僕・・・マリオの球団の者なんです・・・」

ベビィマリオ「うっかりしてまちた！さあ引いてくだちゃい！」

ルイーダ「はあ・・・何で僕はこんな扱いばかり・・・」

ガチャン！

運転士1「電力が復旧しました！」

車掌「よし発車しろ！」

プルルルル

アクアイド「あれ？ルイーダからだ・・・」

ルイーダ「レバー引いてから何分後に来るの？」

アクアイド「5分だよ。ん？あー！」

ルイーダ「どうしたの？」

エントランスにある
牢獄

ワリオ「どうした！？」

ヨッシー「う・・・あ・・・」

ヨッシー「え！？」

レイピアがハンターBの体を貫いた！

ハンターB「ギャアアアアアアアアア！」

バタ！

ヨッシー「な、ななななんだ！？」

アクアイド「ドッキリ大成功！」

ルイージ・キャサリン・ワリオ「万歳！って違うだろー！」

ハンターBはどうなる！？

その頃一方

ワリオシティのゴミ箱の中に隠れている紫キノピオ。

いいことに、ゴミ箱は全て新品だ。

だが・・・

裏切り者「紫キノピオ、ワリオシティの店周辺にいます。」

そして見つかった・・・

紫キノピオ「このままでは……………」

何とか足が速いことに恵まれたようだ・・・

紫キノピオ「危ねえ・・・」

ベビイマリオ「ん!？」

紫キノピオ「あ、チビ。」

ベビイマリオ「早く引いてくだちやい!」

グイッ

ベビイマリオ「やったあーーーーー!では早速・・・」

グイッ

運転士2・3「電力来ました!」

車掌「では出発!」

紫キノピオ「やったな!」

ベビイマリオ「はい!」

パン!

仲良くハイタッチ!

と、そこに・・・

アナウンス「快速港行き、終点港です。」

中からチヨロプーが出てきた。

チヨロプー「ようしくな〜！」

紫キノピオ「ああ、ようしく〜！」

次回に続く！

8人の追加戦士を解放して！（後書き）

レバーを下した時間（次回も書く）

チヨロプー 70時間55分

キノピコ・ベビイルージ70時間50分

封印されし8人の追加逃走者（前書き）

アクアイド

顔 ヘイホーの仮面

体 普通

つまりアクアイドがどんな表情をしているかはヘイホーと同じように調べる。

封印されし8人の追加逃走者

ハンターB「ひでーよ！何いきなりレイピア撃つんだよ！」

アクアイド「俺の好きなヨッシーをいきなり狙うからだ！」

ハンターB「分かった。これからは遠くで見つけてから狙う。」

一方

裏切り者「紫キノピオは捕まらなかったかー。」

裏切り者が次に目を付けたのは・・・

テレサ「ジャングルはいいねー。」

DKジャングルにいるテレサだ・・・

裏切り者「テレサ、DKジャングルの橋付近にいます。」

テレサ「僕はジャングルと言えば仮面ライダーアマゾンを思い出すね。アクアイドはほとんどの特撮好きだからね。って、あれはハンターじゃないか！」

しかし、

裏切り者「あつちにも誰かいるな・・・テレサのハンターと一緒に挟み撃ちさせるか・・・」

作戦は成功するのか!?

その頃

アクアイド「なあ、今からハンターになってみる気はないか？」

ルイージ「え？」

アクアイド「今なら、missionやってるまでに誰か確保すれば、いいもの3つあげるぜ！」

ルイージ「え!?!やるやる！」

アクアイド「じゃあ、ハンターバッジを・・・」

ルイージはハンター……バッジを付けた!

ルイージ「ライダー……キ……クみたいに言っな！」

アクアイド「とにかくお前はハンターになったわけだ。」

アクアイド「ちょっと待ってな。」

裏切り者「?、DKジャングルの石像にいます。これで20万円！」

ブルルルル

裏切り者「はい、裏切り者です。」

アクアイド「今からミッション終了までルイージがハンターになっ

た。」

裏切り者「ルイージにも逃走者の場所を教えらるってことですね？」

アクアイド「ルイージが確保すれば、お前も10万円だ。」

ルイージ「裏切り者は捕まえないよ。誰？」

アクアイド「クツパだよ。」

ルイージ「しーっ！そんなに大きな声で言ったら読者さんに聞こえるじゃないか！」

アクアイド「嘘！」

ルイージ「また！？」

アクアイド「ほんととはな・・・」

ルイージ「うん。分かった。」

その頃テレサと同じく通報されたのは・・・

赤マーレ「きゃー！」

赤マーレだ・・・

テレサ「逃げなきゃ！」

赤マール「早くしないと！」

「ポン」 「ポン」

なんと、互いを追いかけていたハンターがもう1人を確保した！

テレサ「何ハンターつれて来てんだよー！」

赤マール「そっちこそ！」

テレサと赤マールは殴り合いを始めた！

クリボー「テレサと赤マールがDKジャングルにて裏切り者の通報により確保残り42人」

アクアイド「なんだ！？テレサと赤マールが殴り合い始めているぞ！？」

ルイージ「ゴルゴムの仕業か！」

3人「絶対違う！」

その頃

キングテレサ「ボスパツクンは仲いいから・・・」

ガチャ

運転士4「電力が届きました！」

その頃港に

アナウンス「快速港行きです。」

中からキノピコが出てきた。

さらにもう1両からベビイルージが出てきた。

キノピコ「よろしく！」

ベビイルージ「よろしくー。」

紫キノピオ「ああ。」

次回、ルージが逃走者に牙をむける！

封印されし8人の追加逃走者（後書き）

ボスパックン 70時間46分

表の2番手と裏の1番手（前書き）

訂正

アクアイドの体

身長がヘイホーより20cm高い

服はヘイホーの物

あと、missionが終了しないと

追加逃走者は逃走者として認められない。

表の2番手と裏の1番手

プルルルル

マリオ「何だ？通達1！？」

キングテレサ「今からmission終了までルイージがハンターとなる。マジかよ・・・」

裏切り者「よし、これで20万円・・・」

裏切り者「ルイージと共同作戦を狙うか・・・」

ルイージ「さて誰狙おうかなー。」

その頃

パタクリボー「どうしようか・・・行こうかな・・・」

ピーチリンクの花壇の中に隠れているパタクリボー。

しかし、行くとハンターに見つかる危険性もある。

パタクリボー「！」

目の前にハンター・・・

パタクリボー「行ってるそばからくんなー！」

だが、パタクリボーはスピードタイプなためか、なかなか差が縮まらない。

だが、そのまま港へ行つたために・・・

紫キノピオ・ベビィマリオ・キングテレサ「ハンター連れてくんない！」

何とハンターはパタクリボーを素通りして3人の方向へ行く！

3人はいったん別の方向へ逃げることにした。

ハンターの視界がとらえたのは・・・

キングテレサ「俺かよ！」

ヨッシーパークへ向かう。

だが逃げた先に・・・

クリボー「ええつと、食糧も確保したし・・・」

クリボー「…」

ダッダッ！

クリボー「どうしたんだキングテレサの奴・・・まいっか・・・」

「ポン」

クリボー「ええええええええええええええええ」

クリボー「キングテレサの奴、一声かけろよー！」

マリオ「ヨッシーパークにてクリボー確保残り41人」

キングテレサ「へへっ、どうにか捕まらずに済んだぜ……」

他人の事などどうでもいい幽霊の王様。

一方ワリオシティ

青キノピオ「うわああああ！」

ハンターに追いかけている青キノピオ。

その先に
・
・
・

グリーンカロン「どうした青キノピオ？」

グリーンカロン・・・

青キノピオ「は、はははははハンター！」

グリーンカロン「はあ！？ハンター！？」

一緒に逃げだすが、青キノピオのほうが速く……

「ポン」

グリーンカロン「くっ・・・」

ノコノコ「あれ、もうメール？さっきかかってきたばかりなのに・・・」

クツパ「ワリオシティにてグリーンカロン確保残り40人初めてクツパ軍団が確保されたな・・・」

青キノピオ「すみません・・・何か後で買いますので・・・」

いいんだよ、それで、青のキノコ少年。礼もしない幽霊の王様よりずっとまじだよ。

キングテレサ「ヘックシュン！」

その頃

ブルルルル

ルイージ「どうも、ルイージです。」

裏切り者「こちら裏切り者。いい標的（ターゲット）を発見したぜ。」

ルイージ「分かった！」

裏切り者「ワルイージ、ヨッシーパークメリーゴーランド付近にいます。」

ルイージ「ハハハ！ワルイージさえ確保してしまえばいい物はいた
だきだ！行くぜ、俺！」

もはや彼は正義のルイージではなくなってしまった。彼は、欲望だ
けを求める、悪のルイージとなってしまった。

その頃

パタクリボー「折角来たんだし……」

ガチャ

運転士5「出発だ！」

その頃一方

ボスパックン「到着！」

今、ワルイージはルイージに狙われている。

だが、そのことを知らないワルイージ……

どうなる！？

表の2番手と裏の1番手（後書き）

ディクシー 70 時間 41 分

ルイージの決断（前書き）

ルイージの運命。

ルイージの決断

ルイージ「ワルイージ、お前を確保する！」

ワルイージ「ふん、お前みたいなやつには捕まらねえぜ！と、言いたいところだが・・・」

ワルイージ「お前、みんなを裏切ってまでやるのかよ！」

ワルイージ「お前は、兄に何回も負けてばかりで確かに弱い。だけど、そんなことをしてまで・・・」

ワルイージ「お前、やるのかよ！」

アクアイド「お前、悪者のくせにいいこと言うねー！」

ワルイージ「くせに！？もう一回言え！」

アクアイド「るせーな。俺に逆らうと・・・」

バリバリバリ！

ワルイージ「ギャー、レーザーカー！」

ルイージ「分かった。俺はもうハンターの仕事をしてない。」

ワルイージ「良く言った。お前はいい奴になるぜ！」

プルルルル

ルイージ「あれメールだ・・・アクアイドと裏切り者から・・・」

「mission終了までに誰も捕まらなかった場合強制失格」

「誰か捕まえたら焼き肉おごるぜ。もちろん特上のを二人だけで！」

ルイージ「・・・・・・・・・・」

「ポン」

ワルイージ「だおおおい！やめるんじゃないのか！？」

ルイージ「強制失格は嫌だし、焼き肉を食いたいし。ごめんね！僕、ライバルだけには勝ちたくて！」

ワルイージ「バカ野郎――――！！」

プル

マリオ「着信音みじかつ！何々ワルイージがヨッシーパークにてルイージと裏切り者により確保。よくやった、それでこそ俺の弟だ！」

裏切り者「やったなルイージ！」

ルイージ「約束の焼き肉行こーね！」

裏切り者「特上コース食べさせてやるからな！」

港

ディクシー「とうちゃく！」

しかし、時間は残り5分！

ブロス達は助かるのか！？

ルイージの決断（後書き）

焼き肉の後日談も書くつもり。

残り5分のタイム・リミット（前書き）

今回は3つのいい物登場。

残り5分のタイム・リミット

ブロス達「あと5分・・・まずいぞ・・・」

クツパ「誰もいつとらんと言っのか!？」

クツパジャー「お父さんの足じゃ無理だよ!」

そうか息子が行くか・・・

クツパジャー「今はワリオシティだけど、行ってくる!」

しかし・・・

ハンター「あ、いた!」

見つかる・・・

クツパジャー「わあ、ひどい!」

逃げた先に・・・

黄キノピオ「え!？」

「ポン」

一言で片づけられた・・・

ぷーるーぶるるるるるー

紫キノピオ「あーあ 日本の中につつか誰だこんな着メロにした奴！」

緑ヘイホー「ワリオシティにて黄キノピオ確保残り38人。」

全員「おい！なぜ記念すべき40を切る確保となるワルイージの残り人数を書かなかった！」

ワルイージ「記念ってなんだよー！」

ドガガガガガ！

全員「ぎゃああああああああああ！」

アクアイド「いーじゃん、別に。」

クッパjr「気を取り直して・・・」

残り1分

クッパjr「急げ！確か発射に10秒かかるからあと50秒！

残り20秒

ファイアブロス「こんなので死ぬの嫌ー！」

残り15秒

クッパjr「は、早く！」

残り10秒

ブーメランプロス「だれかこい」

残り5秒

4

クツパジャー「つ、着いた！」

3

ハンマーブロス「早く！」

2

クツパジャー「引くよ！」

1！

クツパジャー「えーい！」

ガゴン！

0。

運転士6「発車！」

その1秒後に隕石が落ちた！

ブロス達「やったー！」

その5分後

ブロス達「よっしゃー！」

クツパジャー「みんな良く来たな！」

ハンマーブロス「ジャー様、あとで焼鳥屋へ！」

クツパジャー「それでいい。」

その頃

クツパ「ルイージ、紫キノピオ、ベビィマリオ、キングテレサ、パタクリボー、クツパジャーの活躍で逃走者は全員無事だった。息子やつたな・・・」

黄色モンテ「あれまだ書いてある・・・ハンターにならないか！？」

ハンターと裏切り者は、賞金がもらえなくなる代わりにハンターに確保されず、確保人数×10万がもらえる。

アクアイド「ま、立候補するのは・・・」

ルイージ「もしもしハンターになります。」

アクアイド「ですよー」

マリオ「ハイルージハンター立候補。そうだよなあ。」

ルイージ「そんなことより物くれていいんじゃない？」

アクアイド「まず一つ目は……」

ジャジャジャー

アクアイド「現金50万円〜！」

ルイージ「なぜドラえもん!？」

アクアイド「俺が見てるのは戦隊の他にドラえもん、スケダンがあるぜ！」

ルイージ「ここで言うことじゃない！」

ヨッシー「スケダンは、スケツトダンスの略だったりします。」

ルイージ「だったりって!?!それになぜそこで君!？」

アクアイド「50万を無条件で手に入れられる!2つ目は……」

ジャジャジャー!

アクアイド「スターライトボール〜！」

アクアイド「このボールは、合計で100分使え、敵の目くらましに使える。ゴーグルを付けて使えよ。3つ目は……」

ジャジャジャジャジャジャジャジャジャジャジャーン！

ルイージ「長い！」

アクアイド「入れ物とお湯と醤油・塩・味噌・ラーメンそれぞれ2袋入り〜！」

ルイージ「結構なげーな、名前！」

ルイージ「よし、行こう！」

こっからどうでもいい逃走者の会話。

紫キノピオ「なあ、ゴーカイイエロー・ルカ役の市道真央っているじゃん？」

ああ、いるね。

紫キノピオ「それ今日（金曜日）やる、サキよみ ジャンBANG
！にいるらしいよ。」

そうなんだ、今日見てみよう。

次回から、ルイージと裏切り者のコンビネーション炸裂！

残り5分のタイム・リミット（後書き）

次回から時間が過ぎていきます。

途中経過 1（前書き）

裏切り者はmissionに行くやつで、キャプテンにはいない。
今回は追加逃走者の説明。

途中経過 1

チヨロプー

マリオ世界のモグラ。

一人称はオイラ。

足はやや速い。missionには行かない。

キノピコ

キノコの女性。

一人称は私。

足はめちやくちや速い。missionには行く。

ベビルイージ

ベビマリオの弟。

一人称は僕。

足はかなり速い。missionには行ったり行かなかったり。

ボスパックン

大きいパックン。

一人称は俺。

足はかなり遅い。missionには行かない。

デイクシー

女のサル。

一人称は私。

足は普通。missionには行かない。

ブロス（緑・赤・青）

結構強い亀。

一人称は俺。

足は遅く、青・緑・赤の順に遅くなる。

missionはクツパ軍団が行くなら行く。

8人を今の38人に足して46人になる。

これまでに確保された逃走者

キャサリン

ワリオ

テレサ

赤マール

クリボー

グリーンカロン

ワルイージ

黄キノピオ

次回はmission3!

途中経過 1 (後書き)

ルイージ「今日の夜は何ラーメン食べようかな・・・」

欲望の2倍賞金(前書き)

mission3の内容とは・・・

欲望の2倍賞金

プルルル

赤モンテ「あ、メールのmission3届いてた。」

ディディー「今から69時間までに、3つずつ別の店でメダルを買い、エントランスへ持ってくれば、賞金を2倍にする。行く！」

行くのはどうやら、ディディーとマリオのようだ。

一方

プルルルルル

ルイージ「裏切り者、何か狙いを見つけたら教えろよ。」

裏切り者「了解」

黄へいホー「さて、動こうかな。」

！！

黄へいホー「あ……………」

「ポン」

鉢合わせする……

そう、動くところなることがある。

ブルーカロン「ピーチリンクにて黄へいホー残り45人」

グリーンカロン「早速確保者が出たか…」

キノピコ「ここなら・・・」

キノピコは、マリオスタジアムの砂の中に隠れている。

キノコなので大丈夫。

今回はやや短め！

欲望の2倍賞金（後書き）

次回、ディディーとマリオがメダルを探し始める！

リターン・ハンターズ（前書き）

ハンターが牢獄に集結・・・！

リターン・ハンターズ

マリオ「よし、マリオスタジアム、ワリオシティでメダルを見つけた！」

ヨッシーパーク

直樹「はい！」

マリオ「メダル！」

直樹「ありがとうございます！」

マリオ「よし、行くぜ！」

その頃ディディーは・・・

ピーチリンクのメダルを取って、DKジャングルへ向かっていた。

しかし、店に入っている途中にハンターに見られていたことなど知らない・・・

実「メダルやな。」

ガチャッ

実「いらっしやい、黒い人！」

ディディー「え、黒い人？」

ハンターC「見つけた！」

ディディー「ぎゃああああああああ」

実「ちょっとお客さん、金は!？」

逃げた先に……

誰もいなかった。

ディディー「いねーの!？」

しかし、距離は開いている。

だが……

緑ヘイホー「ヨッシーパークって隠れやすいよね。」

緑ヘイホー……

緑ヘイホー「うわっ!？」

何と石につまずいてしまった!

ディディー「わっ!」

ディディー、足を引っ掛けて転んでしまった!

さらに、ディディーが起き上がった時、はずみで緑ヘイホーがピーチ

リンクの噴水まで吹っ飛ばされてしまった！

デイディー「ああ早くにg」

「ポン」

言わせる気はなかった・・・

黄モンテ「ヨッシーパークにてデイディー確保残り44人」

マリオ「ハイ、メダル。」

アクアイド「よし、お前の賞金を倍にしよう。」

赤キノピオ「mission3の結果、マリオが1000万円になった」

緑キノピオ「やるねえ・・・」

その頃牢獄

ハンターA「なんだよいきなり」

アクアイド「紹介しよう。ハンターD君だ。」

ハンターD「よろしくー！」

びびびびるるるるる

マリオ「何か着信音変だな・・・」

クツパ「ハンターを強制的に1人増やして4体にする、だと!？」

クツパ「まあ、確保ペースの問題がな・・・」

その頃

緑ヘイホー「あれ?ここは・・・」

目を開けるとそこは花壇の近くだった。

カロン「大丈夫か？」

緑ヘイホー「ああ・・・大丈夫・・・ってハンター来た！」

ハンターD「最初の獲物だ!どっちか捕まえてやる!」

カロン「このままじゃ・・・」

緑ヘイホー「こうなったら・・・僕が捕まる。」

カロン「そうか・・・俺はお前の分まで頑張るよ」

しかし・・・

緑ヘイホー「やっぱり嫌-----!」

ビュー-----ン!

なんと、緑ヘイホーは神にも勝る勢いで逃げて行ってしまった!

カロン「ええっ！ 嘘だろー！」

「ポン」

カロン「ええええええええええええええええええ！」

[illegible]

ルイージ・ピーチリンクにてカロン確保残り43人」

次回は晩御飯当たりの時間。

リターン・ハンターズ（後書き）

ハンター1体増加して不利になってしまった逃走者！

夕飯タイム！（前書き）

今回はルイージと裏切り者の夕飯や、その他いろいろ。
ちなみオープニングゲームをしたのは港です。

夕飯タイム！

ワリオ「良く考えてみたら、何でオープニングゲームで俺様捕まったんだよ！もう引いてただろ！」

アクアイド「あれは港の近くに隠れてたから。」

黄ヘイホー「そういう理由でさらっと流すのな…」

この後何もなくて3時間が過ぎた。

一方

紫キノピオ「さて、ゴミ箱の中にもう一度隠れるか。」

パカ

ハンターA「！」

紫キノピオ「あ、先客が夕飯食ってたか。別のところ行くか。」

ハンターA「いい奴だ、俺を居させてくれるって。」

紫キノピオ「ハンターも飯食つか…ん？ハンター？」

2人「あ」

ハンターA「待てー！」

紫キノピオ「遅いわ！」

ハンターA「それお前が言えるセリフかよー！」

しかし、気づくのが遅かったせいでなかなか差が縮まらない。

だが・・・

青モンテ「アクアイト早く小説に出せよ・・・」

青モンテ・・・

ビュン！

青モンテ「なんだ？」

「ポン」

青モンテ「あれはハンターから逃げてたのかよー！」

キノじい「ワリオシティにて青モンテ確保残り42人」

紫キノピオはもちろん自分が原因なことなど知らない…

その頃

ルイージ「このラーメン容量多すぎる・・・」

裏切り者「ならこの私と食べよう。」

ルイージ「じゃあ塩味食べよう。」

裏切り者「夏でも夜は意外に冷え込みますからね。」

ルイージ「塩がきいてるね！」

その後

キングテレサ「よし食べたし、備えるか！」

しかし、全員の腕にあるリングが悲劇を起こす！

夕飯タイム！（後書き）

次回はmission4！

呪われた稲光の輪（前書き）

mission 4!

呪われた稲光の輪

残り65時間

緑マーレ「行けるわね・・・」

青マーレ「おK」

しかし・・・

裏切り者「青マーレ、マリオスタジアム砂浜にいます。」

ハンターD「行くぜ！」

青マーレ「ああっ!？」

さすがに彼女の足の速さもハンターよりは遅い・・・

「ポン」

青マーレ「ええええええええ」

裏切り者「40万」

突然ですが、ハンターは捕まえると20万、裏切り者は10万もらえる！

裏切り者「なぜ!？」

アクアイド「だってハンターは裏切り者と違って捕まえるまでが仕事だから！」

一方

黄モンテ「なんで！？なんで！？光ってる！」

逃走者全員の腕に取り付けられたリングが光りだした！

ブルルルル

キングテレサ「来たmission4！」

ベビイルイージ「今君たちの腕で光っているのは稲光の輪だ」

赤キノピオ「残り64時間になるとステージすべての電気が消される」

クッパ「阻止するには5つのどれかの数字の組み合わせをどれかのステージで入力しなければいけない」

クッパ「さらに、阻止してから10分以内に同じ色に発光していた逃走者とカードキーを合わせないと強制失格 えええ！難しい！」

ちなみに、色は赤、青、黄、緑、水色がある。

ハンマーブロス「ついでに、マリオスタジアムで青マーレ確保残り41人」

マリオ「ついでって何だよ！」

ルイージ「僕は青。」

裏切り者「僕も青です。」

ルイージ「よし、手分けして探そう！」

呪われた稲光の輪（後書き）

最大の危機！

電撃 沈黙 恐怖（前書き）

今回から名前の後に色がつきます。

電撃 沈黙 恐怖

マリオ（黄）「やばい！早く行かねば・・・」

緑カメック（青）「早くしなきゃ危ない！」

しかし・・・

裏切り者「緑カメック、ピーチリンク球場前にいます。」

緑カメック「よし、ここに4つの数字がある。3817・・・」

カチッ

緑カメック「あれ？青はここじゃねえのか・・・ってえ!？」

「ポン」

緑カメック「くっそ！」

パタクリボー（水色）「ピーチリンクで裏切り者により緑カメック確保残り40人」

黒ヘイホー（赤）「やばいな、つかまってきてやがる・・・」

青キノピオ（緑）「よし、この数字、7291を入力！」

カチッ

青キノピオ「やった！ヨッシーパークの組み合わせだったんですね
」

緑「ヨッシーパーク

ヨッシー（水色）「がんばりましょう、青ヘイホーさん！」

青ヘイホー（赤）「がんばりたいんですけど、前からハンター！」

どうなる！？

恭介「行き止まり作成セット入荷したよー！」

電撃 沈黙 恐怖（後書き）

人気があるのか？

急ぐぜ！電撃放出阻止のために（前書き）

今回も色入り。

急ぐぜ！電撃放出阻止のために

緑ヘイホー（青）「ワリオシティにつきました。さて、認証装置は・
・・。」

ハンターC「！」

緑ヘイホー「ああっ捕まるわけには！」

だがいく先に・・・

黄色モンテ「ハンター！」

ファイアブロス「ええっ！」

緑ヘイホー「こうなったら3人で逃げます！」

しかし・・・

黄色モンテ「しまった力が・・・。」

「ポン」

ファイアブロス「ああっ捕まえてしまった！」

緑ヘイホー「一回逃げましょう！」

何とか球場に逃げてこれた。

ファイアブロス（赤）「この認証装置は5914か・・・」

カチッ

ファイアブロス「あれ、違うのかここは。」

緑ヘイホー「では僕が。」

カチッ

緑ヘイホー「あれ？違う！」

ファイアブロス「じゃあさっき走った意味はなんだったんだよー！」

ドンキー（水色）「ワリオシティにて黄色モンテ確保残り39人ついに40切ったかー・・・」

裏切り者「次はお前だ。これで60万・・・」

裏切り者「ドンキー、マリオスタジアムレバー近くにいます。」

ドンキー「ほかの逃走者見つけないとな・・・」

ハンターA「よし気づかないように・・・」

その時！

？「あわわわわわわわ！」

ドンキー「なんだなんだ！？」

ハンターC「待ちやがれ！」

緑パタパタ（青）「だれかー！」

ドンキー「なーんだ．．．ってハンター！」

ハンターA「よし．．．」

ドンキー「逃げなきゃ！つてえ！？」

今、彼は緑パタパタの追いかけているハンターともに緑パタパタと行き止まりに追い詰められている。

つまり、最早逃走不可能．．．

「ポン」「ポン」

裏切り者「裏切り者の通報によりドンキー 普通に緑パタパタ確保残り37人」

その頃DKジャングル

青ヘイホー「どうしましょうヨッシーさん！？」

ヨッシー「ここは逃げます！よい．．．」

2人「ドン！」

ズデッ！

なんと、2人ともずっこけた！

ハンターB「チャンス！」

ズデッ！

ハンターもこけた！

ハンターB「痛あ！」

ヨッシー「今のうちに逃げましょう！」

青ヘイホー「はい！」

一方DKジャングルの近くで……

赤ヘイホー（黄色）「うわあ！」

ハンターD「俺から逃げられると思うな！」

差が縮まっていく……

赤ヘイホー「それならさっき買った……行き止まりセツト！」

その正体は！？

急ぐぜ！電撃放出阻止のために（後書き）

テレサ「赤マーレこの野郎！」

赤マーレ「何だと白い吹き出し！」

激しすぎるため、いまだにだれも手が出せない。

漆黒と稲妻の影（前書き）

色入り。

漆黒と稲妻の影

プルルルル

ルイージ（青）「さつき裏切り者とハンターは64時間までにカードキーを差し込まないと強制失格って言うた。」

裏切り者（青）「がんばりましょう!」

プルルル

ヨッシー（水色）「いろいろな人からの証言をもとにして表を作りました。緑ヘイホー いい仕事をしていいですね。」

違う物

赤 ワリオシティ

青 ピーチリンク ワリオシティ

表は更新します。

緑ヘイホー「青キノピオさん、あなたはどこで発光停止したんですか?」

青キノピオ「僕は、緑をヨッシーパークで停止させました。」

緑ヘイホー「よし……」

ブルルル

クリボー（黄色）「発光が緑の人はヨッシーパークへ！だつてさ。」

クッパ（緑）「本当か！？」

現在緑に発光している逃走者

クッパ

キングテレサ

デイジー

ハンマーブロス

黄色カメック

ブルーカロン

緑ヘイホー「そつえば、今から何分前に停止させたんですか？」

青キノピオ「7分前・・・って、ああっ！」

緑ヘイホー「早すぎです！」

漆黒と稲妻の影（後書き）

間に合うのか!?

その頃DKジャングル

テレサ「僕はどこへでもお前を追いかける!」

赤マーレ「立場を逆にしてやる!」

早く終わらせる。

踏切忍者只今参上！（前書き）

行き止まりの正体は！？

踏切忍者只今参上！

赤へいホー「行き止まりセツト！行けーっ！」

バン！

その正体は！？

一方

緑へいホー「僕は青の番号を探すので行きますね。」

青キノピオ「じゃあ、また会えたらいいですね。」

一方緑

デイジー「早くヨツシーパークへ行かなきゃ！」

しかし・・・

ハンターD「行かせるかぁ！」

デイジー「こんなときにハンター！？」

彼女はピーチリンクにいたため、花壇を使ってかわせた。

デイジー「ちよつと遠く来たわね・・・」

キングテレサ「行くぜ行くぜ行くぜい！」

しかし・・・

裏切り者「今番号探してるんだけど・・・キングテレサ、Dkジヤングル川付近にいます。」

ルイージ「よし、行くよ!」

キングテレサ「あれはルイージ!」

ルイージ「!ぎゃ　オバケこわいー!」

裏切り者「何してんの・・・」

キングテレサ「はっはっはっ!なんだお前!」

だが。

裏切り者「あつちに誰がいるな...」

裏切り者「ルイージはあつちの逃走者を確保して!キングテレサは別のハンターに任せる!」

ルイージ「わかった!」

先にいたのは・・・

カメック「やべえ!」

カメック・・・

ルイージ「カメック！」

ハンターC「只今参上！」

キングテレサ「あ・・・」

「ポン」 「ポン」

ルイージ「40万キタ

（。　。）

！」

裏切り者「やった、これで70万・・・」

青キノピオ「裏切り者によりキングテレサ ルイージによりカメック確保 残り35人 そんなことよりもう時間が1分しかないんですよ・・・」

残り50秒

ブルーカロン「デイジーさん急ぎましょう！」

デイジー「急ぎましょー！」

残り30秒

デイジー「やっと入ってきたのに・・・」

ブルーカロン「ここでハンター！？」

残り25秒

ブルーカロン「俺囀になるよ。」

デイジー「ええっ!？」

ブルーカロン「だから、青キノピオを！」

デイジー「分かった！」

残り20秒

デイジー「うおおおおおっ！」

ブルーカロン「頑張ってください。デイジーさん……。」

「ポン」

ブラッディカロン「ヨッシーパークにてブルーカロン確保残り34人って、カロン俺しかいねえ！」

デイジー間に合うのか!？

行き止まりセツトは……

カンカンカンカン!

2人「踏切かよーっ！」

しかし！

踏切に顔ができた！

踏切忍者「踏切忍者只今参上！」

いったいどうなる！？

走る2影の忍

残り15秒

デイジー「着いた！7291！」

デイジー「やった！消えた！」

残り4秒

青キノピオ「早く！」

3

デイジー「えいっ！」

シュイン

青キノピオ「危なかった……」

青キノピオ デイジー missionクリア

踏切忍者A「拙者は赤へいホー殿に使える者！」

踏切忍者B「私も拙者の名でよばさせてもらつていぢやない！」

ハンターD「何だよ！？」

踏切忍者「拙者達は鉄道に関するもので戦つ者！」

攻撃内容とは！？

一方

黒ヘイホー「あっそうだ、マリオスタジアムのヤシの木の上登れば
逃走者の位置が分かるぞ。」

上っている間

黄色カメック「ヨッシーパークに隠れてて良かった。」

ハンマーブロス「俺もよかった。」

黄色カメック「よしカードキーだ！」

シューイン

黄色カメック ハンマーブロス missionクリア

クッパ「くそう、ワリオシティから行くのは疲れるな・・・」

残り45分

踏切忍者「踏切の上についてるもの手裏剣！」

赤ヘイホー「正式名称は何なんでしょう・・・」

ドガガガガッ！

ハンターD「ぎゃあ！」

赤へいほー「やったあ！」

黒へいほー「どこも見えるぜ！」

早く終わり

色あてツアー出発進行です！（前書き）

緑へイホー「僕が活躍！」

色あてツアー出発進行です！

緑ヘイホー「よし、もっと皆さんのお役にたてるように…」

ワリオシティにいる緑ヘイホー。

近くにファイアブロスがいたが、緑がトイレに行っている時にハンターに追われて出て行った。

ヨッシー「あれ、何でしょうか？」

青ヘイホー「行ってみましょう！」

緑ヘイホー「赤・黄色・水色に発光しているお客様大歓迎！（自分が青で、緑は分かっているから）今なら楽しく会話しながら自分の色を今ならなんと無料で探すことができます！」

ヨッシー「すいませーん。」

緑ヘイホー「はい、加入チェック終わりました。と言いたいんですが……」

ヨッシー「あれ？いつの間にかこんなメールが！」

「黄色に発光している逃走者はワリオシティへ！」

それは1分前

マリオ「赤ヘイホー、クリボー。一回やってみるぞ。」

赤へいほー「はい、5914。」

カチッ

クリボー「おおっ、消えてる！」

マリオ「じゃあ、カードキー認証しよう！」

シュイン

マリオ「よし、やった！」

マリオ クリボー 赤へいほー missionクリア

緑へいほー「なるほど、黄色はワリオシティなのか…」

というわけ。

緑へいほー「じゃあ、メンバーも揃ったことですし、ツアースタートです！」

その頃

ファイアブロス「ぎゃあああああ」

ハンターに追われるファイアブロス…

しかも…

デイクシー「何でも私もー！」

しかし、2人とも足取りが遅くなり・・・

と、その時！

ガンッ！

ファイアブロス「ギャア！」

デイクシー「キャア！」

ウィーン・・・

なんと、ヨッシーパークに来ていたときによそ見をしていたため、観覧車の中に入ってしまった！

ファイアブロス「い、今起こったことをありのままに話すぜ！」

デイクシー「それはいいから」

ファイアブロス「ショボーン（´・ω・｀）」

一方ツアーズ

緑ヘイホー「DKジャングルにつきましたね。」

緑ヘイホー「では、番号を・・・」

ピピッ

青へイホー「やりました！登録完了ですよ！」

ヨッシー「だけでも、同じ赤の人を探さないといけないんですよ？」

そこに・・・

黒へイホー「遠くから来てみたけどここが赤か・・・」

ピピッ

黒へイホー「ヨッシャ、認識成功だー！」

青へイホー「あ、黒へイホーさん！」

黒へイホー「なるほどお前も赤だったのか・・・」

シューイン

青・黒へイホー missionクリア

青へイホー「じゃあ、僕らは行きますね。」

そっとうと去って行った。

しかし・・・

裏切り者・ルイージ「ツアーズを追えば、青が分かるぞ…なーんてことはしません！」

裏切り者「僕らには時間がいっぱいあるんですから！」

ルイージ「再び手分けして行こう！」

そしてルイージ

ルイージ「あつあれは……」

赤ノコノコ「あんまり出てないっすねえー……」

赤ノコノコ……

ルイージ「よし、行くぜ！」

赤ノコノコ「ってルイージきたあ！」

しかし、いきなりルイージは姿を消す。」

赤ノコノコ「ああ、よかった……」

ルイージ「簡単に僕はあきらめないよ！」

いきなり出てくるために処置も取れず……

「ポン」

赤ノコノコ「ああ 油断したっス……」

パタパタ「ルイージにより赤ノコノコ確保残り33人やべつ、私と同じ色の逃走者やられた!」

ルイージ「よっしゃ60万来た!これで勝つる!」

ツアーズは・・・

緑ヘイホー「ピーチリンクにつきましたね。」

ヨッシー「もうハンターきました!」

緑ヘイホー「ええっ!?!・・・よし、逃げ回った後認証装置に行きましょう!」

ヨッシー「はい!」

逃げ切れるのか!?

色あてツアー出発進行です！（後書き）

僕は午前7時から午後9時までしかパソコンを使えないので・・・

貝から生まれたテレ太郎（前書き）

今回はおとぎ話風。

貝から生まれたテレ太郎

残り30分

テレサ「くらえ！合体テレサショット！」

ドガガガガガ！

赤マーレ「ギャーーーーー！」

ボチャン

テレサ「やったー！勝ったー！」

テレサ「やったやったやったあー！」

ボチャン

テレサも落ちてしまった！

その頃牢獄

緑パタパタ「あんまりやってない牢獄DEトークです。」

むかーし昔、といっても8月21日……

ワルイージ「なんだ？」

アクアイドと20人の逃走者がいました。

注：赤ノコノコはまだ牢獄についていません

前回の確保者の続き

黄色ヘイホー

デイディー

カロン

青モンテ

青マーレ

緑カメック

黄色モンテ

ドンキー

緑パタパタ

カメック

キングテレサ

ブルーカロン

赤ノコノコ

46 - 13 〓 33 人

20人の逃走者は牢獄の中にいて、アクアイドは管理をしていました。

すると海のほうから、赤い貝に入った白い物体がどんぶらこ、どんぶらこことこちに向かってくるではありませんか。

20人「おいなんだこの展開！」

赤い貝殻をアクアイドが手で軽く叩くと、白い物体が元気に生まれました。

テレサ「おぎゃー！おぎゃー！」

黄色へいほー「なんじゃこりゃー！」

アクアイドはその物体に、テレ太郎という名前を付けました。

テレ太郎はそのアクアイドのおかげですぐに育……

テレサ「いい加減にしろー！僕はもう立派に育ってるー！」

テレサ「必殺！超合体テレサショット！」

ズガーーン！

アクアイド「ぎゃあああやめろー！」

アクアイド「ああ、出すよ!」

テレサ「そういえば今日で空から日本を見てみよう終わりですね。」

赤マーレ「結構楽しいと思って言ったのに…」

そういうことは後回しにして

クツパ「はあはあ・・・やっと着いた・・・」

ハンマーブロス「俺とカードキー交しましょう!」

シュイン

クツパ missionクリア

ツアーズ

ヨツシー「何とかかわしました・・・」

緑ヘイホー「ピーチリンクが青じゃないと水色とわかるので、こっから別行動です。」

ヨツシー「はい。後は水色の人を待つだけですな。」

その頃

赤ノコノコ「はあ って何すかこれ!」

テレサ「あつ、アクアイドが間違えて爆弾を打つたんですよ!」

赤マーレ「そうよ!ちよつとこんなことあるわよ!」

赤ノコノコ「いや絶対あんたたちやりましたよね!?」

2人「いや知らない!」

赤ノコノコ「そうですか・・・」

その頃、ハンターに追われる者が...

次回から3回ぐらいでmission4完結させたいな

貝から生まれたテレ太郎（後書き）

青へいホー「黒へいホーさんとはすぐに別行動をとりました。」

緑へいホー「さつまリオスタジアムへ…ってあれ？あそこで誰か…」

発光停止×ハンター（前書き）

今回から本格的にmission4。

発光停止×ハンター

緑ヘイホー「ああつ、あそこにいるのは・・・」

ボスパックン「不味い・・・不味いぞ・・・」

緑ヘイホー「ボスパックンさん!？」

ボスパックン「こうなったら・・・」

ボスパックンはあるシューズを履いた。

なんと、ボスパックンはすごい速さで走りだした!

ハンターD「な・・・何ーーーーー!？」

なんと、逃げてしまう!

緑ヘイホー「さっきのは一体!？」

ボスパックン「ああ、この疾風シューズを付けたんだ。」

緑ヘイホー「あれ、ボスパックンさんは僕と同じ青なんですか。」

1分後

ボスパツクン「はあはあ・・・はぐれてしまった・・・」

しかし10秒後

緑ヘイホー「何だいたじゃないですか。ではカードキーを…」

シュイン

緑ヘイホー　ボスパツクン　missionクリア

その後緑ヘイホーによりほとんどの逃走者がmissionをクリアしたのだが・・・

残り5分

ノコノコ「運悪くハンターばかりっスッ！」

ベビイルイージ「ああ、全く見つかりまちえん・・・」

幸運にも、この2人はどちらも黄色に発光している。

しかし、2人ともピーチリンクのため、離れている・・・

ノコノコ「あ、ベビイルイージさん。」

ベビイルイージ「黄色はワリオシティでちたよね・・・早く行きましょう！」

だが・・・

ハンターA「ああと、えさが来た！」

2人「こんな所で！」

まいたのだが……

残り2分

何とかピーチリンク脱出したのだが……

ノコノコ「やばいっすよ！急がないと！」

残り30秒

ノコノコ「やっとワリオシティっすよ！」

ベビルイージ「うん！急ご……」

ハンター4人「俺たちから逃げれると思うな！」

2人「ギャー！」

しかし……

ベビルイージ「今逃げながら番号を打ち終わりました！」

ノコノコ「逃げながらカードキーします~~~~~！」

スカッ

2人「ギャアーーーーー外れたーーーー！」

しかしUターンして・・・

シュイン

ノコノコ「やったーーーーー！」

「ポン」

ノコノコ「あああああああ~~~~~！！・・・」

ベビルイージ「な、何とか・・・」

赤キノピオ「mission結果は全員成功！良かった！」

紫キノピオ「しかしノコノコ確保残り32人残念だな・・・」

次回から朝までの特別編です。

発光停止×ハンター（後書き）

赤ノコノコ「何でオレッチが修理の手伝いしてるんスカ!？」

アクアイド「わりーね、人手が足りないんで。」

会話をしながら途中経過

赤ノコノコ「今までに確保されたのは、

キャサリン

ワリオ

テレサ

赤マール

クリボー

グリーンカロン

ワルイージ

黄キノピオ

黄色ハイホー

デイデュー

カロン

青モンテ

青マール

緑カメツク

黄色モンテ

ドンキー

緑パタパタ

カメツク

キングテレサ

ブルーカロン

赤ノコノコ

ノコノコ

すよね。」

ハンターE「また牢獄壊すなよ!」

テレサ「はい。」

その頃メルザス本部

アルファ「ベータ、報告があると聞いたが・・・」

ベータ「はい、二人の新幹部を連れてまいりました。」

ベルーガ「俺は無限の力を秘めた戦士、ベルーガ！」

ジャド「私は万物の創生者、ジャド……」

アルファ「ははっ、明日が楽しみだ……はっはっはーっ！はははh」

カン！バシャ！

アルファ「ぎゃあああああついあひえあげつつxげsd sdwt
yxぐ」

ベータ「（最早言葉にすらなってねー！）」

ガンマ「何ココアこぼしてんだよ！」

アルファ「ぐgただhかcんjjふああおふああ」

それから3時間たって

テレサ「ふう、やっと牢獄の修理が終わった……」

ハンターF「って鍵がねえーーーーー！」

見ると、海にカギがあった。

アクアイド「よし、あの鍵をとったものを復活させる！」

25人「ええーっ！いきなり!?」

鍵を手に入れるのは！？

会話をしながら途中経過（後書き）

誰が復活するのか！？

復活者、蘇生。

テレサ「まさかあいつが復活するなんて……」

その頃

青へいホー「樽の中に隠れていれば、しばらくは安全ですね……」

その時

パカッ

青へいホー「開いたあああああああああ！」

？「えっちよっm」

青へいホー「ああもう駄目だ僕は確保されるんだああああ！このやる！このやる！」

ドカッ！バキッ！

？「ギヤア！」

青へいホー「あ、あなたは……」

黄色へいホー「ひどすぎるよ同じへいホー族だというのに……」

青へいホー「あれ、あなたはもう確保されてたんじゃ……」

復活者、蘇生。（後書き）

今回で第1章完結、次回から第2章です。

闇のメルザス、恐怖の挑戦状（前書き）

2日目が始まる・・・

ちなみに黄色ハイホーが復活したので33人です。

闇のメルザス、恐怖の挑戦状

2日目 午前6時 残り54時間

マリオ「2日目が始まったぜー！」

全員「イエー！」

アルファ「と言いたところだが・・・」

マリオ「ちょwww押すなしwww」

アルファ「デイメンジョンレーザー！」

マリオ「ぎょわああああああああ！」

メルザスゾーン

アルファ「さて・・・奴らに最初の挑戦状を送るか・・・」

アルファ「スペクターアイ！」

ベータ「ベクターエンド！」

ガンマ「ステープレイズ」

バツ！バツ！バツ！

スペクターアイ「私はアルファ様に仕える最強の騎士。」

ベクターエンド「拙者はベータ殿に仕える最強の忍者。」

ステープレイズ「俺はガンマに仕える最強の盗賊!」

アルファ「ベルーガ、ジャド。手下を呼び出せ!」

ベルーガ「サジタリア!」

ジャド「マジアーク!」

サジタリア「僕はベルーガに仕える最強の狙撃手さ。」

マジアーク「私はジャド様に仕える最強の魔導士・・・」

アルファ「お前らはこの逃走者たちを死に追いやるために作られた、5人の戦士。」

アルファ「お前らを今からベースボールアイランドに送る。」

シュン!

スペクターアイ「ここが逃走エリア・・・」

ベクターエンド「まずは港を攻めるといいでござる。」

4人「了解!」

ピピピピ

赤カメック「何だメールか・・・mission5?」

その時

ハンターB「何かこつちでメールの音がしたような・・・」

赤カメック「おっとハンターだ・・・」

何とか見つからなかった・・・

ベビィルイージ「港にメルザス5人の手下が出現した。」

ベビィマリオ「残り53時間になると警察の取り付けた装置が発動し20人のハンターが発動される。」

黒ヘイホー「20人も増えるのか・・・」

赤キノピオ「阻止するには53時間までに5人を倒さないといけない。」

マリオ「これは行かないと!」

港

スペクターアイ「さて、何人来るかな・・・」

ドドドドド

ベクターエンド「ああ、来たでござるよ。って!?!」

5人「えええー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！」

マリオ「みんなで5人を倒すぞー！」

32人「おおーっ！」

ステープレイズ「残り逃走者全員かよーっ！」

ドカドカドカドカ！

スペクターアイ「これは・・・」

ベクターエンド「ぎゃあああああー！」

ステープレイズ「これはいくらなんでも度を超えすぎだろ！」

サジタリア「数の暴力はんたいーい！」

マジアーク「こっから我々が逆転できるのは・・・0%です・・・」

5人「ぎゃあああああああー！！！」

そのまま5人を倒しmissionクリア

ルイージ「ということがないように、アクアイド、テレサ、赤マーレと共闘する。つまり参加できるのは2人まで。」

名乗りを上げるのは誰と誰なのか・・・

闇のメルザス、恐怖の挑戦状（後書き）

メルザスの手下の力は・・・

刺・客・強・力（前書き）

裏切り者を出そうかとも思いましたが・・・実はこの後裏切り者の missionがあるので出しません。予想して、感想に送ってみてください。

刺・客・強・力

スペクターアイ「私たちはフェアに戦いたいのです。あなた方が人集めるまで勝負をしません。」

アクアイド「悪いが、もう来てるんだよな。」

アクアイド「名乗ってみようぜ！アクアイド！」

ルイージ「ルイージ！」

青キノピオ「青キノピオ！」

テレサ「テレサ！」

赤マーレ「赤マーレ！って何で私たちが戦ってるの！」

アクアイド「まあお前らは手伝い係だ。でも終わったら50万円やるから。」

テレサ・赤マーレ「分かった！」

アクアイド「よし、みんな行くぞ！」

ステープレイズ「目からビーム！」

ルイージ「木下ベツカムかよ！」

ジュバババババ！

5人「ぐはああ！強い！」

ベクターエンド「忍法！火炎手裏剣！」

マジアーク「ブリザードレイピア！」

サジタリア「レイヤーボウ！」

スペクターアイ「必殺！亜空大切断！」

5人「ぎゃああああああ！」

青キノピオ「どうすんですか！？やられまくりですよ！」

アクアイド「だったらマリオパーティミニゲーム攻撃！」

ルイージ「そうか！だったら強いものあるしね！」

アクアイド「じゃあまず初代から！」

スペクターアイ「結構まずそうな攻撃してきそうですね・・・気を
つけましょう！」

4人「了解！」

アクアイド「ボムヘイわたしー！」

アクアイド達は全く投げない！

ステープレイズ「どうした？怖気ついて投げられなくなったか！？」

アクアイド「今だー！」

スペクターアイ達にボムヘイが飛んできた瞬間

どっがああああああ！

ステープレイズ「あれは時間差攻撃！？」

一方

キノじい「大丈夫ですかなー。」

あんまり出番のないキノじい。

だが・・・

ハンターC「あいつならな・・・」

キノじい「な、ハンターですと！？」

老人がハンターに勝てるわけもなく・・・

キノじい「そうはいきますかな？」

すると、ハンターに何かを付けた。

すると・・・

ハンターC「ぎゃああああああ！逆走してる！」

今キノじいがつけたのは「逆走バツジ」。

付けると、20秒間だけだが前に進めなくなる。

だが戻った先に……

キノピコ「きゃあ!？」

キノピコ……

いきなりだったため、体制が取れなかった……

「ポン」

キノピコ「いきなりでてくるとか……」

赤キノピオ「マリオスタジアムにてキノピコ確保残り32人 あゝ
っ……ピコちゃん捕まっちゃったか……」

黒ヘイホー「ふっ……早くも2日目最初の確保者が出たな……」

青ヘイホー「こうしてみると、1日に22人って結構まずいぞ……
しかもあの日は半日。もしかしたら全滅の危機もあるかも……」

そんな青ヘイホーの前に……

赤キノピオ「あれ、青ヘイホーさん？」

青ヘイホー「赤キノピオさん、僕ちよつと取り込んでるので、また今度・・・」

赤キノピオ「はい、また。」

だが1分後・・・

裏切り者「青ヘイホーヨツシーパークジェットコースター付近にいます。」

青ヘイホーが通報された・・・

青ヘイホー、逃走なるか！？

刺・客・強・力（後書き）

最後に・・・

アクアイド「相手5人を相手にクツパの気持ちー！」

ルイージ「フルボッコゲイキター！」

ドカドカボカドカ！

5人「最後がこれかよーっ！」

COCOSって戦闘用具売ってるところだけ（前書き）

今回から話が崩壊します。

COCOSって戦闘用具売ってるとこだっけ

そっいえば、この文字を読んでる人って誰だっけ？

月村サトシ「何で俺がこんな役を！」

全員（アクアイド含む）「あ、お前だったんだ。」

月村サトシ「何でアクアイドも混ざってたんだよ！お前がやったんだろ！」

ルイージ「そっいえば、月村サトシの正体って誰なんだろう？」

アクアイド「みんな、知りたいよねー。」

全員「ねー。」

月村サトシ「しょうがない、俺の正体は……。」

月村サトシ「マサラタウンの、サトシです。」

全員「嘘つくなー!」

バッコーン!

月村サトシ「ぐわあああああ!」

本編に戻る

ルイージ「さつきからマリオパーティミニゲーム攻撃してるけど全然効いてないよ!」

赤マール「どうするの!? アクアイド!」

アクアイド「こうなったら・・・COCOS料理攻撃!」

全員「・・・はあああああああ!」

アクアイド「まずは喰らえ、ココッシュのトリプルソース攻撃!」

バシャアアア!

サジタリア「うわあ、ミックスベリーとメイプルと抹茶ソースのぶっかけかよ!」

ステープレイズ「おい、なめてみると全部の味がするぞ!」

ベクターエンド「そりゃ普通だろ!それとなめんな!」

スペクターアイ「私たちがこんなものに倒されると思っているのですか!？」

だが……

スペクターアイ「!？何・動けない・・・だと・」

アクアイド「そりゃあ戦闘用に改造して、粘りが出るようにするぐらい、やってるよ。」

ステープレイズ「おい、溶かせよ!」

青キノピオ「はい、はい。ホットキャラメルオレ攻撃!」

バシャアアアア!

ステープレイズ「あっちーーーーー!」

アクアイド「ここでこの小説を読んでいる皆に注意だ。COSのホットオレは熱いから、保護者の人に入れてもらおう。」

マジーク「余計だっつーの!」

ルイージ「続いてステーキについてるペレットはさみ攻撃!」

ジュワアアアア!

ステープレイズ「あああああああああああああ」

アクアイド「おおつ、地面とペレットで挟んでいる！」

1分経過

アクアイド「できたぞ、ステーキプレイズ焼きた。」

全員「誰が食うかー！」

だが。

テレサ「ねえ、あれ食べていい？」

アクアイド「いいぞ、ちょっと待ってな。」

グサーッ！

ステーキプレイズ「槍がフォーク代わりかよー！」

アクアイド「さっ、食べな！」

パクッ

テレサ「ぎゃああまずい！こんなの誰が食べるんだよ！」

全員「お前だろー！」

ステーキプレイズ「ふざけんな！エクストミサイル！」

ドガーッ！

アクアイド「俺だけ、何とかよけられたようだな・・・」

次回から本格的に崩壊！

全員「予告すなー！」

COCOSって戦闘用具売ってるところだっけ（後書き）

スーパーマリオくん第21巻の第2面で、赤、ピンク、黄色がウナボンに吹っ飛ばされて水色ヨッシーがツツコミを入れているときに、水色ヨッシーの体に変なものが付いているのだが・・・これは一体？

カオスすぎて人類には早すぎるバトル（前書き）

完・全・崩・壊

カオスすぎて人類には早すぎるバトル

マジアーク「どうされますか！？私たちは押されていますよ！？」

ステープレイズ「こうなったら、ゲームやアニメ、本の中に閉じ込められている物体を実体化する「実体化ビーム」を使って、ドラクエナインのボスを全員復活だ！」

シューーン！

スペクターアイ「まずはお前が行け！妖毒虫ズオー！」

ズオー「タカ！トラ！バッタ！タトバ！タトバタトバ！」

アクアイド「ってそれはオースだろー！」

パーン！

ズオー「ドワアアアア！」

ルイージ「出た！アクアイドのツッコミビンタ！」

シューウウウウウ・・・

5人「ええええええ！？死んだの！？弱っ！」

アクアイド「いいや、ズオーが弱いんじゃない。俺が強いんだ。」

アクアイドの力が強すぎたのか、ズオーは一発で死んでしまった！

ベクターエンド「まだまだ！まだこっちにはたくさんのボスがいるのだから！」

ルイージ「僕は変身出来るのだから、負けるはずがない！」

ベクターエンド「え！？変身！？」

ルイージ「変身！」

「スリー・ツー・ワン」

ルイージ「宇宙キター！」

アクアイド「フォーゼ．．．だと．．．」

ルイージ「仮面ライダーフォーゼ タイマンはらせてもらっぜー！」

赤マール「性格変わったわね．．．」

アクアイド「どうでもいいから、早くバトルだ！」

かくしてバトルは始まった．．．

ブルドーガ「グオオオオオ！」

突進攻撃！

ヒョイ！

ブルドーガ「グ、グワアアア！」

ザバーン

赤マーレ「こんなの、よければ済む話よ。」

青キノピオ「病魔パンドルム対策のワクチンを作ったんですが……
・注射器がないですね……!?」

青キノピオ「そうだ！魔神ジャダーマのしっぽを使えば……」

ブスッ！

ジャダーマ「ぎゃあああああ！」

痔にはボラギノール♪

アクアイド「ボラギノールネタしてる場合か！」

ブシャ

パンドルム「ぎゃあああああ！」

何故かジャダーマも消えてしまった！

続く

3人キャンペーン、はちゃめちゃバトル

ブルルル

実「おう恭介、どうした？」

恭介「今全然活躍ないだろ？だから、キャンペーンでいいアイテムを逃走者にあげるんだよ！」

ブルル

緑マーレ「通達2ね。」

赤キノピオ「各エリアの店がキャンペーンを開始した。3人で店に行くと、それぞれで違うアイテムが3人に渡される。しかし、一回渡すとその店ではキャンペーンが終わる。急いでいけ！」

ヨッシー「どうでしょうか・・・今ヨッシーパークにいるんですが・・・」

逃走者と、1番近いハンターを探せるナビを持っているヨッシー。

そのヨッシーに・・・

クッパjr「あ、ヨッシーじゃん。一緒に行こう！」

ヨッシー「待ってください、今1番近い逃走者探してますから。」

ナビで出たのは「黒ヘイホー」。近くに「ベビイルイージ」もいる。

だが、その2人の後ろにハンター！

プルルル

黒ヘイホー「ヨッシー、どうした？」

ヨッシー「黒ヘイホーさん、後ろにハンター！」

そうこうしているうちに見つかってしまった！

黒ヘイホー「しょうがない、このまま店へ！」

しかし・・・

黒ヘイホー「うわぁ、マジかよ！」

クッパ jr 「こっち来るなぁー！」

ヨッシー「4手に分かれましょう！」

1の道 ヨッシー

2の道 黒ヘイホー

3の道 クッパ jr

4の道 ベビイルージ

ハンターが行ったのは3の道・・・

クッパ jr 「ええゝ！？こついつときは端が狙われるお約束でしょ！？」

アクアイド「そんな縛りにとられる筋合いはないね」

「ポン」

クツパ「何！？息子が確保されただ！？」

デイジー「残り31人。だいぶ減ったわね……」

一方

青ヘイホー「しまった！通報されている……」

実は先ほど青ヘイホーは店で新しい商品「地獄耳センサー」を付けていた……

青ヘイホー「ハンターが来ないうちに……」

青ヘイホーは何とか裏道を使い、気付かれずに進んだ……

港に着いた青ヘイホー

青ヘイホー「店で釣り用品を買ってきたので……」

青ヘイホー「アクアイドさんから聞きました。このあたりは鮪とか、なんか沖合に行かないといけない魚が釣れるって言ってました。」

その時、釣り竿が揺れた。

青ヘイホー「こ、これはすごい揺れた！」

バツシャーン！

青ヘイホー「ギャーシュモクザメー！顔がハンマーに似ている鮫釣れたー！」

アクアイド「何、ハンマーの鮫！？貸せ！」

青ヘイホー「ああっその魚、僕が釣ったんですよ！」

牢獄

緑カメツク「思っただけど、これまでにほかの逃走者に巻き添えにされて確保された逃走者って結構いない？」

これまでに巻き添えになって確保された逃走者

クリボー

グリーンカロン

黄色キノピオ

青モンテ

黄色モンテ

キノピコ

その頃

大怪像ガドンゴ「アクアイド、俺の名前がわかるか？」

アクアイド「ええつとだいかいぞうってことは分かるんだけど・・・」

ガドンゴ「早く答えろ！」

アクアイド「だいか・・・だい・・・だいかい・・・」

アクアイド「大改造劇的ビフォーアフター！」

ガドンゴ「全然ちがーう！」

テレサ「今日改造するのは、このシュモクザメです。」

ガドンゴ「お前まで乗り気になってんじゃねー！」

テレサ「改造は簡単。頭に鉄を付けるだけで人並み外れた力を発揮します。」

アクアイド「喰らえ！シュモクザメハンマーアタック！」

テレサ「待つて！それはギュメイ將軍にやって！僕がこいつを倒す！」

その頃ヨッシーパークの店

黒ヘイホー「全員そろったな・・・」

ウィーン

直樹「はい、3人でのご来店でございますね。では、ここではブーツを取り扱っています。A、B、Cの中から好きなブーツを選びください。」

ヨッシー「じゃあ、私はBにします。」

黒ヘイホー「俺はC!」

ベビルイージ「僕はAでしゅね。」

ヨッシー「いったいどんな効果が……」

戦闘場

アクアイド「喰らえー! シュモクザメハンマーアタック!」

ギユメイ將軍「くっ……!」

アクアイド「コラー!!!!!!」

ギユメイ將軍「何で怒られんのー!」

アクアイド「こういう打撃攻撃はな、喰らった方向と逆の方向に吹っ飛び、頬をその方向に向け、「ぐっはああああああ!」と言いながら吹っ飛ぶのが礼儀だぞ!」

ギユメイ將軍「分かった……」

アクアイド「喰らえー!」

バックーン！

ギュメイ将軍「ぐっはあああああああ！」

シューーン！

ステープレイズ「ああっ、まさか貴様！」

アクアイド「そうだよ、あのようなことを使って2回攻撃を喰らわせたのさ！」

あとがきはオーレンジャー涙目のカーレンジャー発言2連発。

3人キャンペーン、はちやめちやバトル（後書き）

「UAOHの書き方に対して」

恭介「うあおーって書いてんじゃない、これだって」

「UAOHの言い方に対して」

実「あゝなんや遊園地の人やん！」

マリオ「あれ？なんでゴレオンが抜けてんの？」

アクアイド「つい軽はずみでやってしまった。後悔はしているが反省はしていない。」

ヨッシー「ゴレオンは犠牲になったのだ・・・」

ドラゴンロードを飛ばせ（前書き）

仮面ライダーZ X。

ドラゴンロードを飛ばせ

「ゲルニツク將軍、魔法の力で殲滅してくれよう！メラガイアー！」

「アクアイド」でも・・・あんた本編ではそんなの使っていないですか
「ら！残念！諸刃切り！」

ズバーッ！

ゲルニツク將軍「ぐあーっ！」

赤マーレ「こんなの！こっとうしてやる！」

ボーツ！

なんと、貝殻のバットに炎が纏われた！

赤マーレ「これで終わりよ！ボルガノン！スイング！」

カッ
キーン！

ゲルニツク將軍「ぐわー………つ………」

キラーン！

ゲルニック將軍は星になった！

全員「ええええええええええ」

その頃ニュースでは

ポン

？

ムーチョ（特別出演）「6時15分になりました。サンライズ速報の時間です。」

さっきのは時報かい！

スタッフ「あ、ムーチョさん！こんなニュースが・・・」

ムーチョ「たつた今すごい速報です！なんと新しい星座が見つかりました！」

赤ヨッシー「よう！リポーターの赤ヨッシーだ！さつそく聞き込みをしていくぜ！」

レミー「あの星座は、ドラクエナインのゲルニック將軍に似ています。」

中略

ムーチョ「・・・というわけでたつた今、キノコ政府はあの星座の名前をゲルニックがフクロウなのでフクロウ座という名前にすることになりました！以上、ムーチョでした！この後はボタンバタバタ天気予報です！」

全員「最後いるか！？」

ルイージ「グレイナル！お前を倒す方法を俺は思いついたぜ！」

グレイナル「なんだそれは！？」

ルイージ「お前の顔を切ることだ！」

グレイナル「できるかー！」

ルイージ「それができるんだよな！」

「チェーンソー・オン」

ギガガガガガ！

グレイナル「ぐわあああ！」

ルイージ「なーんてね。切れるわけないじゃん！だけど・・・」

「ロケット・ドリル・リミットブレイク」

ルイージ「ライダーロケットドリルキック！」

ドガーッ

グレイナル「ごわああああ！」

シュン！

アノンは、立ったまましゃべらない・・・

しかも倒れて・・・

バシャーン！

全員「自滅かよー！」

サジタリア「こんなので大丈夫なのか？」

マジーク「まだいるので・・・40%の確率で勝てますが・・・

」

低っ！

ぬしさま「ぐおおおお！」

ステープレイズ「ぬしさま！そうだ！津波だ！」

ぬしさまの大ジャンプ！

テレサ「皆、集まれ！」

テレサたち「おおーっ！」

ぬしさま「ん！？何！？」

話せるのなら最初からしゃべれ！

テレサたち「それー！」

ひょい！

ぬしさま「のわーっ！」

スペクターアイ「宇宙行っちゃった……」

赤マーレ「はははははは！」

石の番人「笑うな！」

赤マーレ「痛い！なにするの医者！」

医師の番人「医師じゃねーぞ！ってかアクアイド！勝手に変えんな！」

アクアイド「わりーね！これもらってくれ！」

ビュン！

ドガーッ！

パカッ！

石の番人「な、なんだ！？」

次回、石の番人変身！

第1回戦隊クイズ大会！

石の番人「な、何だ！？スライムー！？」

シュン！

ショックで消えてしまった！

アクアイド「そういえば、新しいmission出さなきゃいけないの忘れてた！」

4人「はあ！？」

アクアイド「4人で戦ってくれ！」

4人「そんなのありかよ！」

アクアイド「そうそう、フェアにやらないといけないんだから・・・」

シューン！

マジアーク「のあああああ！」

マジアークさんがログアウトしました

ルイージ「強制ログアウト！？」

アクアイド「じゃあな！」

スペクターアイ「そうだ！ドラえものの秘密道具「ウルトラミキサ」でボス同士を合体すればいいんだ！」

ベクターエンド「なるほど、それは楽しいものを……」

ルイージ「そうだ！こっちも秘密道具で対抗だ！」

3人「なるほど、やってみよう！」

ブルルルル

クッパ「なんだ？mission6か！」

マリオ「今から牢獄付近で、第1回戦隊クイズ大会を始める！1位になると賞金が2倍になる。賞金かあ…行こう！」

だが、マリオはこの先を読んでいなかった……

デ이지ー「しかし、2位だと何もないが、3位になると賞金が半分になり、4位になると……強制失格！？」

黄色ハイホー「4人までですか……行きません！」

青ハイホー「嫌ですよ、賞金が無くなるなんて。」

誰もが自粛する中……

マリオ「やったあ 賞金が2倍！これでおれもお金持ち！早く行かなきゃ！」

「ポン」

ハンターD「――（隙が）見えた！」

マリオ「何だと――――――――――
――――っ!？」

クッパ「何!? マリオ確保!? こういう主役は3日目ぐらいまで残るのに……」

ヨッシー「ええっ! マリオさん確保!? 残り29人って……」

このマリオ確保は瞬く間に世界へ知れ渡った……

新聞1面記事

「「逃走中」マリオ確保! なんと1日もたないうちに確保!」

ニュース

ムーチョ「た、大変です! なんと逃走中でマリオ選手が1日もたないうちに確保されてしまいました! ―（成せばなる何事も）」

赤ヨッシー「後ろで流れてんのは何!？」

シュシュトリアンです。

国際サミット

マメーリア王国長官「今回の本題はマリオが1日たたずに確保されたことだが・・・」

マリオ「大袈裟すぎー!」

アクアイド「大変なことになったな・・・」

緑キノピオ「まさかこんなに早く確保されるとは・・・」

デ이지ー「でも、これまでの確保ペースから行ったらおかしくないわね・・・」

mission5終了まであと30分

会場にて

アクアイド「1人目来たねえ・・・」

黄色カメック「あんまり出番がないから、来てみたよ!」

アクアイド「じゃあ、お前は赤コーナーな!」

それから1分

アクアイド「2人目か・・・」

緑ヘイホー「僕の特撮知識を見せてあげます。」

アクアイド「お前青コーナーでいいよな?」

さらに1分たつて

アクアイド「お、2人も来たぞ！」

パタクリボー「来たぞー！」

チヨロプー「来たんで！」

黄色カメック・緑ヘイホー「熊焼け小焼けでまた明日くーいいないな〜にーんげんつておいしいだろな売買♪いいないないな〜みんなで仲良く永眠るんだろな♪僕もでんぐり返つて売買♪」

アクアイド「何縁起の悪い歌歌つてんだよ！パタクリボーは黄色コーナー！チヨロプーは緑のコーナーに座りな！」

全員が席に着いたところで・・・

アクアイド「さあ始まりました！第1回戦隊クイズ大会！勝って賞金を2倍にできるのは誰なのかーっ！」

アクアイド「問題1！金曜と土曜に今東映チャンネルで放送しているのは！？」

ピポン！

アクアイド「青コーナー！」

緑ヘイホー「忍者戦隊カクレンジャー！」

アクアイド「不正解！」

緑ヘイホー「えっ!？」

アクアイド「ですが、そのカクレンジャーが放送していたのは何年!？」

ピポン!

アクアイド「緑コーナー!」

チヨロプー「1994年!」

アクアイド「正解!10ポイント入ります!」

アクアイド「第2問!激走戦隊カーレンジャーのボーゾックは・・・」

ピポン!

アクアイド「赤!」

黄色カメック「芋羊羹で巨大化!」

アクアイド「しますが、この芋羊羹よりいい物があると言ったのはL!オネネとT!テルリン!さて、T!テルリンは何がいいと言ったでしょう!？」

次回に続くんだよなあ。

第1回戦隊クイズ大会！（後書き）

感想で、勝ってほしいキャラや、答えを受け付けます。

ベクターエンド「まあいいか……手裏剣乱れ！」

T T T T T T T T T T

テレサ「危ないなあ……ポルターガイストショット！」

しかし、何も出ない。

ステープレイズ「え……まさか、空想攻撃？」

だ
が
！

ド
ガ
ー
ッ
！

ステープレイズ「ぐはあ！見えない球なんてありかよ！」

スペクターアイ「私が参る！裂空斬！」

ズバーッ！

4人「ぐああああああ！」

ステープル「あ、しまった！急用があるの忘れてた！」

3人「え!？」

ステイプレイズ「俺帰る！」

3人「ええ！」

ルイージ「ファイアジャンプパンチ！」

バツコーン！

サジタリア「ひゃあああああああああ……」

青キノピオ「とどめの、必殺直線弓！」

シュパーン！

サジタリア「なあああああああああ……」

スペクターアイ「倒すとはなかなかの腕……光線剣！」

ビビビビビビビビ！

赤マーレ「きゃあ！」

テレサ「痛たたたたた！痺れるから、ミラージュバリア！」

カーン！

ベクターエンド「おい、こっちに戻ってきてるぞ！」

バリバリバリバリ！

2人「ぎゃあああああああ！」

その時……

謎「ははははは！2人をいじめる4人組をこの手で倒す！」

4人「なんだあいつ!？」

正体は次回へ

一方逃走中

黄色カメツク「いきなりかよ！」

緑ヘイホー「これは……」

パタクリボー「賞金2倍が良かったな……」

チヨロプー「まあ、強制失格じゃなくてよかったじゃん。」

だが、ワリオシティに足を踏み入れると……

ハンターA「発見！」

緑ヘイホー「あわわわわ、みなさん、ハンターです。2手に分かれ
ましょう！」

ハンターの行く先には……

黄色カメック「やべーぞ！こっちか！」

チヨロプー「ひでーな！これ！」

黄色カメックは足が遅かったため・・・

「ポン」

黄色カメック「ああ・・・終わるかー！せっかく賞金2倍にできると思ったのに・・・」

そんなに甘くない、それが逃走中・・・

チヨロプー「スピードタイプだから捕まらない！」

しかし、足の速さが少しずつ遅くなっていく・・・

「ポン」

チヨロプー「ちょっと待てアクアイド！スピードタイプは挟み討ちされないかぎり絶対捕まらないんだろ！？」

アクアイド「そんな決まりだれが決めた？」

プルルルル

ブーメランブロス「ワリオシティにて黄色カメック チヨロプー確保残り27人 なんかクツパ軍団減ってきたな・・・」

行き当たりばったり投稿者（後書き）

突如現れた謎の影！その正体は！？

電撃じかけの稲妻基地（前書き）

今回は書きたいことがいっぱいあるので、長編。

電撃じかけの稲妻基地

リザーブマン「俺はさすらいのヒーロー、リザーブマン・・・俺はいじめる者をy」

アクアイド「ああっ！今はとてつもなくこの先の展開をさつさと書いてしまいたい気分なんだよ！悪いけど、3人には死んでもらう！」

3人「え」

しかし何も起こらない

リザーブマン「よし、良かった！喰らえ、リザーブビーム！」

ビシャー！

4人「うわ！」

その頃牢獄

アクアイド「よし、できた・・・」

黄色キノピオ「なんや、そりゃ？」

アクアイド「復活ダーツ。」

全員「やったー！」

アクアイド「あ、いっとくけどマリオとディディーとワリオの的は

無いよ。」

3人「な、なんでさ!?!」

アクアイド「金に目がくらむやつに復活はさせないね。」

3人「復活させろよー!」

アクアイド「じゃあ3人には新兵器鉄拳制裁ロケットで港に飛ばされる権利を与えよう。」

バシューン!

ドガーッ!

3人「のわあああああああああああああああああ
・・」

牢獄逃走者「はあ・・・」

その頃

ルイージ「こいつ強い!」

赤マーレ「これは私たちも倒される危険ありね・・・」

その時

青キノピオ「あれ?なんかあっちから来てませんか・・・」

ひゅっつっつ・・・

3人「ぎゃあああああああ！！！！！！！！！！」

リザーブマン「ちょ、ちょっとこっち来てるよー！」

2人「えー！」

ドカーン！

6人「ぎゃあああああああ・・・」

ブルルル

ヨッシー「ルイージ・青キノピオ・赤マール・テレサの活躍により幹部の手下5人を倒すことに・・・」

アクアイド「あつ！書いてる途中だけどスケダン始まった！ちょっと中止・・・」

ヨッシー「ええ！？最後まで言わせてk」

クッパjr「言わせねーよ！」

黄色カメック「うまい！一本取られた！座布団1枚！」

全員「何言ってるの！」

アクアイド「まあ、今回は料理番組の要素が含まれてるみたいだし、皆で見ようぜ！」

全員「ああ！でもロケットパンチが出る機械でテレビを見るって・
」

30分後・・・

アクアイド「面白かったな今日も！」

ブルーカロン「ああ・・・めちゃくちゃで面白かった。でも逆に恐
ろしい・・・」

メルザスゾーン

アルファ「俺たちの攻撃をかわすとは・・・」

ベータ「ま、いいだろ。この作戦を使おうぜ。」

ガンマ「これが作動すれば、逃走者も無傷では済むまい・・・」

プルルル

ベビイマリオ「え！？通達3！？」

赤キノピオ「現在、メルザスがこの島に雷を落とそうとしているこ
とが分かった。」

ハンマーブロス「残り48時間になると、雷が落ちるが、対策が分
からない。」

ルイージ「ちよつとちよつと・・・」

緑マーレ「これはちよつとまずいかも・・・」

ブルルル

青キノピオ「なんですか？通達4！？」

ボスパックン「江戸時代、5人組という制度があり、共同で責任を負うという物があつた。」

ファイアブロス「そこで、その5人組という制度を導入する。」

デイジー「ここには書かないが、配られたケータイの色で何チームが分かる。」

ルイージ「一人が捕まると、その色のチームだけを追うハンターを導入する。これは辛い・・・」

クツパ「そうだな、赤カメツク・・・」

赤カメツク「待ってください！」「が」って書いてあります。」

クツパ「今の逃走人数が26人のため、4人を復活させる。」

ピーチ「え、26？27じゃないの？」

ノコノコ「言い忘れたが、緑キノピオが確保された。え！？」

1分前

緑キノピオ「良かった・・・成功したんだな。」

紫キノピオ「ああ、良かったぜ！」

ハンターB「!？」

2人「やべっ！」

しかし、二人とも疲れ、スピードが落ちて10m範囲内に入っていた・・・

紫キノピオ「おい、あれ。」

緑キノピオ「あれって？」

紫キノピオ「帽子だよ！ぼ・う・し！」

さらに2分前

菜摘「あ、3人できたの!？」

緑キノピオ「はいよ！」

菜摘「ここは帽子を取り扱っている店。」

赤カメック「俺Cな。」

紫キノピオ「じゃあ、Aにするわ。」

緑キノピオ「俺はBだな。」

緑キノピオ「あ、そうか！行くぜ！」

二人は帽子をかぶった。

紫キノピオ「おお、すげーぞこれ！風に乗ってるぜ！」

紫キノピオの付けた帽子は「ウイングハット」

風が自分に向かって吹き、速く走ることができる。

だが、緑キノピオのかぶった帽子は…

緑キノピオ「のわあああ！なんだこりゃ！」

緑キノピオは「ハンターマグネットハット」

これを付けると、ハンターに引き寄せられてしまう！

紫キノピオ「悪い効果の帽子だったか・・・」

「ポン」

緑キノピオ「おいハンター！これは俺がやったんじゃない！帽子が悪かったんだ！」

運がない・・・

アクアイド「緑キノピオはなしな。」

プルルル

裏切り者「おいなんだよ・・・また？mission7？つてえ！残り52時間までに裏切り者に投票した逃走者が1人でも確保されていない場合、裏切り者を強制失格にする！？めちやくちゃだ！」

黄色ヘイホー「なお、裏切り者のケータイに投票者のナビを搭載する。」

裏切り者「まあ、ナビがあるならいいか・・・」

アクアイド「さて、ダーツルーレットを行うのだが・・・」

アクアイド「mission5で活躍した4人に、まず復活した逃走者がアイテムを手に入れることができるので、4色のダーツをそれぞれ当ててもらい、次に俺が復活ルーレットを当てる。投げたダーツの色と同じ色のダーツが当たった逃走者が、アイテムを貰う。さらに、今5人組制度があるので、ダーツの色のチームになる。」

というわけで。

全員「セーレーナ！セーレーナ！セーレーナ！」

テレサ「東京フレンドパークのダーツゲームじゃねー！」

赤マール＝赤

青キノピオ＝青

テレサ＝黄

ルイージ「緑

4人「それ！」

トントントントン！

アクアイド「えーっと、結果は赤が「逃走者ナビ」青が「高圧レーザ」黄が「激辛チョコレート」緑が「キックシューズ」に決定。」

アクアイド「ちなみに的は、遅く確保されたほど、ミッションに参加したほど、的は大きくなる。」

アクアイド「じゃあ行くぜ！必殺4本投げ！ワタア！」

トントントントン！

アクアイド「よし、赤は「クツパジャ」青は「キングテレサ」黄は「緑パタパタ」緑は「キノピコ」に決まったぞ！おめでとう！」

4人「やったあ！」

黄色モンテ「頑張れよー！」

グリーンカロン「俺たちの分まで頑張れよー！」

次回、裏切り者の最大の危機！

電撃じかけの稲妻基地（後書き）

今回は長かった・・・

その手があつたか（前書き）

裏切り者に投票した逃走者は6人。

その手があつたか

プルルル

デイジー「何：また通達5？」

青ヘイホー「今から15個の宝箱を設置する。ただ、そのうち6個は鍵がないと開けられない。」

紫キノピオ「って、もう1個あつた！鍵穴は・・・ないな！」

だが・・・

ハンターB「あ！」

紫キノピオ「さっきのハンター！」

だが、先ほど逃げたせいで早さが格段に落ちている・・・

紫キノピオ「このままでは追いつかれてしまう！こうなったら宝箱が役に立つ！」

ハンターB「逃げられんのか！？」

パカッ

「ミクロ望遠鏡」50m先まで見えます♪

ハンターB「あゝあ。」

紫キノピオ「賞金がほしい！でも、望遠鏡じゃ・・・」

ハンターB「よし、今だ！」

紫キノピオ「？そうだ！」

コロコロ・・・

ハンターB「うわっ！」

コケッ！

なんと、望遠鏡を転がしてハンターを転ばせた！

紫キノピオ「こうすればよかった！」

ハンターB「その手があったか！」

その頃

裏切り者「おっ、ピーチリンクに一人いるね・・・」

その逃走者は・・・

ピーチ「平和ね。」

ピーチ「・・・」

確保できるのか！？

裏切り者返り討ち作戦！ その裏にあった衝撃の逃走者！

ピーチ「まあ、ハンターは来てないわね・・・」

ハンターC「だが、ここにいたりして！」

ピーチ「いきなり！？」

足が少し遅めなうえに至近距離で見つかったため、逃走できるわけがないー（いや逃げれたら本当に奇跡ですよ）・・・

「ポン」

ピーチ「ああ、捕まった・・・」

ハンマーブロス「ピーチが裏切り者の通報により確保、残り29人、さらにグリーンチームだったためグリーンハンター1体追加。何やつてんだよ！」

色はレッド、ブルー、イエロー、グリーン、ピンク、パープルがある。

ハンマーブロスの色は・・・言わなくても分かるよね。

一方

キノじい「こういときはワリオシティの裏道に隠れてつと。」

しかし・・・

ハンターD「悪いけど、引つかからないよ!」

キノじい「な、なんと!？」

行き止まりだったため、逃げるできない・・・

「ポン」

キノじい「行き止まりが悪かったですね・・・」

キングテレサ「裏切り者の通報によりキノじい確保残り28人、さらにピンクチームだったためピンクハンター1体追加」

その頃

裏切り者「す、すごい!」

なんとリーダーに、4人の反応!

裏切り者「1人はドンキーがやったんだって」

1人はもう確保されている。残り5人。

しかも・・・

赤ヘイホー「あーあ、やることがないなあ・・・」

裏切り者「あつ!もう1人も出てきた!赤ヘイホー、ヨッシーパークメリーゴーランド付近にいます。」

赤ヘイホー「うわああああ！ハンターが2体も！？」

ハンターA・B「2体もいれば、捕まる！」

赤ヘイホー「ぎゃああああ！」

「ポン」

裏切り者「よし！2人もいればさすがに捕まるね・・・」

謎「発見！」

裏切り者「な、何！ハンターに見つかったのか！？」

しかし顔を上げると・・・

赤ヘイホー「僕ですよ！」

裏切り者「ぎゃああ、逃げろー！」

ピューー！

赤ヘイホーはオープニングゲームでハンターバッジを入手していました

裏切り者「はあはあ、良かった・・・」

「ポン」

赤ヘイホー「甘い！砂糖しか使っていないケーキほど甘い！」

裏切り者「な、なぜ！？ってか意味わからん！」

ブルルル

デイジー「裏切り者の通報により赤ヘイホーが確保されたがハンターバッジで返り討ちにして裏切り者確保、残り27人ついに裏切り者確保ね……」

ルイージ「さらに、通達6今から、裏切り者発表をする。見たい奴は来い。」

というわけで……

アクアイド「観客はデイジー、青ヘイホー、紫キノピオだけか……
まいいや、始めるぞ。」

アクアイド「まずは、裏切り者が確保した逃走者のクレジットだ。」

裏切り者に通報されて確保された逃走者

テレサ

赤マーレ

ワルイージ

青マーレ

緑カメツク

ドンキー

キングテレサ

ピーチ

アクアイド「では、フルボツコタイムを開始する。はい、熱線銃。」

8人「それっ！」

バシーツ！

裏切り者「ぎゃあああああああ！」

アクアイド「そして、裏切り者の正体だ！」

バツ！

全員「ああっ！？」

その正体は！？

赤キノピオ「……………」

全員「あ、赤キノピオーーーーーっ!?」

赤キノピオに投票した5人が出てきた。

なんと、5人は奇遇にも、全員レッドチームだった!

赤ヘイホー

クツパジャー

黄色カメック

ブラッディカロン

デイジー

赤キノピオ「き、君たちはなぜ…」

友よ、君たちはなぜ、悪魔に魂を売ったのか?

赤ヘイホー「カメンツノー!」

クツパジャー「タートルツノー!」

黄色カメック「マハウツノー!」

ブラッディカロン「ブラッドツノー!」

デイジー「フラワーツノー!」

5人「頭脳獣じゃない!」

バシューン！

月村サトシ「ぎょわああああ！」

赤へいホー「裏では手を組んで戦っていたのさ・・・」

デイジー「確かに遠くまで離れてちゃ分からないけど・・・」

その作戦やいかに！？

一方

ルイージ「な、何！？」

ベルーガ「お前に用がある。気絶してもらいたい。」

ジャド「そうです。我々の実験につきあってもらいましょう・・・」

ババーツ！

ルイージ「なっ・・・！！」

ルイージ、この危機を回避できるのか！？

そして5人のとった作戦とは！？

裏切り者返り討ち作戦！ その裏にあった衝撃の逃走者！（後書き）

次回から話が大きく変わります。

悪夢の生贄ルイージ（前書き）

レッドチームの連係プレイと、赤キノピオの旅路は今度にします。

悪夢の生贄ルイージ

ルイージ「な、なぜ僕を狙う!?」

ベルーガ「決まってるだろ!お前はハンター・裏切り者だからだ!」

ジャド「そうだよ。しかしお前は逃走者を暗殺する生贄に過ぎない・」

ベルーガ「そう。暗殺計画はお前の死で始まる!」

ルイージ「やらせるかつ!」

ジャド「逆らうな!クリスタルアロー!」

バシュ!

ルイージ「ぐあっ!」

ルイージは口から血を吐いた。

ベルーガ「行くぞ!閃光剣!」

ルイージ「何、閃光!?」

バシッ!」

ルイージ「ぐあああ・」

ルイージは声を出さずに倒れた。

そこに・・・

発表会の終わったレッドチーム。

赤へいほー「お前らは！お前らは・・・」

5人「誰だっけ？」

2人「どひゃーーーーー！」

ズコー！

2人がこける。

ルイージ「今がチャンス！プレグナサンダー！」

バジューン！

ベルーガ「あわわわわ！」

ジャド「させるか！フレイムアロー！」

グサーッ！

ルイージ「グハーツ！」

ルイージはまた倒れた。

2人「誰だっけ？とは、何だよ！」

5人「だって最初いなかったじゃん！」

ベルーガ「ああ、もういい！ロックマン4のボスに実体化ビーム！」

バリー！

ジャド「しかも、今回はウルトラミキサーで合成したんです！負けません！」

ファラオリングマン「まず俺が相手だ！」

ベルーガ「こいつは、ファラオマンとリングマンをミックスしたファラオリングマン！ファラオショットにリングブーメランをまとったサークルリングで攻撃する！」

ファラオリングマン「喰らえ！サークルリング！」

ヒュン！

バシューッ！

ブラッディカロン「ギャーッ！」

赤ヘイホー「ブラッディカロンさん！」

ベルーガ「よしどんどん行けー！」

ファラオリングマン「サークルリング乱れ打ちー！」

バシュバシュ！

ドドドドカーン！

5人「うわー！」

ジャド「思っただけどさ、丸い球に輪って、土星じゃない？だから、ドセイショットにすれば？」

ベルーガ「それじゃカッコ悪いだろ！サターンショットも考えたけど・・・」

ジャド「じゃあ、それでいいじゃん。」

ベルーガ「ただどさ、俺はシンプルがいいの！」

赤カメツク「今攻撃していいかな・・・まいいつか！ファイヤービーム！」

シュイン！

2り「ぎゃー！」

ルイージ・ベルーガ（前書き）

せつかく50話が迫ってることだし、50話は記念といつことで特別な話を作る。

ちなみに裏切り者の話を何時に回すかは不明です。

ルイージ・ベルーガ

赤へいほー「ファラオリングマンには、どうやって対抗します!？」

赤カメツク「行くぞ! ナパームビーム!」

ファラオリングマン「そんなもの通用しない!」

赤へいほー「だったら、ナパームをまとったキラードライダー喰らえー!」

ファラオリングマン「何ー!」

ドドドドドドドドドドドドドドドドドドドドドドドカーン! バキ
ドカボカシャーン!

ブラッディカロン「・・・なんかすごい音したな・・・」

赤へいほー「ほら! 赤カメツクさんがめちゃくちゃ強い魔法をかけ
たから、僕までズタボロになっちゃったじゃないですか!」

ファラオリングマンは倒されていた。

ベルーガ「この5人衆の2人に勝てると思ってるのか?」

ベルーガ「ジャド、連携攻撃だ!」

ジャド「煉獄放射!」

ベルーガ「それをまとったクロス真空！」

ズバアアアア！

5人「ぐおわぁ！」

ベルーガ「真空乱射ーっ！」

ズズズバーッ！

ブラッディカロン「のわああああ！」

スパーン！

なんと、ブラッディカロンの体が切断された！

デイジー「ブラッディカロンの体が！」

しかし

カタカタカタカタ・・・

シャキーン！

ブラッディカロン「俺は体を切断されても大丈夫だ！」

ジャド「何やってんだよ、ベルーガ！」

ベルーガ「なら、ブラッディカロンにはこれをプレゼントしよう！」

ブラッディカロン「それはいいね、何してくれるんだ？」

ベルーガ「サンダーハンマー！」

バックーン！

ブラッディカロン「ぐわあああ！」

ブラッディカロンが粉々に砕けた！

赤カメック「何！？」

ブラッディカロンは4人の手で元通りになった。

ブラッディカロン「こんな奴どうやって倒すんだよ！」

赤ヘイホー「そうだ、5人の力を1つに合わせて攻撃です！」

5人「行くぞ！全員の気力を1つにするんだ！」

シューーン

赤ヘイホー「この剣は・・・闇を打ち砕く閃光の剣シャインソード
！」

デイジー「この剣は全員の力を合わせると、最強の真空波が撃てる
！」

5人「いくぜ！ライトレーザー！」

シューシューシューシュー！

2人「ぐわあああ！」

ジャドは粉々に砕け、ベルーガは瀕死の傷を負った。

ベルーガ「ここで終わるわけにはいかない！チェンジビーム！」

ビーーーーー！

ベルーガはルイージに向かって光線を放った。

ベルーガ「ぐあああああああ！」

すると、ベルーガが息をなくし、代わりにルイージが動き出す。

ルイージ「！？」

デイジー「大丈夫！？ルイージ！？」

ルイージ「・・・うつ、・・・うつ・・・はあはあ、こ、こ
は・・・？」

赤カメック「—（なんかこのシーンどっかで見たことのあるような
・・・）」

ルイージ「・・・クックック・・・フハハハハ！乗り移りに成
功したぞ！残念だったな！これで逃走中は私のものだ！」

デイジー「ル、ルイージ！？」

赤カメツク「―（やっぱりどこかで見たような気がする・・・）」

赤ヘイホー「ってかどうやって乗り移りしたのかは措いとして、何で一人称が「私」になってんだよ！さっきまでは「俺」だっただろ！」

ルイージ「それは聖剣伝説2の本編でタナトスが私って言ってt」

赤カメツク「ああああああああああああああああああああああ！それだよそれ！ラストでタナトスがデリラックに乗り移るシーン！今思い出した！―（声がいつもの10倍）」

5人「ぎゃああああああああああああああ！耳がスパイラル破壊したああ！」

赤カメツク「ってあれ？・・・まっ、いいか。どうせチェンジビームでルイージとベルーガの魂が入れ替わっただけだし、今倒しているか。最強炎光線！プロミネンスビーム！」

ババババズギヤーン！

ルイージ「貴様！なぜチェンジビームの効果を知っている！？というかルイージになったんだから1つぐらい技を使わせろー！」

5人「k o t o w a r u！」

ルイージ「なんだその遊戯王みたいなことわり方はー！ぎゃあああああー！」

ドカーン！

その時、一筋の光が走った。

その時、ベルーガの姿は消え、正氣に戻ったルイージが目を開けた。

ルイージ「こ、ここは・・・」

デイジー「正氣に戻ったの！？ルイージ！」

ルイージ「まあ良かった、ベルーガとジャドがいなくなったことだし、行くか・・・」

クツパ「良かった・・・」

その頃

アクアイド「よし、この島を救う方法が見つかった！」

ドンキー「どんなんだ！？」

アクアイド「どうやら、電流が最も多く流れるエリアの、クツパ・ルーム、デイジーシップ、ルイージマシオンに雷が落ちるらしい。だから、その三つのエリアを移動させれば、エリア封鎖をまぬがれる。」

デイディー「そんなことできるの！？」

アクアイド「ああ、一つ手段がある。」

一方

ガンマ「とんだことをしようとしたベルーガとジャドが倒されたか・
・・・」

ベータ「俺たちの作戦に対して、アクアイドがあの場合の作戦を使うらしいぜ。」

アルファ「そうだな。だけどさせないよ・・・俺のせつかく考えた作戦を無駄にするわけにはいかないからね・・・」

次回、ついにmission 8 始動！その内容は！？

緊急指令！エリアを移動せよ

午前10時 残り50時間

ブルル

ガンマ「位置に着いたか、ベータ？」

ベータ「ああ、さつさと奪おうぜ。」

アルファ「この宝玉がなければ作動しない・・・なら作動させないだけさ。」

そして3人は宝玉と呼ばれる物を奪っていった・・・

アクアイド「！？・・・宝玉がない・・・！」

ブルルル

ルイージ「mission8！ついに来た！」

デイジー「雷からこの島を救う方法がいにわかった。それは、解放されていないエリアの、ルイージマンション、デイジーシップ、クッパjrrルームを動かすことだ。」

青キノピオ「だが、その動力源となる宝玉がアルファ、ベータ、ガンマに奪われた。」

青ヘイホー「残り48時間になると、電撃が流れ、逃走エリアにハ

ンターが雷とともに36体登場し、40体になる。」

緑ヘイホー「まずは、3人から宝玉を奪う。ガンマがデージーシッ
プのオレンジ色、ベータがルイーザマンシヨンの緑色の宝玉、アル
ファがクツパジャールームの黒色の宝玉を持っている。」

黄色ヘイホー「宝玉をアクアイドに渡すと、見つかりにくい所に、
そのエリアに入るためのバッジが10個あちこちに隠される。その
バッジをつけてエリアに行くと、48時間5分にそれぞれのエリア
が出港する。」

黒ヘイホー「また、トイフィールドにいけば、ミニゲームをしながら
新エリアへと向かえる。しかも勝つと賞金が2倍になる。しかし、
3つの宝玉をはめなくてはならない。」

紫キノピオ「なお、賞金と逃走時間があまりにも不平等なので、賞
金を2000万円に増やす。いいじゃん。」

青ヘイホー「まずは2人とも、3人を見つけましょう！」

ベビイマリオ「うん！分かった！」

赤モンテ「そうだな、しかしせつかく3人いるんだ、店に入ろう。」

ガチャ

実「おお。ここにはバッジが置いてるで。」

青ヘイホー「じゃあ、僕はCにします。」

赤モンテ「Aかな。」

ベビイマリオ「Bにするね。」

ガチャ

実「また来てなー。」

赤モンテ「いやー。いいもの買ったよ。」

ベビイマリオ「?・・・ねえ、あの人・・・」

そう言つて、ベビイマリオは1人の人を指した。

見かけない、怪しいフードをかぶっている。

青ヘイホー「あー、ここにアルファとか、ベータとか、ガンマとかいう人見かけませんでした?」

怪しい旅人「知らないな!俺がガンマだから!ゼクロスレーザー!」

ビシュン!

3人「うわっ!」

ガンマ「避けたか。でも、これはどうかな?ゼクロスバニッシュ!」

バシュー!

なんと、球が無数に分裂した!

バリバリバリ！

3人「ぐあーっ！」

諸に食らってしまった！

青ヘイホー「くそっ・・・強すぎるー！」

ベビイマリオ「そうだ！このバッジを付けてみよう！」

カチッ

ベビイマリオ「いくよー・・・・・・・・って速ーーーーー！」

これは「マツハバッジ」

付けている間、合計で5分間時速200kmで走れる。

赤モンテ「解説！それ本当か！？速すぎるぞ！」

ガンマ「うわああああ！止まれ！」

ベビイマリオ「速すぎて止まらないー！」

ガチューン！

2人「ぎゃああああー！」

そのまま2人は噴水へ飛ばされた。

赤モンテ「ピーチリンクに行こう!」

「・・・お・・・目・覚ま・・・」

「ん?」

「おい!いつまで寝てるんだよ!」

赤モンテ「大丈夫か、ベビィマリオ?」

ベビィマリオ「は、何言ってるんだ!?俺はガンマだぞ!」

2人「え?」

ガンマ「ちよつと!僕はベビィマリオだよ!」

2人「ええええええ!」

青ヘイホー「・・・というわけで、ガンマとベビィマリオが入れ替わってしまったと。」

ガンマ「ああ、大丈夫。・・・だって俺は本物だから!クーザーブレイズ!」

バシューン！

アクアイド「まさか、あれは芝居だったのか！」

ガンマ「そうだよ！ベビィマリオは一時的に操っていたのさ！」

青ヘイホー「そういえば、こんな銃が宝箱に入ってたんですが・・・」

ガンマ「それは冷凍銃！」

青ヘイホー「そうとわかれば・・・喰らえ！」

ビシューーツ！

ガンマ「のわーーーーーっ！」

ガンマは凍結した！

青ヘイホー「どうすんのこれ？」

アクアイド「まあ、ベータかアルファに聞いてみよう。」

ベビィマリオ「うわあ！あっちにハンター！」

青ヘイホー「とりあえず3手に分かれましょう！」

ハンターの行く先にいたのは・・・

赤モンテ「こっちに来た！」

赤モンテ・・・

赤モンテ「こうなったらバツジで起死回生だ！」

効果次第では、助かる可能性がある。

その効果はどうなるのか！？

ハンター全滅恐怖予報（前書き）

そういえば、今日で小説を書いて2カ月になる。

ハンター全滅恐怖予報

赤モンテがつけたバッジの効果は・・・

赤モンテ「おお、重力が味方しているように走れる！」

重力抵抗バッジ 重力の力を行く先に引き付け、速く走れるようにする。

だが、行き先に・・・

黄色ハイホー「赤モンテさん、黒ハイホーさん！ハンターが・・・

」

黒ハイホー「マジかよ！こっちからも来てる！」

赤モンテ「何ー！」

黄色ハイホー「そんな反応をしたってことは・・・ハンターが来てるんですね・・・」

おきのどくですが ぼうけんのしょ あかもんて きいろへいほー
くろへいほー はきててしまいました。

3人「ドラクエかい！」

しかし、黒ハイホーが・・・

黒ハイホー「そうだ！靴があつた！」

2人「あ、キャンペーンで取ってたの。」

すると・・・

グイーツ・・・

黒ヘイホー「なんだこのばねみたいな靴は・・・」

ヒューン！

黒ヘイホー「ぎゃあああああああああ・・・」

「スプリングブーツ」

3回、ばねを使って大きく飛ぶことができる。

黄色ヘイホー「って、僕ら結局確保じゃないですか！」

「ポン」「ポン」

赤モンテ「行き先が悪かった・・・」

マリオ「赤モンテ、黄色ヘイホー確保、どちらもイエローチームだったためイエローハンター2体追加。残り25人。ひどいなあ・・・」

デイディー「結構難しいよね、ハンターが増えと。」

キノじい「そういえば姫！」

ピーチ「何？」

キノじい「キノピオを光線で打つとは！」

ピーチ「あるとき正体分からなかったから！」

キノじい「姫失格です！姫を次世代に渡してください！」

ピーチ「ええええええ！」

キノじい「でも、やっぱり今のほうがいいです！」

ピーチ「良かった・・・」

青へいほー「これは、80%の確率で全滅が予想されますね・・・」

緑へいほー「そんなに高いのか・・・」

青へいほー「まあ、追加逃走者がいるんなら低くなりますけど。」

緑へいほー「にしても、なんでそんなに高いんだ？」

青へいほー「最初始めの追加逃走者が出るまでに誰も確保されていなければ、54人。その半分が27人。もう半分の切っているうえ

に、まだ2日残っているからさ。」

緑ヘイホー「そうなのか・・・？　なんか見ない奴が・・・」

メルザスの一員だと確信した2人。

勝つことはできるのか？

2人ならできる友情のパワー

青ヘイホー「行きます・・・必殺！不意打ち突き！」

槍がベータの心臓めがけて飛ぶ！

ベータ「見切った！妖刀奥義その1「十字妖魔斬」！」

ズバツ！ズバツ！

青ヘイホー「なっ・・・！」

なんと、槍を十字切りした！

緑ヘイホー「くらえ、スペリオルシュートアタック！」

ベータ「妖刀奥義その2「両断龍牙斬」！」

ズバツ！

緑ヘイホー「ぐわああああああああ！」

両断して中身が真っ二つ・・・にはならなかった！

ベータ「ええ！何で真っ二つにしないの！？」

アクアイド「だってさ、そんなことしたら残酷表記タグつけないといけないじゃん？」

ベータ「何で止めたんだよ！」

アクアイド「だってさ、まだ小学校も卒業してない少年が残酷な書き方するか？」

ベータ「同じ小6の竜斗っていう作者さんは残酷表記小説書いてますけど…」

アクアイド「こまけえこたぁいいんだよ！」

ベータ「良くなーい！俺にしたら緑ヘイホー殺成功だったかもしれないんだぞ！？」

青ヘイホー「ー（今攻撃していいかな・・・）」

緑ヘイホー「ー（いいと思うが…）」

2人「ツインレボリューションレーザー！」

キキキキキ・・・

2人「発射！」

ピルルルル！ジュバーン！

ベータ「ぐわあああああ！」

ベータ「ほら！こんな事話してたから、ダメージ受けたじゃないか！」

アクアイド「お前が先に話持ってきたんだろー！」

2人「エックススパイラルアタック！」

2人が交差しながらRVソード・激走切りしながら突っ込んでくる！

ベータ「そんなもので倒せると思っているのか！？」

2人「2人ならきつとできる・・・」

青ヘイホー「友情ゆうじょうのパワー！」

緑ヘイホー「友情ゆうじょうのパワー！」

緑ヘイホー「おい！なんで「ゆ」と「パ」がワントempo早いんだよ！」

青ヘイホー「そっちこそ、こっちから言えばなんで「ゆ」と「パ」が遅いんですか！」

ベータ「おい！前見ろ！」

2人「えっ？ぎゃああああああ！」

ガン！

ここはヨッシーパーク。観覧車にぶつかってしまった！

しかも・・・

カンコンガンバーンドーンバチーングターン！

アトラクションで反射し、アトラクションがめちゃくちゃ！

観光客の悲鳴「キャーワードアーワーヒャー！」

ノコノコ「はい、牢獄からのニュースです。たった今の情報によると、ヨッシーパークに突如出現した2体の回転した謎の物体が倒したアトラクションの数は58、被害者は約1000人に上ります。」

ベータ「何やってんだあいつら・・・ってえ!？」

バチーン！

ベータ「ぐはっ！油断した・・・」

ストツ

青ヘイホー「・・・ひょーだっ・・・まいりまちたか・・・」

緑ヘイホー「ひゃいつたか・・・」

ベータ「ふらふらだな・・・まあいい。宝玉は返そう。」

アクアイド「ちょっと待て、牢獄へ来てほしい。」

省略

ベータ「・・・でこのガンマを溶かしてほしいと?・・・そうだな・・・アルファに溶かしてもらおう。」

アクアイド「ま、アルファを捕まえるまでの辛抱か・・・」

一方

緑マーレ「マリオスタジアムって見晴らしがいいからほかの場所よりはいいと思うけど・・・」

マーレで唯一残っている緑マーレ。

その後方に・・・

ハンターD「あっ・・・」

ハンター・・・

緑マーレ「こういう時に捕まりたくない・・・なぜなら新エリアを観光できない・・・観光といってもエリア構造を調べるため・・・！ハンターがこんなところに！？」

しかし、気付いた時の距離はわずか10m。

だが・・・右の道から・・・

アルファ「どこがいかなかった・・・」

黒の宝玉窃盗犯・・・

アルファ「なんだその言い方！」

緑マーレ「あ！良かった！私の身代わりになれ！」

バシッ！

緑マーレがアルファを地面にたたきつけた。

アルファ「がつ！」

ハンターD「うわっ！」

アルファに躓き、ハンターDが転んだ。

その隙に緑マーレは行ってしまった。

ハンターD「何こんなところで寝てんだよ！」

アルファ「さっきの一部始終を見てたんなら、意味わかるだろ！」

アルファ「メカニカルレーザー！」

バシッ！

ハンターD「ぎゃああああ！」

アクアイド「・・・まいつか。」

プルルル

「マリオスタジアムにてアルファがハンターを破壊したためハンター3体に減少」

アルファ「はあはあ・・・さっきのでエネルギーをほとんど消費してしまった。」

謎「隙あり！」

ズガッ！

アルファ「なっ！？誰だ！」

クツパ「吾輩だ！ここのところ全然活躍なかったから・・・」

クツパ「メールで居場所が分かった！」

アルファ「アクアイド何してんのさ・・・」

クツパ「ファイヤー！」

ゴオオオオオオオ！

アルファ「ぐわあああああ！」

アルファ「まあ、黒の宝玉は返す。」

アクアイド「はい、氷を溶かしてー。」

アルファ「インフェルノ！」

ゴワアアアアアアア！

ガンマ「ぎゃあああああ！」

氷が解けたガンマは半焼けしていた。

3人「ま、次に会う時を楽しみにしてるよー！」

シュン！

クツパ「さて、ここに来る途中にこんなバッジを拾ったのだが・・・

「
アクアイド「そうだったな。バッジの色が宝玉の色に比例するエリアに乗れる。クツパは緑だから、ルイージマンションに行くといい。」

クツパ「ああ！」

3分後

クツパ「よし、一番乗り！」

クツパ missionクリア

次回、バッジ争奪戦！

新エリアに向けての序章（前書き）

現在の逃走者

ルイーシ

デイジー

青・紫キノピオ

赤・青・緑・黒ヘイホー

ディクシー

赤カメック

赤・緑パタパタ

ブラッディカロン

ヨッシー

ベビイマリオ

ベビイルイーシ

キノピコ

パタクリボー

緑マール

クッパ

クッパ jr

キングテレサ

ボスパックン

緑・赤・青ブロス

新エリアに向けての序章

プルル

赤ヘイホー「宝玉が3つ揃ったので、5人組の制度をなくしてカラーハンター4体をトイフィールドバッジに変えているいろいろな所にはらまく。」

プルル

アクアイド「どうした？赤ヘイホー。」

赤ヘイホー「赤キノピオはどうするんですか？」

アクアイド「裏切り者は無しだよ。」

クツパ「おつ、さつそく黒発見。」

一方

キングテレサ「トイフィールドに入りたいんだけど……」

一方デ이지ーシップ

ブーメランプロス「結構早く見つかった良かった。」

ベビールイージ「本当でしゅね。僕はルイージマンションに行く。」

ブーメランプロス missionクリア

1分後

ハンマーブロス「よし、これで新エリアに行ける・・・」

ボスパックン「ああ。」

ハンマーブロス ボスパックン missionクリア

ルイージマンション

ベビイルイージ「あ、兄ちゃん先に来てたの。」

ベビイマリオ「じゃあ、入ろう。」

ベビイマリオ ベビイルイージ missionクリア

クッパjrrルーム

赤ヘイホー「着いた・・・」

赤ヘイホー missionクリア

1分後

クッパ「着いたあ・・・」

クッパjrr「やったね父さん！新エリアが見えるよ！」

クッパ「おいこらやめろ！」

クツパ　クツパ　j　r　m　i　s　s　i　o　n　ク　リ　ア

デイクシー「バッジはどこかな・・・」

手探りで探すデイクシー。

そこに・・・

ハンターB「！」

ハンター・・・

少しずつ近づいてくるハンターに対し、デイクシーは気付かない。
最早逃走しても遅かった・・・

「ポン」

デイクシー「え？ちよつとさっきの隙を突かれた！？」

ルイージ「デイクシー確保残り24人」

といいつつ、ルイージマンションに入っていく。

ルイージ　m　i　s　s　i　o　n　ク　リ　ア

キングテレサ「花壇の中に…あつた！」

2分後

キングテレサ「着いた！さあ、トイフィールドを楽しむか！」

キングテレサ missionクリア

残り60分

それから40分

アクアイド「後、1分前に雷を避けるために動くから、あと19分！」

パタパタ「はい〜！」

これまでの途中経過

デ이지ーシップ

ブーメランブロス

ハンマーブロス

ボスパックン

青キノピオ

パタクリボー

キノピコ

ルイージマンション

ベビィマリオ

ベビィルイージ

ルイージ

紫キノピオ

青ヘイホー

緑ヘイホー

黒ヘイホー

クッパ jr ルーム

クッパ

クッパ jr

赤ヘイホー

ヨッシー

赤カメック

緑パタパタ

mission 未クリア

パタパタ

ブラッディカロン

トイフィールド

デイジー

キングテレサ

ファイアブロス

15分後

パタパタ「ああ、良かった！緑のバッジ見つかった・・・」

1分後

パタパタ「危ない危ない・・・」

パタパタ missionクリア

そして残ったのは・・・

ブラッディカロン「一体どこにあるんだよ・・・トイフィールド・
・・・」

トイフィールドを狙うブラッディカロン・・・

ブラッディカロン「観覧車のゴンドラの中にはさすがに無いだろう
な・・・」

良く見ると

ブラッディカロン「・・・あつた。」

ブラッディカロン「急げ！もう30秒しかない！」

しかし行く途中で・・・

ハンターA「!?!」

ブラッディカロン「な、ハンター!?!」

20

ブラッディカロン「横とびだ！それーっ！」

ハンターA「あーっ！しまった！」

10

9

8

7

6

ブラッディカロンとハンターAの距離10m

5

4

3

2

1

ブラッディカロン「はあはあはあ・・・」

間に合った・・・

ビシャアアアッ！

全てのエリアはもう進んでいる……」（トイフィールドを除いて）

ブルルル

マリオ「おう。ミッションは全員クリア！良かった……」

ピーチ「？そういえば、トイフィールドに向かったアクアイドは？」

デイディー「まさか……おいら達置かれたままとかないよな……」

緑キノピオ「ええーっ！？まじかよ！」

全員「俺たちどうなるのー！？」

牢獄におかれた30人の逃走者の運命は！？

脱走者の影侵攻（前書き）

今回から始まります

「スーパーマリオスタジアムキャラの別アニメ・別ゲームなりきり
1発芸」

全キャラが誰かのマネ、アニメのキャッチコピーを言います。
その元ネタを後書きに書きます。

当ててみてくださいという、単なる小さいクイズです。

今回はマリオ。

ちなみに、不定期で別の小説にも書きます。

あと、必ずやるわけではありません。

マリオ「月は出ているか？」

脱走者の影侵犯

あれから1分

黄色へいほー「いつたい僕らはどうなるんですか・・・」

プルルル

マリオ「ん！？あれ？俺のケータイからは鳴ってないぞ！？」

赤ノコノコ「おいらのケータイだけ！？」

ピーチ「ちよつと読んでみて！」

赤ノコノコ「mission 9。今から、復活ゲームを開始する！」

全員「おおーっ！」

赤ノコノコ「エリアのどこかに隠されている4つのトイフィールド
バッジをゲットし、トイフィールドに入れば復活できる。」

黄色へいほー「ということは、最低4人しか復活できないということ
ですか・・・」

アクアイド「今から牢獄を開放するが、39体のハンターがいます」
「

ガコン

30人「探すぞ！行くぜー！」

しかし

ハンター24・39「発見！」

30人「ぎゃああ！いきなりかよー！」

「ポン」

捕まったのは・・・

ワリオ「いきなり終わるかよー！」

さらにハンター24に・・・

黄色ヘイホー「うわあ！もう一体のハンターがこっち来た！」

さらに並行して・・・

ディディー「ひゃあああああ！」

黄色キノピオ「いきなりかい！」

しかし、距離が少しずつ縮まっていく。

ディディー「おい！黄色ハイホーどうすんだよ！っていなーい！」

黄色キノピオ「あの奴、どこかに隠れたのか！？」

「ポン」「ポン」

黄色ハイホー「近くに茂みがあったのでそこに逃げ込みましたが・
・ほかの2人に悪いことをしましたね・・・」

マリオ「ワリオ ディディー 黄色キノピオ確保 残り27人
いきなり3人も・・・」

だが

テレサ「なんだ、浅いマンホールの中にあっただじゃん。」

赤マール「おおっ！キノピオの石像の目に！」

1分後

テレサ「よっしゃーっ！復活だー！」

赤マール「テレサが先に入っているけど、せつかくだし入りましょ
ー！」

テレサ、赤マール復活

プルプル

赤キノピオ「え！もう2人も復活！？後2人が・・・ま、が」

「ポン」

ハンター32「あんな声を出したら見つかるに決まってんじゃない！」

ハンター4「あいつ馬鹿だね。」

残りは26人。

生き残ってくるのは誰なのか！？

脱走者の影優攻（後書き）

今回の1発芸は

「機動新世紀ガンダムX」
のキャッチコピーでした。

トイフィールドは危険な競技場

ジユゲムの雲「トリックオアトリート！」

ジユゲムの雲が赤ノコノコの持っているイカフライを指した。

ジユゲムの雲「実は・・・ジユゲムさんとはぐれてしまつて・・・腹が減つて動けなくて・・・」

その頃

アルファ「おい、また2人も連れてきたのか？」

ラーミラ「私は聖剣伝説3の技を全て暗記して全て覚えた、召喚士ラーミラです。」

ベータ「何でもこいつ、学生時代に聖剣伝説3をやりすぎて、ポーズも全部取つてたせいで、全ての技を覚えたらしい。」

アルファ「ガンマ、お前は最強の刺客らしいな。」

レーヴァス「ぐあああああ！ぐおおおおおおお！」

アルファ「・・・何だこいつ。」

ガンマ「こいつは改造変化人間レーヴァス。殺された動物をあまりにも悲しむあまり、全ての記憶と人間としての本能を忘れた。しかし、それと引き換えにあらゆる物体に変化することができるようになった。」

レーヴァス「・・・ああ・・・そうだ・・・」

アルファ「初めから普通に喋れよ！」

赤ノコノコ「そうすか・・・じゃあ、全部与えマスよ。」

ジュゲムの雲「ありがとう！これはお礼です。」

なんとそれはトイフィールドバッジだった！

赤ノコノコ「やったー！」

赤ノコノコ 復活

プルルル

マリオ「ここまででテレサ、赤ノコノコ、赤マーレが復活した。だが、残る1つは実はアクアイドが持っている。」

ノコノコ「そのトイフィールドb」

「ポン」

ワルイージ「バッジを手に入れるにはトイh」

「ポン」

黄色モンテ「フィールドに行きアクアイドの元へたどり着け。ただしt」

「ポン」

赤モンテ「途中での長く険しい迷路などの困難を潜り抜けなくてはならない。しかも8人しか出場できない」

「ポン」

緑キノピオ「ちなみに先ほど4人確保された」

黄色ハイホー「……………」

黄色ハイホーは偶然にもトイフィールドエリアにいた。

ウィーン…………

ジュゲム「はい、こちらトイフィールドアスロン受付です。」

黄色ハイホー「出場します。」

ジュゲム「はい、ではここにあなたの住所、電話番号、郵便番号にいつも食べている米の種類、ガールフレンド、性別に仮面の中身、それに……………」

黄色ハイホー「手続きややこしすぎだろー!」

ジュゲム「では、8人そろうまで、1番の控室で待っていてください。」

黄色ハイホーが扉をあけると、机の上に昼食なのか、天ざるうどん

があつた。

だが、こんなどこかにうどんなんて食べている場合では無くなる。

アスロンの恐ろしさは、黄色ヘイホー、そして残り7人に降りかかる・・・

トイフィールドは危険な競技場（後書き）

今回はちょっと早めのハロウィンネタです。

着くまでが競技

黄色ハイホー「とっても気前のいい店なこと。」

といいながら、そばつゆに海老天を乗せ、一口。

やわらかとした感触が口の中へ入ってきた。

続いて、普通に一口。

さくつとして、感触がいい。

その頃外では

青モンテ「ただ、トイフィールドへ着きやいいんだろっ!」

しかし・・・

ハンター4体「発見!」

囲まれた・・・

「ポン」

青モンテ「な、何...?」

それだけでは無かった・・・

「ポン」

青マーレ「え・・・」

「ポン」「ポン」「ポン」

あちこちから聞こえてくる確保の音・・・

「ポポポポン」

ドンキー「挨拶の魔法かよ！」

チヨロプー「ああよかった！着いたよ・・・」

省略

チヨロプー「控室待ちかー。まいいか、机の上の釜飯を食べよう。」

その後

黄色カメック「遠い・・・」

「ポン」

黄色カメック「ああ、駄目だ・・・」

緑カメック「よし。」

省略

緑カメック「この控室、意外と何でもそろってんだな。机の上に焼

き魚とごはん、味噌汁があるように。」

緑キノピオ「よし、行けるぜ・・・」

しかし、ハンターが10体も現れた！

緑キノピオ「こうなったら！」

なんと、緑キノピオは10体のハンターをステップで抜き去った！

ハンター26「ま、まじか・・・」

ハンター23「この俺たちを潜り抜けるとは・・・」

2分後

緑キノピオ「よし、着いたぜ。」

省略

緑キノピオ「ここが4号室ってことは・・・もう3人も来てるのか。」

そんな時

緑キノピオ「あの机に乗ってるのって！？おおーっ！これは！」

上には何があつたのか！？

スタート！アスロンエキサイト！（前書き）

到着逃走者

黄色ハイホー

チヨロプー

緑力メツク

緑キノピオ

スタート！アスロンエキサイト！

緑キノピオ「これはいい！松茸ご飯じゃないか！」

一方

トイフィールド前

クリボー「はあ、着いたぜ・・・」

ノコノコ「着いたっス・・・」

ワルイージ「つ、着いた・・・」

グリーンカロン「これまでどれだけハンターに追われたことが・・・」

一気に4人も来た。

それから3分後

ピンポンパンポーン

アナウンス「控室にいらっしゃる8名様は、すぐに会場へお越しください。」

5分後

黄色ハイホー「すごいな・・・ノコノコさんも来てる・・・」

ジューゲム「みなさんは、これから7つのステージを通ってもらいます。」

グリーンカロン「頑張っ^て行くぜ！」

アクアイド「そして、1番でここに來れたやつが復活！」

8人「行くぜー！」

スタート！

アクアイド「ステージ1はマグマステージ！金網に手をかけたり、綱渡りで進んでいくぞ！」

ノコノコ「こ、こういうところはどうしても足が竦むな・・・」

緑カメツク「ホレ。」

ポン。

バシャーン！

ノコノコ「あちあちあちあち！」

ノコノコ「良くもやったな！」

ドン！

バシャーン！

チヨロプー「なんでー！」

バシャドカバキブシ！

黄色ヘイホー「ったく、何やってんだか。先に行こう。」

緑キノピオ「いえーい！一番乗り！」

緑カメツク「早っ！」

ここまでの順位

1位緑キノピオ

2位黄色ヘイホー

3位緑カメツク

ほか測定不能

アクアイド「ステージ2はブリザードステージ！滑って思うように動けないぜ！」

緑キノピオ「う、うわああ！滑る！」

ツーーーーー！

ゴーン！

ワルイージ「いてえ！」

居たのかよ！

ワルイージ「お前が言うな！」

省略

ノコノコ「したらダメだろー！」

アクアイド「いよいよ最後のステージ！ステージ7はラビリンスステージ！」

黄色ヘイホー「あら、行き止まり！？」

全員なかなか出て来れない。

20分後・・・

アクアイド「来た来た！」

来たのは・・・

グリーンカロン「やったー！復活来たー！」

ブラッディカロン「やったな、グリーン！」

次回から特別編に入り、今回で1クール終了です。

スタート！アスロンエキサイト！（後書き）

ちなみに新エリアに行くまでに時間はたっていないとします。
2クールは残り47時間からです。

トイフィールド1〜3ターン目（前書き）

記念すべき50話目。

トイフィールドで1番になると賞金2倍です。

トイフィールド1〜3ターン目

牢獄はトイフィールドの物置におかれることになった。

アクアイド「さて、トイフィールドを行うか。」

復活した4人は観客です。

ルール

20ターンの間、バッターと野手を交換しながら戦う。

パネルの内容

30 30点もらえる。

60 60点もらえる。

90 90点もらえる。

120 120点もらえる。

きのこ ボールをはじく。

ファールゾーンフェンス 飛距離ボーナスを貰えることがある。

ホームランゾーン 500点もらえる。

ジャックポットパネル

このパネルに当たると下記のいずれかのゲームが発生。

きめられたパネルを撃て！

先に出たパネルだけを撃つ。

〇〇風船を撃て！

きめられた条件の風船を撃つ。

隠されたスターを探せ！

4つの箱からスターの入っている箱を選ぶ（運ゲー）。

勝った者が賞金を総取りできる。

野手は、左からボールのスピード、ボールのコース、バッターのおじやまアイテムをスロットで決める。

撃ったボールを取った野手が次のバッター。

アクアイド「じゃあ、デイジー、ブラッディカロン、キングテレサ、ファイアブ羅斯のスロットを回すな。」

スロットは「キングテレサ」と出た。

アクアイド「じゃあ、始めのバッターはキングテレサ。」

ちなみに全員300コインを持っている。

1ターン目 キングテレサ

スロットの結果は「スター」「左曲がり」「甲羅」になった。

ピッチャーマシン「スロットの結果読み込み完了。発射！」

バシュ！

キングテレサ「甘いわツツツ！」

カーン！

デイジー「早く行かないと！」

ファイアブロス「あの条件結構打てないと思ってたから油断した！」

当たったのは「60」「90」。

ファイアブロス「このやる！」

ドガッ！

デイジー「ちょっと！女を傷つけるなんてどういつつもり！？」

ファイアブロス「あ・・・いや・・・」

ブラッディカロン「今のうちに取っちゃえ。」

ポン

2人「やられた！」

ブラッディカロン「隙がありすぎるんだよ！」

2ターン目 ブラッディカロン

スロットは「?」「直線」「ボムヘイ」。

デ이지ー「「?」って?」

アクアイド「ランダムで選ばれる奴だよ。」

ピッチャーマシーン「発射！」

カーン!

しかし、撃った方向はファイアブrosの行き先!

ファイアブros「よっしゃー、60コインは貰った！」

ブラッディカロン「させるかあ!ボムヘイ！」

ファイアブros「・・・へ？」

ドカーン!

ファイアブros「ぎゃあああああ！」

おじゃまアイテムの攻撃を喰らった場合、バッターに60コインを

支払う。

パネルは「30」「60」ではねた。

デイジー「ああ、急がないと！」

しかし・・・

ボン！

キングテレサ「ああーっ！消えちゃった！」

この場合、引き続きバッターがバッターをする。

3ターン目 ブラッディカロン

観客席

テレサ「ポテトうまい！」

赤マーレ「こっちのナゲットもなかなかよ。」

赤ノコノコ「2ターン連続でバッターか。どうなるんですかね。」

スロット「スペシャル」「？」「バナナ」

バシュ！

ブラッディカロン「うおっ！」

カン！

「30」に当たった。

デイジー「これは私が取るの！」

ファイアブロス「俺だ！」

キングテレサ「俺だよ！」

アタックの乱闘！

キングテレサ「ハッ！危ない危ない・・・」

ポン

ファイアブロス「チッ、思い出したか・・・」

デイジー「悪いけどそのボール、いただくわよ！」

ブラッディカロン「点はー内！野手はー外！」

ブラッディカロンは豆まきならぬバナナまきをした！

ファイアブロス「うおっ！？」

ドン！

ツウルッ！トウルッ！

デージー「いたっ！」

キングテレサ「NO! OUT!」

野手全員60点マイナス

ポン

ファイアブロス「何とか取った・・・」

ブラッディカロン「チッ・・・」

グリーンカロン「このポップコーンキャラメルの甘みがあっていいね！」

テレサ「甘いより塩だろ！」

4人「試合に集中せい！」

トイフィールド1〜3ターン目（後書き）

成績

デイジー 240点

キングテレサ 390点

ファイアブロス 180点

ブラッディカロン 660点

トイ4 5ターン目・ブラザーラジオ1回目前半

4ターン目 ファイアブロス

スロット「フラワー」「直線」「甲羅」

バシュ！

ファイアブロス「フルスロットルエッジ！」

カーン！

高く上がり、なんと「120」パネルの上で止まった！

しかし・・・

キングテレサ「よっしゃー！俺の上だー！」

ファイアブロス「甲羅投げ！」

ドン！

キングテレサ「ホギヤ！」

「120」になった。

デイジー「いただき！」

次のバッターはデイジー。

5ターン目 デイジー

スロットは「スター」「左曲がり」「POUボール」だった。

デイジー「見切った!」

カーン!

3人「もらった!」

デイジー「させるか!POUボール!」

ドガア!

3人「のわあああああ!」

デイジー「やった!良かった!」

アクアイド「アウト!」

デイジー「え!?何で!?!」

キングテレサ「俺が取った!だって浮いてるから!」

デイジー「し、しまった!」

成績

デイジー 180点

キングテレサ 390点
ファイアブロス 300点
ブラッディカロン 600点

おまけ

マリオ「イエーイ！特別編特集企画！『マリオブラザーラジオ』第1回です！」

ルイージ「いろいろなゲストの皆さんと、いろいろな特集をラジオ形式で伝えていきます！」

マリオ「今回は特撮の変なサブタイトル第1弾！ウルトラマン編！」

ルイージ「1回目がピーチ、2回目がワリオ、3回目がドンキー、4回目にヨッシーのチームに来てもらいます！マリオとクッパのチームはいつかやります。今回はピーチキングダムです。」

ジャジャジャーン！

ピーチ「はいどうも！」

デ이지ー「はいはい。」

マリオ「まあ、今回はウルトラマン編だよ！」

ルイージ「まずは帰ってきたウルトラマンだよ！」

マリオ「この怪獣は俺が殺る」から見ていこう。」

ルイージ「誰かに邪魔されたのか？」

マリオ「はい、次。「暗黒怪獣星を吐け！」」

緑キノピオ「そんな事言っな。無理だし、そんなことしたら死ぬぞ！」

全員「そりゃそうだ。」

ルイージ「えーと・・・えっ！？「この一発で地獄へ行け！」こんなのあるの！？」

マリオ「サブタイ怖すぎだろ！」

ルイージ「ウルトラマンAにしますか。まず、似たサブタイとして「鳩を返せ！」と「パンダを返して！」があるね。」

キノじい「私は、前者はとても小さいことで、後者は中国が日本に對して言ってそうですね。」

マリオ「「空飛ぶクラゲ」。短いのにシユールだな！」

ルイージ「「命を吸う音」。怖い！音を聞いただけで命が吸われんの！？」

全員「架空だから気にするな！」

ルイージ「分かった！」

マリオ「よし、タロウより後は後半に続く！」

トイ6ターン目・ブラザーラジオ1回目後半（前書き）

トイフィールドは10ターンに変更しました。

トイ6ターン目・ブラザーラジオ1回目後半

6ターン目 キングテレサ

スロットは「キノコ」「直線」「ファイアボール」

バシュ！

キングテレサ「こんなもので外すかー！」

カーン！

パネルは「ジャックポット」で、「200」と書いてある。

ファイアブロス「よし、次は俺が出番を取る。」

キングテレサ「ファイアボール！」

ブラッディカロン「ぐわあああ！燃える！やられた！」

デイジーには当たらず、ファイアブ羅斯はボールを取った。

ジャックポットミニゲーム！

隠されたスターを探せ！

すると、4人の前に4つの箱が現れた。

デイジー「私はC。」

ブラッディカロン「じゃあ、Dにしようかな。」

キングテレサ「A。」

ファイアブロス「俺はBか。」

箱の内容は……

デイジー「何もない」

ファイアブロス「コイン」

キングテレサ「クッパ」

ブラッディカロン「スター」

アクアイド「普通はスターを手に入れたやつがコインゲットして終わりなんだが……」

4人「？」

アクアイド「まず何もない奴は何もない。」

デイジー「普通じゃん！」

アクアイド「コインは10コインゲット。」

ファイアブロス「よっしゃー。これだけでも大切に使わなくては。」

アクアイド「クッパはコイン半分！」

キングテレサ「ゲーツ！？まじかよー！」

途中経過

デイジー 180点

キングテレサ 225点

ファイアブロス 310点

ブラッディカロン 740点

おまけ

マリオ「はいはい、続きをやって行くよ。」

ルイーザ「タロウと、80のOP画像が変わってから――（33話以降）は変なのが多くなったね。」

マリオ「はい、タロウからやって行くよ。」

ルイーザ「怪獣の虫歯が痛い!」「」

マリオ「だからどうした。」

全員「確かに。」

マリオ「タロウの首がすっ飛んだ!」「こえーなおい!」

ルイーザ「確か、エンマーゴに首チョンパされたんだよね。」

ルイージ「あぶない！嘘つき毒きのこ」

キノじい「毒をもつ上に嘘まで付くんですか。」

キノピオ全員・キノじい・キノピコ「だけど、しゃべるキノコって初めて聞いたなあ。」

残り全員「お前らが言うな！」

ルイージ「ひきょうもの！花嫁は泣いた」

マリオ「そりや旦那さん困りますわな。」

ルイージ「ウルトラのクリスマスツリー」ってシンプルすぎ！」

マリオ「ウルトラ父母餅つき大作戦！」には南夕子が出てたな。」

デ이지ー「怪獣を塩漬けにしろ！」想像しただけで食欲の40%は軽く落ちるわ。」

マリオ「まあ、「あつ！タロウが食べられる！」ってのもあるんだけど、シンプルなんだが、大きいタロウを食うのか。胃がつぶれそうだな。それ以前に消化出来ない！」

ピーチ「怪獣サインはV」なんだかスポーツ的ね。」

ルイージ「歌え！怪獣ビッグマッチ」歌で戦うのかな？それにしてもタロウ多っ！」

マリオ「レオに入るぜ！つてか4話から6話まで「男と男の誓い」
「泣くな！お前は男の子」「男だ！燃えろ！」つて！全部暑苦しい
サブタイトルじゃねーか！」

青キノピオ「「おいらは怪獣大将だ！」」

マリオ「だからどうしたパート2。」

全員「確かにパート2。」

マリオ「80は33の次の34「へんてこりんな魚を釣ったぞ！」
とか、後半は変なの多いな。」

ルイージ「「ボクは怪獣だ〜い」」

マリオ「だからどうしたパート3。」

全員「だからどうしたパート3。」

紫キノピオ「「君はゼロ戦怪鳥を見たくないかい？」」

マリオ「見たくありません本当にありがとうございました。」

ルイージ「「あっ！キリンも象も氷になった！」」

マリオ「これ最終回だぜ？だから、新の80マニアは本当の最終回
がメビウスの41話「思い出の先生」つて考えてることが多いよう
だな。」

ルイージ「次回はメタルヒーローの予定です！ありがとうございましたま

した！」

マリオ「次回の小説に書く予定です。次回も見てくださいよな！」

トイ7ターン目・ブラザーラジオ2回目前半（前書き）

今回のブラザーラジオはジライヤまでです。

トイ7ターン目・ブラザーラジオ2回目前半

7ターン目 ファイアブロス

スロットは「?」「?」「ミニテレサ」

ファイアブロス「てえいやっ!」

カーン!

ファイアブロス「よっしゃ、飛んだぞ!90点行くか!?」

だが・・・

キングテレサ「はいはいワロスワロス」

なんと、その居場所の近くにキングテレサがいた!

ファイアブロス「それなら・・・こうだ!」

その瞬間、ボールが消えた!

キングテレサ「あれ!?ボールがない!?!」

ファイアブロス「よっしゃ!」

気がつくと、後ろにボールが落ちていた。

「90」にある。

キングテレサ「よし、とつた！」

ブラッディカロン「やらせるかつ！」

カシュウウウウウン！

デイジー「なぜ格闘ゲーム風！？」

キングテレサ「ごわあ！」

ブラッディカロン「よし、次のバッターゲット・・・」

前回からの変化

ファイアブロス 310 ↓ 400

おまけ

マリオ「はいはい、今回もブラザーラジオいつてみよー。」

ルイーダ「今回はメタルヒーローの変なサブタイトルを見ていくよ。
今回のゲストはワリオチーム！」

ワリオ「はいはい！ありがとうございますー！」

マリオ「宇宙刑事シリーズはまとめていくな。ギャバン最終話「ドンホラーの首」」

ルイージ「なんかホラー要素満載なサブタイ・・・」

ワルイージ「シャリバンは「誕生日の約束 大空に夢をえがく飛行雲」なんて言う長いのはっかりなのに、何でラスト前3話が「ミニー」「ガマゴン」「海坊主」なんだよ！」

ワリオ「確におかしい。」

ルイージ「シャイダーより「6年0組の不思議」0組はありません。」

マリオ「じゃあ、新年から月曜夕方になったジャスピオン行ってみよう！」「日本列島を断て！ 浜名湖アタック作戦」浜名湖にいた人たちは海に沈みます。」

ルイージ「「ご用心！ 月給1億円さしあげます」別に用心しない、逆にそんなところに入ってみたいな！」

ワリオ「そうだそうだ！」

全員「お前は黙れ！」

ワリオ「まあまあ。「ミヨちゃんのキスは百万馬力」」

マリオ「キスパワーつええwww」

ルイージ「ジャスピオンはもうないから、スピルバンより「ムムム！ ワーラー新戦力」ヨウキ？」知らないんですか？ていうか聞かないで。こっちだって知らないよ！」

緑カメック「まんぷくりん・夢をパックンしないでね」そんな言われかたされても…」

マリオ「さてメタルダーだが、日曜時代から狂って来てるな。「助けて！ 愛しのゴリちゃん逃亡日記」これ見た人に聞くけど、これほんとにゴリラが逃げたのか？」

黄色カメック「世界忍者戦ジライヤ。「ワナワナ罠のパコ作戦」3回言うな。」

赤カメック「謎の謎は謎謎?!」どういうことっすか!？」

テレサ「忍法・ハナちようちん!」どこが忍法だよ!」

マリオ「こうしてみると、メタルヒーローって結構変なサブタイプ少ないな。」

ルイージ「次回はジバン以降もやって行くよ!」

トイ8〜10ターン目（前書き）

今回は少し長めなので、ブラザーラジオは無しです。

トイ8〜10ターン目

8ターン目 ブラッディカロン

スロットは「キノコ」「直線」「緑甲羅」

バシュ！

ブラッディカロン「そりゃ！」

長打になった。

ファイアブロス「よっしゃ、フライアウト！」

これではブラッディカロンは60コイン失わなければいけない。

ブラッディカロン「よし、甲羅投げ！」

ドカツ！

キングテレサ「アウチ！」

アクアイド「おっ、これは借り払い！」

借り払いとは・・・

言葉の意味を理解していないアクアイドが、フライアウトした時にアイテムを別の野手に当て、勝手に借りさせる技だ。

途中経過

ファイアブロス 400 ↓ 460
キングテレサ 225 ↓ 165

9ターン目 ファイアブロス

スロットは「フラワー」「左曲がり」「バナナ」

ファイアブロス「行くぜ！」

カシューン！

鋭いライナー！

ドゴーツ！

ブラッディカロン「ドヒャー！」

なんと、体を捕らえた！

デイジー「ゲット！」

ちなみに「60」

ファイアブロス 460 ↓ 520

最終ターン デイジー

でたのは「フラワー」「右曲がり」「サンダー」

デイジー「そりゃ！」

カーン！

打った方向に「150」

だが、3人はそこにスタンバイしていた・・・

デイジー「サンダー！」

3人「ぎゃあ〜！」

サンダーはどのような場所においても画面内の野手なら雷を落とすことが出来る恐るべきアイテム！

「150」だ。

キングテレサ「なんとかとった・・・」

ゲームセット。

アクアイド「では1位は・・・」

アクアイド「ブラッディカロン！」

ブラッディカロン「やった！勝ったぞ！」

アクアイド「ブラッディカロンには、2000万円を贈呈する。なお、これは確保されてももらえるので、牢獄の中に入る必要はない。ただ、復活はできなくなる。」

ブラッディカロン「なるほど・・・理解しました！」

一方新エリア

マリオ「全く、俺たちが金にくらむからって、何でテレサと赤マーレの代わりなんだ・・・」

ディディー「テレサと赤マーレがないからしょうがないだろ・・・」

ワリオ「おまえら、がんばれよ！」

？たち「はい！」

彼らの正体は！？

次回から第2クールに入ります。

新エリアに出向く謎の船

新エリアに潜む声の正体は・・・

赤ヨッシー「俺たちだ！1番目にしゃべった俺だ！」

青ヨッシー「俺は2番目にしゃべった！」

キングクルール「そして、この俺様が3番目にしゃべったんだぜ！」

そう、ファミリーベースボールで初登場した、新キャラ達だった・

17人がいるが、あとがきで少しずつ書いていく。

マリオ「こっち側のオープニングゲームも鎖を引くゲームにしようと思ったけど、アクアイドが、1回の小説で同じゲームを2回も使うのはどうかと思って、新ゲームを考案したらしい。」

その頃、4つのエリアはパウダーホワイトビーチエリアに到着した。

そう、ここは「Wii Sports Resort」の舞台として登場した、ウーフアイランド。

ちなみに17人はウィンドパーク近くの平原にいる。

アクアイドはニュー・タウンの一角に住んでいる。彼に話しかければ自首も可能。

また、宝箱の中身を一新し、7個に減らした。

ワリオ「では、新ゲームに使う装置をセットするぜ！」

そう言つて17人の前に現れたのは、人間2人分ほどのルーレットが2つと、缶。

水色ヨッシー「どうやって遊ぶんですか？」

と、その時！

マリオ「・・・何だかやけにこの当たり暗くないか？」

すると赤ヨッシーが・・・

赤ヨッシー「お、おい！上を見る！」

青ヨッシー「な、何だあれは！？」

ブルークリッター「ふ、船！？」

ゲッソー「馬鹿言つな！空飛ぶ船があるか！」

ハナチャン「あ、赤い船・・・？」

ベビィピーチ「さすがにびっくり！こんなの見たことない！」

そう、彼らの前に飛び込んできたのは、空飛ぶ赤い船だった。

しかも、その船から、6人が飛び降りてきたのだ。

赤ヨツシー「お、お前らは誰だ！」

マーベラス「お前ら、楽しそうなことやってるな！俺たちにも関わらせる！」

青ヨツシー「マ、マーベラス・・・？」

そう、赤い船とはゴーカイガレオンのことだった・・・

ジョー「まあ、気晴らしにはなるだろう。」

ルカ「それに、人が集まってる気になるじゃん？」

マリオ「確かに。商店街で行列が並んでいるとつい入って行く主婦のことだな。」

全員「それ違う！」

ハカセ「だからさ、もっと多くの人でやってみようよ！」

アイム「何より、オープニングゲームの内容が気になります。」

鎧「そうですよ！皆さんでやりましょう！」

マリオ「とりあえず、新しいオープニングゲームの内容を言うぜ。
「カンケリット」缶を蹴り、1から7までの数字が書いてあるルー
レットのどれかに入ると、その分だけ俺たちのほうにあるルーレッ
トが回る。内容は4つで、マスは8つ。3つは、クリア。2つはア
イテムゲット。2つはハンターボックス進行で、30m離れたハン
ターボックスが2mずつ動く。ただ、このイベントは10回しか起
こらない。またハンターは5体。1つがハンター放出だ。」

全員「長い解説だな！」

マリオ「だが、これだけじゃない！実はアクアイドがマスの位置を
記憶できないため、マスの配置はやるたびに変わるんだよ・・・」

全員「ええっ！」

くじで順番を決めることになった。

今回は時間がないので明日キヤラ解説です。

全ては運！カンケリット！

前回、ファミリーベースボール（＋ゴーカイジャー）のメンバー23人は、カンケリットのルール説明を聞き、くじで順番を決めるところだった。

マリオ「実はベースボールアイランドにしようと提案したのは俺なんだけど、反省点があった。

1つは「逃走エリア」良く考えてみたら、あの島普通の逃走エリアの0、7倍ぐらいしかないんだよ。なのにも関わらずこのウーフィーアイランドは普通の1、2倍。このぐらいがちょうどよかったと反省。

2つは「逃走者」この時、46人も出したらあれだけ確保されるのは普通だったと反省。」

とまあ、23人がくじを引いた。

鎧「やった！追加戦士16番目の俺にふさわしく、16番目だ！」

黄色ヨツシー「11番。なんか可もなく不可もなくって感じだけど・・・出さないようにしなきゃな。」

ルカ「えっ！？1番目！？」

マーベラス「3番。マジか・・・」

青ヨツシー「あ、やった。23番目。」

1番目はルカ・ミルフィ。

ルカ「てやつ！」

カン、カンカーン・・・

入ったのは「3」

マリオ「こっちも3マス回して・・・」

クリア

ルカ「よし！」

2番目はゲッソー。

ゲッソー「それっ！」

カン！

「6」

ディディー「よし、6回。」

アイテムゲット

ゲッソー「これどうするの？」

ワリオ「アイテムゲットが出たら、このアイテムスロットを回し、止まったところのアイテムをゲットできる。」

ゲッソー「そりゃ！」

カン！

アイテムは「冷凍銃」

ゲッソー「よし、使いどころを見極めないと・・・」

全ては運！カンケリット！（後書き）

キャラ紹介1

赤・青・黄色・水色・ピンクヨッシー

赤は熱血、青はひねくれ者、黄色は普通、水色は秀才、ピンクは何故か男。

一人称は赤と青が俺、黄色と水色とピンクが僕。

ミッションには赤と水色は行く。青、黄色、ピンクは行かない。

これが本当の人間差別（前書き）

キャラ説明は確保された逃走者を特に説明していきます。

これが本当の人間差別

3番目はキャプテン・マーベラス。

マーベラス「とりゃ!」

カン!

カンカンコーン・・・

「2」で止まった。

ピンクヨッシー「もしかしたら、ハンター放出かも・・・」

クリッター「そ、そんな心臓に悪いこと言っなよ!」

クリア

マーベラス「よっしゃ!」

クリッター「はあ・・・」

ピンクヨッシー「ねえ、次は誰かい?」

ベビィデ이지ー「私よ!」

4番目はベビィデ이지ー。

ベビィデ이지ー「それっ!」

カンカン．．

「4」だ。

黄色ヨッシー「さて、内容は．．．」

ブルークリッター「内容によっては序盤から出されることもあるかな．．．」

ハンター2マス進行

ゴゴゴゴゴ．．

ハンターボックスが彼らに近づく．．．

ベビィデイジー「あ、ごめんなさい!」

赤ヨッシー「まあまあ。大丈夫。まだ28マス残っているんだから。」

鎧「そうですよ!まだマスとの距離は十分にあるんですから!」

ベビィデイジー「分かった!」

ジヨー「さて．．．次は誰なんだ?」

全員「．．．．．」

ブラウンクリッター「あ、俺の番だ!」

全員「早く気付け!」

5番目はブラウクリッター

タイニーコング「まあ、まだ出されてもこっちは余裕で逃げられるけど・・・」

ブラウクリッター「えいやっ!」

カンコン・・・

「3」。

ディディー「さて、回しまして・・・」

ハンター進行

ゴゴゴゴゴ・・・

赤ヨッシー「何やってんだよ! 2mも縮まっちゃったじゃねーか! どーしてくれんだよー!」

鎧「そうです! もう26mじゃないですか!」

ブラウクリッター「何で!?! さっきのベビィディジー時はあっさり流してくれたのに!」

ハカセ「これが本当の・・・」

ジョー「人間差別・・・だな。」

この後、6番目のレッドクリッターが、3を出してハンター進行。もちろん赤ヨッシーと鎧に（ry

7番目のアームが、5を出してクリア。

8番目の水色ヨッシーが、6を出してアイテムゲット。ウーファーアイランドで出来るスポーツの効果それぞれ5分使えるスポーツキツトをゲットした。

黄色ヨッシー「9番目は誰だ？」

赤ヨッシー「俺だよ。」

ハナチャン「そういえば、ハンター進行を後で誰か出したらどうするんですか？」

赤ヨッシー「ああ、俺はここに残る。どうせ足早いし、よほどのことがないかぎり確保はされない。」

赤ヨッシー「行くぜ・・・とりやつ！」

カコーン！

ワリオ「お・おう・・・威勢がいいな！・・・」

「1」が出た。

出た目はアイテムゲット。

マリオ「はい、アイテムスロット回して〜。」

赤ヨッシー「うりゃっ！」

無敵サングラス

赤ヨッシー「おっ！定番が来たな！」

この後、10番目のクリッターが3。ハンター進行し（ry

11番目の黄色ヨッシーが5を出し、クリア。

12番目のジョーが4を出し、クリア。

13番目のブルークリッターが6を出し、ハンター進行。もちろん（ry

クリッター族「ていうか！俺たち全員ハンター進行してんじゃないか！」

14番目のタイニーコングが2を出し、ハンターを進行させたが、2人は言わなかった。どうやら悪人の時だけらしい。

15番目のベビィDKが6を出し、またしてもハンター進行。

この時点ですでにハンターボックスとの距離は16mに縮まっている。

7回もハンター進行が行われている。

ここまで来ると、ハンター放出をした逃走者が逃げ切るのは難しい。

青ヨッシー「確か16番目は……」

鎧「俺です！」

16番目は伊狩鎧。

鎧「よし・・・それっ!」

カンコローン・・・

「2」だ。

ディディー「つてか、今回普通に紹介されてる逃走者アイテムゲット多くない?」

アイテムゲット

マリオ「・・・またか。」

鎧「えい!」

植物育成キット

鎧「え?」

マリオ「まあまあ。これは外れじゃない。これは育てば、役に立つアイテムなんだから。」

鎧「・・・まあいいか。」

ファンキーコング「17番は俺だよ!」

17番目はファンキーコング。

ファンキーコング「えいや！」

「4」になった。

マリオ「さて、回すか・・・」

ハンター放出

残り逃走者「えええええ！」

ガコン

ハンター5体が放出された・・・

ハンターの狙いにあつたのは・・・

キングクルール「ぐわあああ！」

意外にも、一番足の遅いキングクルール・・・

キングクルール「こうなったら！」

なんと、ファンキーコングとベビィピーチの腕をつかみ・・・

ベビィピーチ「え!？」

ファンキーコング「な、何だ!？」

キングクルール「道連れじゃあああああ!」

「ポン」「ポン」「ポン」

ベビィピーチ「ひどいでしゅーーーーー!」

ファンキーコング「なんてことすんだよ!」

キングクルール「これこそ!奥義道連れ!」

ハンター5体「どこが奥義だよ!」

するとケータイに・・・

「ファンキーとベビィピーチはホテルシーサイドスーペリアのテニスコートの牢獄に入ってくれ。キングクルールはそのまんま逃走してくれ。」

ファンキーコング「え!？どういうことだよ!」

キングクルール「よっしゃー!神は俺を見捨てなかった!」

だが・・・

アクアイド「月村、牢獄から電話するってどういうことだ?」

月村サトシ「キングクルールの件だよ。」

アクアイド「まあ、いいだろ。」

月村サトシ「じゃあ、切るぜ！」

ガチャ

アクアイド「今のうちにさんざん喜ぶがいい。」

月村サトシ「なぜならお前には、今から地獄を見ることになるからな……。」

一方

ブルル

デিজィー「ウインドパークでファンキーコング ベビィピーチ確保残り49人 一気に2人も……。」

ブルルル

青ヨツシー「えーと、mission10。だけど俺たちにとって最初のmissionだな。」

そのmission内容は、始めからとしてはあまりにも衝撃的なmissionだった……

これが本当の人間差別（後書き）

キャラ紹介2

ファンキーコング

結構外国の文化を取り入れてそうなコング。

一人称は俺。

missionには行く。

ベビピーチ

ピーチの幼少時代。

一人称は私。

missionには行くか行かないか。

キングクルール

新メンバーの中では足が一番遅い。

一人称は俺様。

missionには行く訳がない。

ベビデ이지ー

デ이지ーの幼少時代。

一人称は私。

missionはその時による。

ゲッソー

どのような場所も動けるイカ。

一人称は僕。

missionは・・・まあ行く。

ハナチャン

結構足の速いイモムシ。

一人称は私。

missionには行く。

キャプテン・マーベラス

ゴークアイジャーのゴークイレッド。

一人称は俺。

missionには行く。

遊覧式通報部隊

青ヨッシー「何！？序盤でこんな高難易度なミッションを出してもいいのか！？」

ルイージ「前回、キングクルールがファンキーコング、ベビィピーチを道連れにした。」

デ이지ー「そのためウーフォーポリス部隊がキングクルールを指名手配した。」

ハカセ「キングクルールを5分以内に誰かが鎖鎌でとらえないとハンターが100体が増える。えっ！それだと瞬殺じゃん！」

キングクルール「うわっ！このために確保を無かったことにしたのか！」

キングクルール「よし、まずは森林公園へ・・・あの場所ならあまり気付かれないだろう・・・」

というわけでキングクルールは森林公園に着いた。

キングクルール「はあ、はあ、ここまでこれば来ないぜ・・・」

その時！

ガチャッ！

キングクルール「何！」

水色ヨッシー「僕の予想なら、ここに来ると思ったんですよ……」

キングクルール「な、何だと……」

mission10クリア

全員「mission短けえ！」

一方

マントの男「この3つの鍵を使えば、私の陰謀は完全に成功する……」

アカイド「あれ？さっきまで保存していたmission用の鍵がない……」

ブルルル

緑ヘイホー「もうmission11ですか。」

クッパ「遊覧飛行用の飛行機3台に通報部隊3体が搭乗した。」

ルカ「彼らは逃走者の位置を見つけ次第通報をする。」

キングテレサ「帰還させるには、エリア内のどこかにある鍵3つを使い、レバーを下げて装置を作動することが必要だ。」

mission11!

通報部隊が飛行機に3体乗っている。彼らは逃走者の位置を見つけ次第通報する。阻止するにはエリアのどこかにある鍵を探し、鍵で封印を解いてレバーを下げ、帰還させなくてはならない。また、このmissionは時間無制限で、レバーを下げない限り通報部隊はエリアに生存する。

また、このmission内容には書いていないが、装置はレイクピアキャッスル内部、テン・カウント入り口周辺、キャンドル・ムヨーノ内部に入っている。

しかし、そのうちキャンドル・ムヨーノは鍵がかかっているため、宝箱の中から鍵を探さなくてはならない！

赤ヨツシー「このmissionは行つたほうがいいな・・・といつても、こんな所に居れば絶対通報されないんだけど。」

それもそのはず、赤ヨツシーはホテル・シーサイドスーペリアの102号室にいる。

今回の逃走中では、建物内部には全て入ることができる。

だが、ハンターはそんなところも見逃さず確認するため、安全な場所は0に近い・・・

だが、こんな逃走者も。

ウーフィーアイランド市街

ルカ「こんなmission、行く訳ないじゃん！」

だが・・・

通報部隊A「ルカ、ヨットハーバー周辺に発見した。ただちに向かえ。」

ハンター2「悪いんだけどさ、今バスケットボールやってんだよ。」

通報部隊A「フリースローか？・・・てかそんなことしてないで早く行けよ・・・」

ルカ「うわっ！」

ルカの走力ではまくことはできない・・・

が・・・

黄色ヨツシー「うわおっ！」

逃げた先に黄色ヨツシー・・・

ルカは逃げるのに集中していたため、黄色ヨツシーに移ったことを知らない・・・

黄色ヨツシー「のわあああああ！」

そしてハンターの狙いは黄色ヨツシーに移った・・・

黄色ヨツシー、逃げられるか！？

遊覧式通報部隊（後書き）

キャラ説明3

ジョー・ギブケン

ゴーカイブル！。

一人称は俺。

missionは行く。

ルカ・ミルフィ

ゴーカイイエロー。

一人称は私。

missionは内容による。

鍵と装置の探索捜査始まらず（前書き）

前回のあらすじ

ルカにハンターをぶつけられた黄色ヨッシーが逃走。

鍵と装置の探索捜査始まらず

黄色ヨッシーがスカット・ボウル周辺を逃走。

黄色ヨッシー「ここでスカット・ボウルの前に出れば・・・行ける！うおおおおお！」

バアアアア！

ハンター4「！」

しかし、2体のハンターに囲まれた・・・

黄色ヨッシー「え？」

いくら足が速くても、道幅の狭い道で挟み討ちさせられては逃げ道も無い・・・

「ポン」

黄色ヨッシー「嘘ーーーーー！！！」

声は全土に響いた・・・

ハラハラつり橋

青ヨッシー「何か町のほうから悲鳴が聞こえたような・・・」

アクアイド「誰か捕まったのかな・・・」

プルルル

ピンクヨッシー「何！？黄色ヨッシー確保残り47人！？」

その時、ヨッシー族に衝撃が走った・・・

赤ヨッシー「何で48人じゃないんだ？」

・・・人数のほうに。

月村サトシ「なあ、アクアイド。俺達間違っていないよな？」

アクアイド「そうだが、最初から全員合わせて50人だった。」

ピンクヨッシー「ここは危険です！早く逃げましょう！」

ハカセ「わ、分かった！」

動かずの時計台前にいる2人。ピンクヨッシーは迷いをせずにハカセとともに逃げだした。

ハカセ「な、何で逃げるの！」

ピンクヨッシー「黄色は確かにヨッシーの中じゃ一番足は遅い。だけど、ハンター1人にあっさり捕まるようでは無い。一部を除けばそう、ハンターに捕まる可能性が一番高いケース・・・それは・・・

「挟み討ち」だよ。」

ハカセ「えっ、じゃあ周辺に2体いる可能性があるから早めに逃げたの!？」

ピンクヨッシー「ていうかスタミナ切れか、転ぶ以外でハンター1体には絶対に苦戦しない！それが結論だ！」

一方

鎧「行きましょう！これはクリアしないといけません！」

鎧は鍵を探しに行った。

赤ヨッシー「さて・・・そろそろ行くか。」

すると下で・・・

支配人「お客さん！鍵！鍵忘れ・・・行っちゃった・・・」

赤ヨッシー「どうしたんですか？」

この時点で赤ヨッシーは忘れたのが鍵だということを聞いていない。

支配人「あのマントをかけた客が、この袋を忘れちゃって・・・」

赤ヨッシー「任せとけ、俺が行ってやる！」

環状線第一トンネルへ走り出す。

だが・・・

赤ヨッシー「うわっ、あいつ俺の走力でも追いつけない！」

その男は速すぎた・・・

だがそこに・・・

鎧「うわっ！何ですかあの人！」

赤ヨツシー「丁度良かった！その人を止めてくれ！」

鎧「ちょっと止まってー！」

マントの男「う、うわあああ！」

赤ヨツシー「ええええ！お前が鍵を持っていたのか！？」

鍵を取り戻せるか！？

今回も説明なし。

逃走中影の侵略者（前書き）

今回から次回予告始動！

そして、投稿者変更に差し掛かる伏線・・・

次回予告があるので、次回まとめて紹介します。

逃走中影の侵略者

逃走中が行われている中・・・

ウェッジ島

ここも一応wii sports resortの舞台となっている。

ホテル ナインティーン

？「はあ、やっとアクアイドに頼まれた逃走中のセット内容が完成した・・・」

彼はどうやら、アクアイドの身内らしい。

1階

？「そういえばまだ昼食ってなかったや・・・」

支配人「どうぞ、裏メニューのスタミナ冷やしうどんでございます。

」

？「これってさ、うなぎと山芋っていう結構高めの物が600円っていう、結構安めで食べられるのがいいよな。」

一方

アルファ「し、しまった！」

ベータ「そうだ！今日あの宝箱の存在を忘れて、海に投げちゃったんだよ！」

ガンマ「あの宝箱の中には、タブーの力を最大に発揮した、アルティメッターなる、強大な力の超人が封印されていたのに・・・」

アルファ「ラーミラの奴、あの鍵を持っていったな・・・だがもう遅い、俺が捨てた・・・」

ラーミラ「そ、そんな！僕の苦勞が・・・」

鎧「お前、何者だ！？」

ラーミラ「僕は聖剣伝説3の技をマスターした男、ラーミラ・・・」

赤ヨッシー「お前もメルザスの一員だったのか！」

ラーミラ「ならこれからいくか・・・カッターミサイル！」

ズバババババババ！

なんと、両斧が飛んできた！

赤ヨッシー「うわっ！」

スパアア！

鎧「なっ、真っ二つに・・・」

赤ヨツシー「なあ、鎧、変身できないのか？」

鎧「あ．．．はい！許可は得ています！それでは．．．ゴーカイチ
エンジ！」

「ゴーカイジャー！」

ラーミラ「アックスボンバー！」

ドガアアアア！

赤ヨツシー「のあっ！」

鎧「行きます！ゴーカイスピア！」

スパッ！

ラーミラ「ぐわっ！」

ラーミラ「よし、火遁の術！」

ボオオオオツ！

2人「ぐはああああ！」

アルファ「続いて雷神の術！」

ラーミラ「はああああ．．．！」

バゴオオ！

2人「ぐあああああ！」

ベータ「よし、真空波動槍だ！」

ラーミラ「よし！」

シュイイン！

鎧「ぐあつ！そこまで威力は無いはずなのになんだかすごく効いて
ませんか！？」

赤ヨツシー「それはさっきの攻撃で魔法攻撃力と防御力が下がった
からだ！」

ガンマ「行けっ！魔法陣斬！」

ラーミラ「うおおお！」

ズバシュガ！

赤ヨツシー「ぐあああああ！」

鎧「あ、赤ヨツシーさん！」

赤ヨツシー「だが俺は実は最初の火遁の術を吸収していた・・・俺
は炎属性だからな・・・」

鎧「さすが！」

赤ヨッシー「いくぜ！カイザークラッシュ！」

ラーミラ「だが、プロクテトアップ！」

赤ヨッシー「だが！マリオテニスでは俺の効果はストロークパワーアップ！物理攻撃力が高くなる！」

ドガアアア！

ラーミラ「ぐわあ！な、なぜ！？確かに攻撃力が高くても、プロテクトアップをかければ攻撃力を殺げるのに・・・」

アルファ「だってお前、さっきプロテクトをプロクテトって言ったじゃないか！」

ラーミラ「そ、そうか！」

レーヴァス「ぐおおおおお！」

アルファ「あ、お前居たんだ。」

レーヴァス「ひでえ！俺は今着いたのに！」

ベータ「じゃあ、言えないじゃん！」

アルファ「まあ、ラーミラ、召喚魔法を使え！」

ラーミラ「空を見る！星を見る！宇宙を見るー！」

アルファ「何歌ってんだ！それと、レーヴァスはコンドルに変身だ

！
」

レーヴアス「うおおおおおー！」

赤ヨツシー「速い！」

バシッ！

2人「ぐあっ！」

レーヴアス「そりゃ！」

ガシッ！

鎧「うおわああああ！」

赤ヨツシー「鎧！火炎弾！」

ドガアッ！

レーヴアス「ぎゃああああ・・・」

赤ヨツシー「しまった！鎧も一緒に・・・」

「ゴーオンウィングス！」

赤ヨツシー「鎧！」

鎧「赤ヨツシーさん！ゴーオンジャーがいなかったら今頃海の底ですよー！」

鎧「このまま突撃！」

バシバシ！

ラーミラ「うわっ！こういう時に使えるのは・・・」

アルファ「ホーリーボールで攻撃しろ！」

ラーミラ「てか僕、今までずっとポケモンみたいにずっと指示を受けてばっかじゃないか！」

バシ！

鎧「うおわっ！」

赤ヨツシー「行くぞ！火炎放射！」

ラーミラ「効くか！マジックシールド！」

赤ヨツシー「何っ！？」

ラーミラ「アースクエイク！」

赤ヨツシー「そんなもの、火炎放射で焼いて・・・」

隕石に炎が纏われた。

赤ヨツシー「キックだ！メテオストーム！」

ドガアアア！

ラーミラ「ぐわあああああ！」

アルファ「ラーミラ！」

ラーミラ「こうなったら・喰らえ！召喚魔法フレイア！」

ズガガガガ

赤ヨツシー「あ、あれ！？まさか俺たちが小さくなった！？」

鎧「ま、まずいですよ！」

一方牢獄

月村サトシ「なんかあの飛行機こっちに来ないか？」

ウィイイイイン…

そこにいたのは、テレサだった。

だが、頭にパーティ用のトンガリ帽子をしている。

？「すいませーん。ここに、ウエスタンハットをしたヘイホーを見ませんでしたか？」

アクアイドは今のかぶってはいないが、普段はウエスタンハットをかぶっている。

月村サトシ「ああ、それならニュー・タウンにいますよ！」

アクアイド「まあ、それなりに行ってると思った。mission
頑張ってくれるかなー。」

ガチャツ

ベクトル「よっ、アクアイド！」

アクアイド「お前はベクトル！」

話によれば、アクアイドは仮の主催者で、全ての小説を主催していたらしい。

そしてベクトルが逃走中の全ての仕事を終えたため、ベクトルが本当の投稿者だった。

月村サトシ「そうか！わかったぞ！」

月村サトシ「つまり1か月の間に・・・投稿者の名前がベクトルになるんだよ！」

牢獄の中の逃走者「な、なんだってー！」

本当になります。

アクアイド「ベクトルは俺の親友だ！それより大変なことが！」

赤ヨッシー「はあ、やっと元の大きさに・・・」

ラーミラ「マルドゥーク！」

バリーーッ！

赤ヨッシー「……………」

鎧「……！？……！」

マルドゥークの効果は沈黙！

言葉を話せなくなってしまう！

ベクトル「よしわかった！この俺が改造した改造飛行機で助けに行こう！」

アクアイド「任せた！」

ベクトル「お前の一つ右の家に住まわせてもらっな！」

アクアイド「よし、行け！」

ベクトルは旅立つ！

彼らを救うために……………

その頃

ベビイルイージ「ウィンドパークにいれば、順風で勢いに乗って速く逃げられる……………」

そこに……………

ハンター3「！」

ハンター・・・

ベビルイージ「ハンター！？よし！行くよー！風になるんだー！」

だが・・・

ベクトル「待つてろよ赤ヨッシー！鎧！フルスピードだ！」

ビュオオオオ！

ベビルイージ「えええええー！嘘ー！」

なんと、ベクトルの飛行機が通った時の風で風向きが逆になってしまった！

ベビルイージは風の抵抗を受けないハンターから逃げられない！

「ポン」

ベビルイージ「嘘ー・・・肝心な時に限って風が逆になるなんて・・・」

ベビイマリオ「そんな・・・ウィンドパークでベビルイージ確保残り46人。弟が捕まっちゃった・・・」

ジョー「お前は弟が捕まって悲しいのか？それなら、弟の分まで逃

げ切るんだ！約束しただろ！」

ベビィマリオ「分かった！ベビィルイージ、僕は逃げ切る！」

逃走中影の侵略者（後書き）

次回予告

飛びあがれ！ベクトルの改造飛行機！

改造飛行機は2人を助けるために！

ベクトル、彼の改造が飛行機に施したものは！？

そして、ラーミラを倒し、通報部隊を帰還させられるのか！？
新キャラの登場で、話が180°動いた！

次回第61話

「改造飛行機天を飛べ！」

君たちも、天へ飛び立つ翼となれ！

改造飛行機天を飛べ（前書き）

話をしよう。

あれは・・・3日前の出来事だったかな。

次回予告だったね。

あれをやめるよ。

マリオ「またか」

そして、残りの追加逃走者はいつかにします。

改造飛行機天を飛べ

滝の下登山道トンネル

ブラウンクリッター「ハンターなんて、逃げればいいんだろ？簡単！」

しかし、近くの行き止まりの陰で・・・

ピンクヨッシー「ハンターなんて、速すぎる。だから、かくれんぼだよ。逃走中は。」

言っていることと足の速さがまったくかみ合わない2人。

しかし・・・

ハンター1「！」

ハンターに見つかった・・・

ブラウンクリッター「ははっ、逃げればいいんだろ？」

だが、ブラウンクリッターは足が遅い。まあ、クリッターでは速いんだが・・・

気付いた時には、5mとなっていた。

ブラウンクリッター「……………！？ギャハー！」

「ポン」

ブラウンクリッター「油断しすぎた・・・」

ピンクヨッシー「ほら言わんこっちゃない・・・」

自信を持ちすぎた故の結果だ・・・

遺跡公園入口

ブルークリッター「ブラウンクリッター確保残り45人・・・」

ドガアア！

ブルークリッター「な、なんだ！？」

そつ、テン・カウントでは・・・

赤ヨッシー「ファイアーブラスト！」

バシュバシュ！

ラーミラ「グレートデーモン！守れ！」

グレートデーモン「ごわあ！」

ラーミラ「避けてどうす」ギヤアアアア！」

鎧「行くぞ！」

ラーミラ「させるか、ラミアンナーガ！」

チャルメラ攻撃が2人を襲う！

ラーミラ「チャルメラ言うな！」

赤ヨツシー「昼ご飯はチャルメラに限るよな！」

鎧「あ、はい！そうですよね！」（本当は全然食べてないけど赤ヨツシーに乗った）

ブルークリッター「陰からでも凄い勝負だな・・・見てて分かる。
トントン。

突然、誰かが肩をたたく。

ブルークリッター「？」

ハンター5「はい！」

「ポン」

ブルークリッター「えええ！いつの間に！？」

キングテレサ「ブルークリッター確保残り44人」

ラーミラ「なんか悲鳴が聞こえたか！？」

ファイヤーミサイル！

ドガア！

ラーミラ「あつ！お前ら、人の隙を見て攻撃するな！」

ベクトル「悪い！俺が攻撃した！」

ラーミラ「な、何だお前は！？」

ベクトル「ガトリング砲！」

ドドドドド！

ラーミラ「うわあ！」

アルファ「2人とも、いったん帰還！」

ラーミラ「はい！トランスシェイプ！」

赤ヨツシー「なっ・・・消えた...！？」

とりあえず、退けることはできた。

鎧「じゃあ、鍵は1人につき1つしか開けられませんから、手分けしましょう！」

赤ヨツシー「じゃあ、2つ持って、誰かに渡すよ。」

鎧は周辺の散策を始めた。

その頃

ベータ「アルファ、ダイビング・スポットにアルティメッターの箱を発見した。今から運ぶ。」

ガンマ「あーあ、こんなことになるんなら鍵そのまま持っていけばよかったかな。」

アルファ「よしよし、これで宝箱は取り戻せる・・・1からになるが・・・」

鎧「あつ！テン・カウントに帰還ボックス発見！えっと、鍵を回して、レバーを引けばいいのか・・・」

バリバリバリ・・・

鎧「えっ？」

ババーツ！

鎧「え！光線！？」

通報部隊C「速く誰かを通報したいな・・・」

バー！

通報部隊C「ぎゃああ！なんじゃこれは—————！？」

ドッカーン。

青ヨッシー「何ださっきのは・・・」

プルル

アクアイド「青ヨッシー。どうした？」

青ヨッシー「あれは帰還というより爆破では・・・」

アクアイド「いいや爆破じゃない例え爆破だったとしても

爆破という名の帰還だ！」

青ヨッシー「はあはあ、そうですかい・・・」

水色ヨッシー「あっ！宝箱・・・」

パカッ

キャンドル・ムヨーノキー

これは、ムヨーノの扉をあけることができる。

つまり、通報部隊の帰還は水色ヨッシーに託された・・・

テレサ「おおー、これは！」

テレサもレイクピアカッスルの帰還ボックスを発見した。

テレサ「そうだ、鎧に連絡するかな・・・」

ハンター4「！」

だが、ハンターに見られた・・・

鎧「テレサさん、どこにあるんですか？」

テレサ「ああ、あのレ・・・ってえ！？ぎゃああ！」

鎧「テレサさん！？ちょっと！？」

テレサ「のわあああ！」

テレサは絶叫の滝をつなぐ橋を渡り、なんとかまいた・・・

赤ヨツシー「鎧、テレサは何て言った？」

鎧「それが・・・」レ「らしいです。」

赤ヨツシー「えーと、レで始まるスポット・・・あつた！」「レイクピア・キャッスル」だ！」

鎧「行ってみてください！」

だが、こうしている間にも次のmissionが始まる・・・

ベータ「よし、引き上げるぞー！」

ゴゴゴゴ・・・

箱が動いた。

残り46時間

ブルルル

青へいほー「mission12・・・」

紫キノピオ「うわ、今から30分以内にほかの逃走者の携帯のコードを読み込ませないと強制失格だって。」

デイジー「今は、通報部隊もいる・・・結構ハードね・・・」

赤ヨッシー「とりあえず、誰かを見つけて鍵を渡さないと・・・」

おい、デュエルしろよ

ベータ「アルファ！あれは全くの違う箱！ウェッジ島に本物があった！」

アルファ「そうか、海底洞窟に鍵があるらしい。どっちがどっちで行くか・・・」

じゃんけ・・・

アルファ「遊戯王で決めよう！」

ええーっ！時間かかるぞ！？

ベータ「お前！遊戯王といえばこの前、俺とガンマでケーキをかけてやってた時にお前食べただろ！」

アルファ「では、遊戯王のカードをセットだ！」

ベータ「無視するな！ちなみにカードは全てオリジナルだ！」

ベータ・ガンマ「デュエル！」

ベータ HP 4000

ガンマ HP 4000

ベータ「先攻は俺だ！俺はレベル1のメカヨッシーを召喚！」

メカヨッシー レベル1 攻撃力500 守備力200

ガンマ「なんだ、ザコか。」

ベータ「メカヨッシーのモンスター効果！メカヨッシーは1回目の召喚時のみ、プレイヤーの手札にあるトラップカードの数だけタマゴトークンをフィールドに呼ぶことができる！」

ベータ「俺の手札にトラップカードは2枚！タマゴトークン2体召喚！」

タマゴトークン 攻撃力100 守備力300

ベータ「タマゴトークン1体を守備表示にし、カードを1枚伏せてターンエンド！」

ガンマ「ドロー！俺はガレオン・ハンターを召喚！」

ガレオン・ハンター レベル1 攻撃力700 守備力300

ガンマ「カードを1枚伏せて、ターンエンド！」

ベータ「ドロー！タマゴトークンのモンスター効果！」

ガンマ「何っ！？」

ベータ「タマゴトークンが1ターンたった時、タマゴトークンを生贄に攻撃表示からロードヨッシー、守備表示からパレディンヨッシーが特殊召喚される！」

ガンマ「な・・・」

タマゴトークンが割れ、中から聖騎士ヨッシーと勇者ヨッシーが生まれた。

ロードヨッシー レベル3 攻撃力1500 守備力1000
パラディンヨッシー レベル3 攻撃力900 守備力1700

ガンマ「うわっ！強い奴2体も出しやがった！」

ベータ「メカヨッシーで、ガレオン・ハンターを攻撃！」

メカヨッシー「ビームブラスト！」

ドガガガガ！

ガレオン・ハンター「グワアアアア！」

ドガアアア！

ガンマ「ぐあっ！」

ガンマHP 4000 ↓ 3800

ガンマ「ガレオン・ハンターのモンスター効果！ガレオン・ハンターが破壊されたとき、手札にあるガレオン族を全員特殊召喚する！」

ガンマ「俺の手札にあるのは、ガレオン・シュラウドとガレオン・バーナー、ガレオン・ウイング！」

シューーン！シューーン！シューーン！

ベータ「3体だと!？」

ガレオン・シュラウド	レベル3	攻撃力300	守備力1900
ガレオン・バーナー	レベル2	攻撃力1000	守備力700
ガレオン・ウイング	レベル2	攻撃力900	守備力800

ベータ「ガレオン・シュラウドはかなり守備力が高いな・・・カードを1枚伏せてターンエンド!」

ガンマ「ドロー!俺はガレオン・シュラウドを守備表示に変更する。そしてガレオン・ウイングでメカヨツシーに攻撃!」

ガレオン・ウイング「ウイングブーストアタック!」

ズガアア!

メカヨツシー「・・・」

ドガアン!

ベータ「のわあああ!」

ベータHP 4000 ↓ 3300

ガンマ「よっしゃー!」

ベータ「甘い!トラップ発動!「レベル+」!」

ベータ「このカードはフィールド上にいるモンスターが2体以上の

時、いずれかが破壊されたときに1体のレベルを足して特殊召喚ができる！」

ベータ「俺はパラディンヨッシーを生贄に、ソードマスターヨッシーを召喚！」

ソードマスターヨッシー レベル4 攻撃力1900 守備力1500

ガンマ「うわ、結構強そうだ・・・カードを1枚伏せてターンエンド！」

一方本家では

黒ヘイホー「クツパ、お前折角いるんだから認識させようぜ。」

クツパ「ああ。」

ピピッ

黒ヘイホー クツパ 残り2人

黒ヘイホー「お前、よく残ってるな、あの黄色ヨッシーでさえ早々に敗退したのにお前は足が遅いながら、1日も残ってる。」

クツパ「ああ！」

一本杉

青ヘイホー「ああ・・・何でここにきてこんなmissionが・・・

・
」

5分前

青ヘイホー「ここなら一本杉で通報も隠れてしにくいし、みつかったもデング・ナマンガ火山の円形の形でうまくやり過ごせるぞ。」

青ヘイホー「な、何でこんな時に・・・動けば通報・・・でも動かないと強制失格・・・誰か通って・・・」

しかし・・・右からハンターが来た・・・

青ヘイホー「あわわわ・・・ハンターだ・・・」

少しずつ体を動かし、なんとか見つからずに済んだ・・・

ルカ「おっ！」

青ヨッシー「よし、ケータイ認識つと！」

ピピッ！

ルカ 青ヨッシー 残り2人

一方手頃な感じの無人島では

ベータ「ドロー！ロードヨッシーで、ガレオン・シユラウドに攻撃！」

ガンマ「おい！俺のガレオン・シユラウドは守備力1900！お前

のロードヨッシーは攻撃力1500だぞ!？」

ベータ「リバーズカードオープン!」「パラメータスロット!」これは、スロットで選ばれたモンスターの関係ある能力値を、2倍か、2分の1にする!」

スロットの結果

ガレオン・シュラウド 2分の1

1900↓950

ガンマ「なっ・・・」

ロードヨッシー「キラーセイバー!」

ズシアアアアア!

ガレオン・シュラウド「ギヤアアア!」

ドカアアア!

ガンマ「だああああ!」

ガンマ HP 3800↓3250

ベータ「どうだ!」

ガンマ「だ・・・だが!トラップ発動!「パワーエナジー」!」

ガンマ「これは破壊されたモンスターの攻撃力をほかのモンスターに移せる！といっても、300しかないけどな！俺はガレオン・バーナーに300ポイントプラスする！」

ガレオン・バーナー 1000↓1300

ベータ「俺はカードを2枚伏せて、ターンエンドだ！」

ガンマ「ドロー！俺はガレオン・ウイングに伏せカード「スナイパーライフル」を使用！」

ガレオンウイング 900↓1400

ガンマ「行けー！ガレオン・ウイング！」

ベータ「こうなったら、トラップ発動！」

ガンマ「そのカードは・・・！？」

次回、ベータが出す謎のカード・・・

必殺、遊戯王は運とデッキ（前書き）

あらすじ

ガンマ「ガレオン・ウィングの特殊効果！装備カードが装備されている場合、ガレオン・ウィングはダイレクトアタックができる！」

ベータ「なら、このカード！トラップ発動！」

必殺、遊戯王は運とデッキ

ベータ「道連れの影響」！このカードは受けるダメージの半分を相手プレイヤーにも与える！」

ガンマ「くっ……このカードか……」

ドドドドドドドド！

ベータ「ぐああ！」

ベータ HP 3300 ↓ 1900

そして、影がガンマに迫る……

ガンマ「のあっ！」

ガンマ HP 3250 ↓ 2550

ガンマ「カードを1枚伏せてターンエンド！」

ベータのフィールド 伏せカード1枚

ガンマのフィールド 伏せカード1枚

ベータ「ドロロー！俺はソードマスターヨッシーにマジック「疾風アタック」を使用！これはダメージが半分になる代わりに、ダイレクタアタックができる！だがそのターンでは攻撃できなくなる！」

ガンマ「だったら後に出せばいいじゃん。」

ベータ「残念ながら、このカードは最初の行動にしか使えない！」

ソードマスターヨッシー「隼切り！」

シュパアアアア！

ガンマ「どあっ！」

ガンマ HP 2550 ↓ 1600

ベータ「カードを2枚伏せ、ターンエンド！」

ガンマ「ドロー！俺はガレオン・ウイング、ガレオン・バーナーを生贄に、ガレオン・ウイングDXとガレオン・マニューバーを召喚だ！」

ベータ「な！あのDXだと！・・・でもDXは4だぞ？」

ガンマ「リバースカードオープン！「階段一つ飛ばし」！これはレベルを1つ飛ばして召喚できる！」

ガレオン・ウイングDX	レベル4	攻撃力2000	守備力1200
ガレオン・マニューバー	レベル3	攻撃力1000	守備力1000

ベータ「マニューバーは1000・・・これは裏がある・・・」

一方

緑ヘイホー「滝見橋は水で水分補給ができていいな・・・」

そこに

ジョー「おっ・・・逃走者か・・・」

ベビイマリオ「あっ！あっちからも・・・」

緑パタパタ「みなさん！」

緑ヘイホー「奇遇ですね！あっさりmissionクリアです！」

ピピッ

緑ヘイホー　ジョー　ベビイマリオ　緑パタパタ　mission
クリア

赤ヨッシー「誰か鍵の後継者を探さなくては・・・」

だが、キャンドル・ムヨーノの鍵は水色ヨッシーの手に！

赤ヨッシー、水色ヨッシーと出会えるのか！？

必殺、遊戯王は運とデッキ（後書き）

短編です。

変幻自在のケータイ認識術（前書き）

ベータ 伏せカード2枚

ガンマ 伏せカード0枚

mission12補足

逃走者3人のケータイを読み込ませないといけない。

最近ニコニコ大百科を見て気付いた。

まさかラストストーリーのエルザがウルトラマンゼロの声と一緒にだったとは。

マリオ「所さんもびっくり！」

全員「するか！」

変幻自在のケータイ認識術

ガンマ「俺はガレオン・ウィングDXでロードヨッシーを攻撃！」

ズバア！

ロードヨッシー「くっ！」

ドガア！

ベータ「のわあああ！」

ベータ HP 1900 ↓ 900

ベータ「ラーミラに借りてた聖剣伝説3のカードを使ってみるか・
・トラップ発動！「ハーフバニッシュ」！」

ベータ「このカードは攻撃したモンスターと破壊されたモンスターの攻撃力の合計÷5を相手に与える！」

バシューン！

ガンマ「うおわああ！」

ガンマ HP 1600 ↓ 900

ガンマ「それなら・・・ガレオン・マニューバーでソードマスターヨッシーに攻撃！」

ガンマ「こいつのモンスター効果は、1回攻撃するたびにパラメータが変わる！1回目は上になる！その次に攻撃するときは下のパラメータが変わる！」

上	攻撃力2000	守備力500
下	攻撃力500	守備力2000

ベータ「何！」

ドガアアア！

ソードマスターヨッシー「のわあああ！」

ドガアッ！

ベータ「くっ！」

ベータ HP 900 ↓ 800

ガンマ「よし！これでもうお前には勝ちはない！ターンエンド！」

ベータ「駄目だな、君……」

ガンマ「何！？」

ベータ「ドロー！俺はマジック「ユニコーンヘッド」を使用！」

ガンマ「それは一体……」

ベータ「これは、1番これを使う前に速く倒されたモンスターの攻

撃力÷2を相手に与える！」

ガンマ「何ー！」

ズバアア！

ガンマ「うわ．．．もうちょっとという所で．．．」

ガンマ HP 900↓0

アルファ「じゃあ、ベータは宝箱ひきあげ、ガンマは海底洞窟の鍵を持って帰ってくれ。後、ラーミラ、レーヴァスもな。」

4人「はっ！」

一方

通報部隊B「おっ．．．いたぞ．．．」

通報部隊B「？、星くずビーチにいる。」

ハンター3「OK。じゃ行くか！」

通報されたのは．．．

パタクリボー「ぎゃああああ！」

パタクリボー・・・

ラクダ岩を通る！

パタクリボー「よし、この先のパウダーホワイトビーチなら広いから振り切れるはずだ！」

だが・・・

マーベラス「何ハンター連れて来てんだ！」

キングテレサ「ひゃあああああ！」

2人も巻き添え・・・

パタクリボー「うおわああああ！」

「ポン」「ポン」「ポン」

なんと3人そろって牢獄行き・・・

かと思いきや・・・

キングテレサ「高圧レーザー！喰らえー！」

バーツ！

ハンター3「ギエエエエエエエエエエ！」

ハンター3は灰になった…

そして、さっきのはフェイク。3人は確保を免れた。

マーベラス「お前、俺をよく助けてくれたじゃねーか。気に入った。

」

キングテレサ「そりやどうも。」

テレサ「おおーっ、キングテレサが高圧レーザーでハンターを焼いたため、ハンターは4体に減った。やった！」

その後

赤ヘイホー「凄いですね！実は僕もあのハンターを警戒してたんです。」

キングテレサ「おっ！4人そろった！」

マーベラス「そうだな、ケータイ使うか。」

ピピッ

マーベラス キングテレサ パタクリボー 赤ヘイホー miss
ionクリア

プール・テラス近くの海岸

紫キノピオ「よし、2人と出会ったと。」

赤マーレ「!?!?ない!」

ボスパックン「な、ないぞ!」

紫キノピオ「ええーっ!ケータイをなくした!?!」

どうやら話によると、2人は3分前、パーム・ツリー・ロードでハ
ンターに襲われたが、同じ場所に居合わせたハカセに狙いを向けて
いたが、そこで落としたらしい。

・・・で、そのハカセはどうなったかというと。

ハカセ「うおわああ!」

ブラッディカロン「さっき巻き添えにされた!」

・・・が。

心臓破りの坂付近

ハンター2「あれーっ・・・どこ行つたんだ・・・」

ハカセ「良かった・・・このスポット「ダイチャブ岩のカケラ」に隠れて良かった・・・」

ブラッディカロン「全くだよ・・・」

その頃2人のケータイは

パーム・ツリー・ロード

ルカ「何これ？」

2人で同行動を続けていたルカと青ヨッシーに拾われていた。

青ヨッシー「・・・ケータイだな。誰かが逃走中に落として行つたんだろう。」

ルカ「ねえ、これ認識して良くない？」

青ヨッシー「・・・そうだな。別に拾ったケータイじゃ駄目っていうルールは無いし。」

ピピッ

ルカ 青ヨッシー missionクリア

赤マールレ ボスパックン いつの間にか後1人ずつ

ルカ「・・・というかさ、もうこのケータイ同士認識させ合っ
て良くない？」

青ヨッシー「そうだな。」

ピピッ

赤マーレ ボスパックン いつの間にかmissionクリア

青ヨッシー「どうやらこれは赤マーレとボスパックンのケータイ
みたいだな。」

ルカ「いい忘れたけど、認識させると、そのケータイを持っている
逃走者の顔が認識画面に登録されるからね。」

青ヨッシー「じゃあ同行動を続けて、赤マーレとボスパックンを見
つけたら返そう。」

ボスパックン「ごめんな・・・」

紫キノピオ「あーあ・・・せつかく出会えたと思ったのに・・・」

赤ヨッシー「まずはレイクピア・キャッスルへ行つて1体帰還、そ
の後、鍵の後継者を探さなくては・・・」

赤ヨッシーは今、鍵の後継者を探しながら、滝見橋の近く、滝の下
登山道トンネルを通り、レジャー・ビークルが止まっている所を通
って、レイクピア・キャッスルへ向かっている。

一方、水色ヨッシーは、先程ネコス・ナデスの砂地で鍵を取り、暗

い洞窟を通り、怪しいと感じたキャンドル・ムヨーノへ向かうため、心臓破りの坂を自転車キットで走り抜けた。今自転車キットの期限が切れ、レッド・ゲート・ブリッジを渡っている。

果たして、この2人が出会うことはあるのだろうか！？

そして次回、通報部隊が通報を重ねる！

変幻自在のケータイ認識術（後書き）

結構書けたような気がする。

通報部隊とハンター（前書き）

今回はミニストーリーです。

通報部隊とハンター

通報部隊 A「あつ！あつちに・・・アイム、森林公園にいる！」

ハンター A「オッケー。」

通報部隊 A「あ！ジョー、遺跡公園入口にいる。」

ハンター B「行くぜ！」

通報部隊 B「レッドクリッター、嘆きのダイチャブ岩にいる。」

ハンター D「あ・・・ああ！」

通報部隊 B「あつちにも・・・黒ヘイホー、スイート・ビーチにいる。」

ハンター 4人「いい加減にしろ！」

通報部隊 2人「はあ？早く捕まえに行けよ！」

ハンター 4人「お前らは確かに通報するだけだよ、俺たちは捕まえに行かなくちゃならないんだぞ！その大変さが無いからだ！」

ハンター D「—（そうだ、こんな作戦は・・・）」

ハンター A「（ああ・・・）」

通報部隊 A「全くやになるな・・・」

バツ！

ハンターA・B「落ちろー！」

通報部隊A「！？」

ヒュウウウウウウ・・・

ドッ！

通報部隊A「一体何のつもりだ！」

通報部隊B「痛たた・・・何をする！ハンター！」

ハンターA「お前らにはどこまでも逃走者を追う俺たちの苦勞がわからないんだ！」

ハンターB「だから！俺たちの仕事が反対になるのさ！」

ハンターD「俺たちの苦しみを味わうがいい・・・」

アクアイド「なんか凄いことになってきたな・・・」

プルルルル

クリッター「通達5・・・なんかすごい内容・・・」

デイジー「ハンターが通報部隊に反旗を翻し、立場が逆転した。」

ルイージ「このため、ハンター2人 通報部隊4人となり、ハンターに出会うことが少なくなったものの通報を受けやすくなった。」

ヨッシー「これって意味があるんですかね・・・。」

復讐を誓うハンター

通報部隊A「前回の事で立場が逆転された・・・」

そう、通報部隊がハンター、ハンターが通報部隊になった。

だが、飛行機は2つしかないため、飛行機を帰還させると、一気に2人減らすことができる。

ハンター1「さーて、早速通報するか・・・」

ハンター2「よし、見つけたぞ・・・」

通報されるのは・・・

ベビィDK「通報部隊が増えて大変だ・・・」

ベビィDK・・・

ハンター１「ベビィＤＫ、ラクダ岩周辺にいる。」

通報部隊Ａ「くっ．．．しょうがない！行くぞ！」

ベビィＤＫ「ひ、ひえー！」

通報部隊はハンターより少し遅いとはいえ、ベビィＤＫの速さでは巻き切れるはずがない．．．

「ポン」

ベビィＤＫ「うわ．．．捕まった．．．」

ハンター４「通報によりベビィＤＫ確保。残り４３人。いい具合に確保できてるじゃん。」

通報部隊Ａ「くっ．．．逃走者を追うのがこれ程までにも辛いこととは．．．」

一方

ハンター５「おっ、あつちにタイニーコングが．．．通報つと。」

その頃

ルイージ「あつ、宝箱。」

パカッ

中に入っていたのは、電波器が付いたリモコンだった。

ハンター5「えーと、タイニーコング・・・」

ルイージ「レバーがある。引いてみよう。」

グイッ

ガガガガガ・・・

ハンター5「なんだ！？急に通報装置が使えなくなっただぞ！？」

よく見ると、宝箱の中に説明書があった。

ルイージ「えーと、これは「通報通信妨害機」レバーを引くと1回きりのみで、5分間通報が不可能になる。よし、いいものを出した。」

その頃

ルカ「あっ！いたよ！」

赤マール「ああ、良かった！」

こうしてホテル・シーサイド・スーペリアでケータイは返された。

その後

紫キノピオ「よし、4人も来てくれたおかげであっさりクリアだ。」

ピピッ

紫キノピオ missionクリア

赤ヨッシー「よし、レイクピアキャッスルに到着!」

赤ヨッシー「えーと、まずは鍵を挿して、回したら、レバーを下ろすと。」

グイ!

バシューン!

光の炸裂弾が飛んで行った!

赤ヨッシー「おー、結構いいペースで来てるね・・・」

その頃

ハンター4「何だ・・・あれは・・・」

ハンター5「どうした?」

ハンター4「ほら、あれ、レイクピアキャッスルから飛んでくるあれ。」

バリー!

ハンター5「ひええええええええええ!」

ドガアアアア・・・

ブルルル

黒ヘイホー「ハンター帰還ボックス2つ目が引かれ、残るは1機になった。ちなみに、mission12は裏でいろいろ進み、残り8人となった。その8人を紹介しよう。なお、認識は3人認識させていても出来るようになってる。」

青ヘイホー 残り2人―（近くを通りかかったクツパジャーと認識しあったが、ハンターが来て結局今も一本杉にいる）

テレサ 残り1人―（キングテレサ、ボスパックンと同時に認識、今は第二環状線トンネルの近くにいます）

水色ヨツシー 残り1人―（ムヨーノへ向かう途中の動かずの時計台のあたりでジョーと認識し合い、今はサンセット岬）

赤ヨツシー 残り1人―（鎧と一回合流して認識、その後レジャー・ピークル近くにて緑ヘイホーと出会う。今はダウリング湖。）

ジョー 残り1人―（水色ヨツシーと出会った後、ジョギングエリアにてブーメランプロスと出会う。）

青キノピオ 残り1人―（星くずビーチにてアイム、ハナチャンと出会った）

ブラッディカロン 残り1人―（ハンターから隠れた時にハカセ、見晴らしの丘でルイーダと出会った）

キノピコ 残り2人―（嘆きのダイチャブ岩でヨツシーと出会った）

赤ヨツシー「キャンドル・ムヨーノに早く行ってみたい……」

怪しいと感じたようだ……

だが、早く行くための救世主が目の前に！

その正体やいかに!?

風に乗って灯台へ

水色ヨッシー「いい忘れましたが、僕はチャンバラ・コロシアム付近でレッドクリッターさんとも交しましたよ。」

赤ヨッシー「これは・・・ハンググライダー！」

マイクー（特別出演）「ああ、これは新作で出たやつで、もう新しいのに替えるからあげるよ。」

赤ヨッシー「それにしても、マイクってさ、初見が見た瞬間「あっ！ダウンタウン松本だ！」って言われるからさ、もうまともに名前変えたら？」

マイク「それは禁則事項です。」

赤ヨッシー「よし、行くぞー！」

バサッ・・・

ハンググライダーが、ゆっくり翼を動かしつつ飛び始めた。

赤ヨッシー「ん？なんだ？」

鳥たちが、ハンググライダーを突き始めた！

赤ヨッシー「うわああ！やめろ！これは食べるものじゃない！」

ビュン！

赤ヨツシーは何とか翻した・・・

が！

ゴオオオオ！

赤ヨツシー「何だか風がすごく強くなってきたような・・・」

赤ヨツシーの目に飛び込んできたのは、まぎれもなく風車だった！

赤ヨツシー「し、しまった！キャンドル・ムヨーノよりまっすぐに当たるところから飛ぶと、最悪なポイントがあった！」

そう、ウィンド・パークだ・・・

ゴオオオ！

mission12終了まで残り2分

赤ヨツシー「ひゃあああああ！」

風に流される赤ヨツシー・・・

その頃

森のダイチャブ岩

キノピコ「あれは一体・・・」

ハンググライダーを見て不思議に思うキノピコ。

そこに・・・

ジョー「お、逃走者か・・・」

青キノピオ「やった逃走者です！」

キノピコ「あー、良かった。2人認識させないといけなかったから。」

ピピッ

キノピコ ジョー 青キノピオ missionクリア

青ヘイホー「あわわわわ・・・」

青ヘイホーはハンターに敏感すぎて、一步も動けていない。

そこに・・・

パタパタ「あ、青ヘイホーさん。」

デイジー「奇遇だね、ここで出会っなんて。」

青ヘイホー「あああああ・・・良かったあ・・・」

ピピッ

青ヘイホー missionクリア

テレサ「灯台に誰かいそうな気が・・・」

水色ヨッシー「あ！テレサさん。」

テレサ「良かった！水色ヨッシーはまだクリアしていないのか？」

水色ヨッシー「はい、認識しましょう！」

ピピッ

水色ヨッシー　テレサ　missionクリア

これでmission未クリアは赤ヨッシー、ブラッディカロンとなった。

水色ヨッシー「でも肝心の鍵を持っていないんですね・・・」

残り30秒

ブラッディカロン「一時期はカロンが俺だけになったこともあったしな・・・残りたい・・・」

そこに・・・

ブラッディカロン「あ、逃走しよ・・・」

通報部隊B「・・・」

ハンターとなった通報部隊・・・

「ポン」

ブラッディカロン「なー！」

赤ヨッシー「ひええええええええええ！」

風に流される上に・・・

いろいろな方向から風が吹いてくるので、急速回転を始めてしまった！

赤ヨッシー「ひええええ！もう逃走中なんていい！誰か止めてくれー！」

その時。

ヒュウウウウウ・・・

ハンターボックスの鍵がキャンドル・ムヨーノ周辺に落ちた・・・

コン！

テレサ「イテッ！」

水色ヨッシー「おおーっ！これが封印の鍵です！さあ、早く中に入りましょう！」

赤ヨッシー「ひゃあああああ！」

そのまま、ウーファーアイランドを飛び出してしまった！

赤ヨッシー「もう逃走中なんてどうでもいいや。観光しよう・・・

」

ドガア！

赤ヨッシー「グハッ！」

海上にあったスポット「ポセイドンの指輪」に真正面から突撃して
しまった！

ヒュウウウウウ・・・

バシャーン！

赤ヨッシーはそのまま漂流することになった・・・が、3分後に戻
ってきた。

mission12終了

水色ヨッシー「それっ！」

グイッ

ドララララ・・・

オーロラレーザーが放たれた。

ハンター1「さっきの確保情報によると、ブラッディカロン確保残

り42人らしい。」

ハンター2「はあ・・・」

バシューッ！

飛行機は凍りついた。

ヒュウウウウ・・・

ガッシャーン！

ホテル・シーサイド・スーペリアに墜落。もちろん中にいた住民全員死亡ですよ！？どーしてくれんの！？

プルルル

赤ノコノコ「mission12は赤ヨツシーが強制失格になった残り41人。mission11はクリア。」

これまでの確保者

キャサリン

ワリオ

クリボー

ワルイージ

黄キノピオ

黄色ハイホー

デイデュー

カロン

青モンテ

青マール

緑カメック

黄色モンテ

ドンキー

カメック

ブルーカロン

ノコノコ

黄色カメック

チヨロプー

緑キノピオ

ピーチ

キノじい

赤モンテ

ディクシー

ファンキーコング

ベビィピーチ

黄色ヨッシー

ベビィルイージ

ブラウンクリッター

ブルークリッター

ベビィDK

ブラッディカロン

赤ヨッシー

確保者 32人

生存者 41人

マリオ「あれ？76人じゃないのか？忘れてたら通報願います。」

一方

ベータ「よし、宝箱が引きあがつたぞ！」

その時、なぜかウーファイランドに向かう高速ライナー・アルバトロスに26体のハンターが転送された・・・

そして着いた時・・・

ハンターA「よし、上がるぞー！」

25人「おう！」

緑ヘイホー「な、何だあれ、大勢のハンターが・・・」

その時

プルルル

クッパ「なんだ？mission13・・・」

黒ヘイホー「ベータが宝箱を引いた時、遠隔操作で装置が起動してアルバトロスから26体のハンターが放出された。」

青キノピオ「そこで突然だが、君たちにはスイート・ピーチ号に乗り込んでいってもらいたい。モニターが付いているので、それからの指示は着いてからにする。」

青ヨッシー「一体何が始まるというのです?」

ルカ「行くしか無いじゃん。」

青ヨッシー「……」

グイッ!

青ヨッシー「お、おい!引つ張るな!」

この2人、意気投合したのか、いろんな意味で仲のいいコンビになった。

次回、mission13の真の目的!

風に乗って灯台へ（後書き）

牢獄でトーク

マリオ「・・・なんか久しぶりだな。」

赤ヨッシー「はあはあ、身が引き裂かれそうになった・・・」

バタ！

デイディー「おおい！早く救急車を！」

テレサ「お化けの救急車」

「ゴーゴーフアイブ！」

デイディー「いらねえ！救急車もう来てるし！」

救急員「だ、大丈夫ですか！？」

赤ヨッシー「大丈夫だ、問題無い。」

バタ！

救急員「全然大丈夫じゃない！」

特殊隊結成！

45時間20分

アクアイド「良く考えてみると、これは通報部隊を休ませるいい機会かもしれない。おい、2人とも、休んでおけ。」

通報部隊2人「はい！」

だが・・・

赤ヨツシー「こちらレーヴアス、応答願います。」

ラーミラー（ハラハラつり橋周辺）「レーヴアス、良くやったな。お前は一度見た物をコピーできる。あの試合で見たよな。」

赤ヨツシー「はい。うまくやってやりますよ・・・」

アクアイド「さて、こっちもこっちだ。仕事を進めよう。」

一方

クイーン・ピーチ号

青ヨツシー「さて、これで全員そろったわけだが・・・」

ブルブル

黒ヘイホーのケータイからのみ鳴った。

黒ヘイホー「これからの情報をモニターに映すといったが、予算の都合でベクトルに頼んだ。」

ベクトル「というわけで、mission13だよー！」

アクアイド「あ、そうそう、このmissionはこっちの奴らも関係するぞ。」

黄色モンテ「あ、そうなの！？」

ベクトル「皆も知っている通り、26体のハンターが現れた。」

アクアイド「そこで、ハンター消滅隊を結成する。」

ベクトル「今からくじを引き、5人を選ぶ。」

「
アクアイド「まず、確保者5人の特殊隊が10分間、滝見橋、レッドゲートブリッジより東のエリアで13体のハンターに軽い冷凍ハンドガンで攻撃し、数を減らす。その後、生存者5人の特殊隊が滝見橋、レッドゲートブリッジの西で13体のハンターの数を減らす。」

ベクトル「ちなみに、第一、第二環状線トンネルよりも南のみのエリアを使う。」

アクアイド「じゃあ、交互にくじを引いていくぞ。まずは確保者からだ。」

アクアイド「じゃあ、まず1人目。」

ダラララララ……

ジャン！

アクアイド「緑キノピオ！」

緑キノピオ「よし！やっと活躍の場が来た！」

ベクトル「こっちの1人目！」

ダラララララ……

ジャン！

ベクトル「ルカ！」

ルカ「じゃあ、やっていこうかな。」

アクアイド「2人目、入りまーす。」

ダラララララ……

ジャン！

アクアイド「えーと、青マーレだつて！」

青マーレ「やった！」

ベクトル「次行きまーす！」

(r y

ベクトル「青ヨッシー！」

青ヨッシー「よっしゃ！」

アクアイド「3人目だ！」

(r y

アクアイド「ベビイルイージ！」

ベビイルイージ「よし！少しの間活躍の場が見せられる！」

ベクトル「こっちも行くよー。」

(r y

ベクトル「ルイージ！」

ルイージ「一度はハンターにもなったけど、今回は逃走者のために頑張るよ！」

注 ルイージは普通の逃走者になっています。

アクアイド「4人目！」

(r y

アクアイド「ブルーカロン！」

ブルーカロン「あの確保はデイジーさんのために身代わりになったんです！今度もデイジーさん達の役に立ちます！」

ベクトル「4人目行くぜ！」

(ry

ベクトル「デイジー！」

デイジー「そっちもブルーカロンが入ったみたいだけど、私もそれなりの記録が出るように努力するわ！」

5人目

アクアイド「よし、最後だ！」

(ry

アクアイド「赤キノピオ！」

赤キノピオ「えっ・・・僕ですか！？この裏切り者の僕が！？」

アクアイド「何を言っている！ルイージだって努力しようとしているんだぞ！」

周りを見ると、温かい目で見守る逃走者たちがいた。

赤キノピオ「はい！頑張ります！」

ベクトル「よし！最後行くぞ！」

(ry

ベクトル「・・・クツパ。」

ルカ「ちよつと！なんであんなのよ！」

青ヨツシー「そうだよ・・・お前全メンバーだったとしても一番足が遅いんだぞ？」

ルイージ「そうだ！なんでお前が出たんだ！」

デイジー「なんで！？あなた出たらガタ落ち！」

しかも・・・

緑キノピオ「全く・・・お前は出るなとあれほど言っただろう！？」

クツパ「い、言ってn」

青マーレ「もう出るな！」

ベビールイージ「デルナーゼ！」

全員「デルナーゼって何だよ！」

ブルーカロン「僕の救ったデイジーさんの戦力が・・・」

赤キノピオ「はあ。」

月村サトシ「なあ、どうする?」

ベクトル「そりゃあ勿論ひき」

ビシャーナー（アクアイドの例の装置）

ベクトル「な・・・おさない!」

特殊隊メンバー

確保者特殊隊

緑キノピオ

青マーレ

ベビィルイージ

ブルーカロン

赤キノピオ

生存者特殊隊

ルカ

青ヨッシー

ルイージ

デイジー

クッパ

今回は確保者特殊隊のハンター狩り!

ひと狩行こうぜ！（前書き）

ちなみに、森林公園などは確保者たちの専売特許。
ハンターAとMが確保者
ハンターNとZが生存者。

ひと狩行いっせー！

ゲームスタート

ベビイルイージ「さーてと、まずはパーム・ツリー・ロードに……いた！」

ハンターM「あわわわわ！」

ハンターもそれなりの足の速さで逃げるが、ベビイルイージもなかなか速い。

ベビイルイージ「いけーっ！」

バシユン！

ドガッ！

ハンターM「……………」

ハンター、凍結^{フリーズ}……………」

残り12体

ハラハラつり橋

ブルーカロン「うわあ……………こんな所でハンターと……………」

ハンターH「俺たちは落ちたら死ぬかもしれない……………」

ブルーカロン「今だっ！」

ハンターH「のあっ！」

ハンター、^{フリーズ}凍結・・・

残り11体

青マーレ「心臓破りの坂・・・確かにハードね・・・」

ハンターA「良かった、ダイチャブ岩に隠れているなんて気付かずに・・・」

バシユ！

パキーン・・・

ハンター、^{フリーズ}凍結・・・

マリオ「思っんだが、これも番外編として入れて良くないか？面白くない。」

というわけで、これは番外編としてやる・・・かな。

カッティングネオ！

全員「なんだよそれ！」

つつわけで、両方2体ずつ残り、4体で行くことになった。

あっさり終わった回はサブストーリーを。

サブストーリー1

ラーミラとレーヴアスの買い物

アルファ「よし、ベータ良くやった。後はガンマが鍵を持ってくるだけだな。」

ベータ「なあ、これからの生活用品を買って来てくれないか？」

ラーミラ・レーヴアス「パシリかい！」

市街

レーヴアスは人に変身、ラーミラは顔の部分をフードで隠している。

ラーミラ「ここだ、「何でも総菜屋」」

ウィーン

店員「いらっしやい！」

レーヴアス「どうする？」

ラーミラ「……そうだな、「大根の煮物」は決まりだ。」

レーヴアス「ああ、2つ目は「鳥とブロッコリーの照り焼き」はどうだ？」

ラーミラ「ああ、でもなあ・・・」「鯖の味噌煮」もいいんだよ・・・」

2人「・・・」

ウィーン

店員「どうしました？」

2人「デュエル！」

なんと惣菜を決めるだけでデュエルすることになってしまった！

勝つのはどっちだ！

2を作る機会があつたら続く

封印！史上最悪のハンター軍団

残り45時間

ガンマは海底トンネルの通路を通り、アルティメッターの鍵を探していた。

ガンマ「はあ、ここまで攻撃を受けるとは・・・」

40%は進んだ。

しかし・・・

ガンマ「扉が閉まっているな・・・あれ、こんな所にボタンと張り紙？」

「このボタンを押すと、扉が開く。」

ガンマ「なんだこりゃ。押すに決まってるじゃん。」

ポチ！

ヴオオオオオオン・・・

すると、海底トンネルに12体のハンターが現れた・・・

それだけではない・・・

曲がりくねった洞穴内部

そこにも12体のハンター・・・

ネコス・ナデスの砂地

なんと、ここにも12体のハンター・・・

滝の下登山道トンネルの先の行き止まり

ここにも12体のハンターが現れた・・・

環状線第一・第二トンネル

それぞれに6体のハンター・・・

なんと、これでハンターが60体現れた・・・

そして、2日目最悪のmissionが始動・・・

プルルルル

緑ヘイホー「レッドクリッターさん、missionが届いています

よ！」

レッドクリッター「mission14。」

ルイジー「トンネルにまつわる4つの場所に12体のハンター、2つの場所に6体のハンターが現れた。何だこの大雑把な説明は……」

デイジー「これから残り44時間までに、5分単位で12体のハンターがいるハンターボックスから1体ずつ現れ、10分単位で6体のハンターがいる場所から1体ずつハンターが放出され、合計60体のハンターが放出される。今の合計と合わせて、その数は最大64体まで増える。ええ！？はつきり言わないでよ！」

青ヘイホー「阻止するにはウーファイランド各地にあるハンター消去ボックスのレバーを引かないといけない。」

クリッター「なーんだ。こんなの簡単じゃん。」

紫キノピオ「だが、この消去ボックスは色によってハンターの消えるボックスが決まる。その組み合わせは下記参照。」

赤〓 海底トンネル

青〓 曲がりくねった洞穴

黄色〓 ネコス・ナデスの砂地

緑〓 行き止まり

水色〓 環状線第一トンネル

黄緑〓 環状線第二トンネル

青ヨッシー「いや……待てよ。これって普通に引くだけでもガ

ンガン減っていくんじゃないか？」

ルカ「そうもいかないみたい。続きを読んでみて。」

お前らまだ一緒にいたのか。

青ヨッシー「さらに、これは番号の小さいものから引いていかないと作動しない。何だと!？」

ルカ「つまり、2を見つけても、1を引かないと駄目ってこと。」

青ヨッシー「なお、放出した場合、その番号の次の番号のハンターボックスは引くことができる。引けるかどうかは、上についているランプで分かる。」

mission 14

ガンマの押したボタンによって、4か所に12体、2か所に6体のハンターが入っているハンターボックスが転送された。

12体のハンターボックスは5分単位、6体のハンターボックスは10分単位でハンターが1体ずつ放出されていく。

阻止するハンター消滅ボックスは、色に対応している。

だが、番号の小さいものから引いていかないと、ハンターが消滅しない。

テレサ「これって12体のハンターボックスを消滅させる奴だよね・
・」

ダウリング湖にハンターボックスを見つけたテレサ。

色は緑、番号は3だ。

テレサ「そうだ・・・このボックスを画像を付けてほかの逃走者に
一斉送信して、分かるようにしようかな・・・」

ハンター3「・・・」

テレサ「えーと、まずはあのボックスを撮って・・・」

テレサ「これがボックスです」一斉送信！

ポチッ

テレサ「よし！これ・・・ってうわああ！ハンター来たー！」

テレサは必死に逃げる。

一本杉へと続くトンネルを潜り抜けるテレサ！

だが！

青ヘイホー「あれ・・・何で走ってるんだろ・・・」

テレサ「ハンターが来たー！」

青ヘイホー「ちょ、ちょっと！なに連れて来てるんですか！」

青ヘイホーはデング・ナマンガ火山の中へ駆け込む。

だが、ハンター3の狙いはずっとテレサのまま。

だが、テレサは異常なほどまでに粘り、なんと一周してきた！

このままでは埒が明かないと考えたテレサ。

テレサ「こうなったら・・・滝の下登山道トンネルを抜けて滝見橋の近くまで抜ける！」

しかし、ここからではかなりの距離がある。

テレサ「でも・・・生き残るにはこれしか道は無い！」

テレサは逃げることを決意した。

・・・なのだが、いよいよトンネルへ入るという時に・・・

クッパ「え！？」

タイニーコング「ちょｗｗｗｗハンター連れてくんなｗｗ」

緑パタパタ「おわああああ！」

なんと、3人を巻き添えにした……

緑パタパタ「……？　そういえば、復活時に「激辛チョコレート」
っていうアイテムもらったけど……これ、どうやって使うんだろ
う……まあいいや、食べちゃえ！」

あかんそれ！死亡フラグや！

パクッ！

緑パタパタ「……ひええええ！辛すぎる！」

ドドドドドド！

4人「ええええええ！」

辛さで走りが速くなった！

タイニーコング「きゃあああああ！」

テレサ「くっ……どうにかして、ここを通り抜けるまでに耐え
きれないといけない！」

バツ！

何とか出られたのだが……

タイニーコング「きゃあああああああああ！」

タイニーコングが犠牲になってしまった・・・

が・・・

ハンター3「あ・・・あれ？ハンター3、アーチエリー・初級エリアで逃走者を見失いました。」

ハンター1「じゃあ、その辺にまだいるかもしれない。とりあえず、探してくれ。」

ハンター3「了解！」

タイニーコング「はあ・・・助か×t」

「ポン」

タイニーコング「ってちょ！？」

ハンター3「あ・・・こちら3、あっさり見つかりました。」

ハンター1「良くやった。これからもがんばって確保に出向いてくれ。」

ハンター3「はい。」

牢獄

マリオ「タイニーコング確保！」

ドンキーコング「うわー！やられたー！」

キノじい「ってちょっと待ってくださいね。ということ……」

デイディー「コング全滅だよー！」

コング全員「うわー……」

ワリオ「やかましい！」

キングテレサ「残り40人か……ただでさえ難しいのに数が減るとさらに心細くなるよ……」

逃走者たちは、ハンター放出を阻止できるのか！？

次回、ハンター放出の嵐！逃走者たちは、本当に阻止できるのか！？

大事なことで2回言いました。

マリオ「いらん！」

封印！史上最悪のハンター軍団（後書き）

補足として、海底トンネルのハンター達はマリンバイクで砂浜に上陸します。

天才クイズ君

テレサ「ああ．．．大変な目にあつた．．．」

テレサは今、絶叫の滝から町へ向かっている。

黒へいホー「どうした、テレサ？」

黒へいホーとも合流した。

テレサ「じゃあ、町で探しに行こう！」

ルイージ「おつ．．．黄色の2か．．．」

森林公園でハンター消滅ボックスを発見したルイージ。

その近くで．．．

赤へいホー「このあたりにボックスは無いかな．．．」

ハンター2「！」

しかし、ハンターに見つかった．．．

赤へいほー「わあ！ここで見つかるとは！」

だが、赤へいほーが逃げた先は「イカロスの崖」。最早逃げ道は無い・・・

赤へいほー「よし・・・行くぞー！決死のイカロスダイブ！」

なんと、赤へいほーは地面に体を向けて飛び降りた！

ドガアアアアア！

赤へいほー「ぎiiiiiiいやあああああ！」

赤へいほーは体を強く打ちつけ、行動不能になってしまった！

ルイージ「何やってるんだ・・・」

ブルルルル

水色ヨッシー「赤へいほーが逃げようとして崖から落ち、骨を多く骨折したため、強制失格。残り39人」

ハカセ「もう40人切ったのか・・・早いね・・・」

彼らは2人で行動している。

謎の遺跡テン・カウント

黒へいほー「あれ？これって・・・青の1だ！」

黒ヘイホーがボックスを見つけた。

黒ヘイホー「うわあ・・・後2分か・・・やっぱり1回で4体もでるのなら結構焦りが来るな・・・まあいいや、レバーを・・・」

グイッ

なぜか、レバーが下がらない。

黒ヘイホー「あ・・・あれ・・・？あ・・・下にモニターと「レバーを引く前に押してね」っていう張り紙があるボタン・・・まあ、押してみるか。」

ポチッ

パカラカジャジャーン！

黒ヘイホー「な、何だ！？」

クイズ君「どうも！僕はクイズ君です！いきなり問題！」

ジャジャ！

黒ヘイホー「・・・？」

クイズ君「この問題はなぜとかなくってはならないのでしょうか！」

黒ヘイホー「え」と、「正解しないとレバーが下がらないから」だろっ。

ジャッジャジャーン！

クイズ君「正解！後、ヒントとして、問題は解かれるたびに難しくなり、今から、ケータイのメール機能は使えなくなるよ！」

モニターからクイズ君が消えた。

黒ヘイホー「よし！」

グイッ

シュン！

その時、青のハンターボックスから1体のハンターが消え、残りは59体となった……

次回も、クイズに答え、ハンターを消去せよ！

デュエルセカンド（前書き）

チャンバラ・コロシウムでのデュエル。

デュエルセカンド

ラーミラ HP4000

レーヴアス HP4000

ラーミラのデッキ 聖剣伝説シリーズ

レーヴアスのデッキ ドラクエシリーズ

ラーミラ「先攻は僕が行こう！ドロー！僕はラビリオンを召喚！」

ラビリオン level1 attack600 defense
400

ラーミラ「カードを3枚伏せてターンエンド！」

レーヴアス「ドロー！俺はスライムベスを召喚！」

スライムベス level1 attack700 defense
300

レーヴアス「カードを2枚伏せてターンエンド！」

ラーミラ「ドロー！僕は伏せカード「アクセラレータ」を発動！このカードが陣地にある場合、ドロー時に2枚のカードを出すことができる！」

ラーミラ「そして、マイコンドを召喚！」

マイコンド level1 attack300 defense

300

レーヴァス「あのモンスターなぜ能力値が低いんだ・・・？」

ラーミラ「カードを1枚伏せてターンエンド！」

レーヴァス「ドロー！俺は伏せカード「身削り」を使用！これは自分の体力500につき1レベルを増やし、特殊生贄召喚ができる！俺は2000ポイント体力を減らす！」

レーヴァスHP 4000↓2000

レーヴァス「そしてスライムベスを生贄に、マジックアーマーを召喚！」

マジックアーマー level5 attack2800 defense2700 def

ラーミラ「4ターン目から攻撃力2800だと！？」

レーヴァス「さらに伏せ装備カード「デモンスピーア」をマジックアーマーに装備！」

マジックアーマー attack 2800↓4300

ラーミラ「えええ！あつかそんなの！？」

レーヴァス「そして、マイコニドに攻撃！瞬殺！」

かっこっけんな！

レーヴァス「月村こんなところまではいつてくんない！」

マジックアーマーが槍を構え、マイコニドを襲う！

ラーミラ「瞬殺はおあずけだ！」

レーヴァス「おい！させろ！そのほうがいいだろ！」

ラーミラ「トラップ発動！「アンティマジック」！このカードは相手モンスター1体にかかっているマジック、装備カードの効果は無効にする！」

レーヴァス「何！」

マジックアーマーのデーモンスピアが消えた。

attackは2800になった。

レーヴァス「まあいい・・・攻撃！」

ズバッ！

マイコニド「ビイイイイ！」

ドガアア！

ラーミラ「くっっ！」

ラーミラHP 4000 ↓ 1500

レーヴァス「カードを1枚伏せてターンエンド！」

ラーミラ「アクセラレータの効果でダブルドロ―！僕はマジック「オーラウェイブ」を発動！これは自分のカード1枚を破棄するかわりに、自分、相手プレイヤーのHPを足した数を、500ずつ使い、自由に召喚ができる！」

ラーミラ「合計の体力は3500！つまり使えるレベルの数は7！」

ラーミラ「僕はラビリオンに3つ使い、生贄召喚でソードマスター、4つ使い、ニードリオンを召喚！」

ソードマスター	level 4	attack 2400	defense 2300
ニードリオン	level 4	attack 2300	defense 1400

レーヴァス「うわ、それなりな奴出してきやがった！」

ラーミラ「カードを1枚伏せてターンエンド！」

伏せカード

ラーミラ 2枚

レーヴァス 1枚

その頃逃走中では

青ヨッシー「なあ、ルカ、これって2人がかりで探したほうが効率

よくないか？」

ルカ「そうか。じゃあ、分かれて効率よくと！」

2人は分かれた。

青ヨツシースタッフ「あの、何であんなことを？」

青ヨツシー「いやあ、あいつ絶対ハンターが来たら「捕まって」なんて言うだろう。だから別れた。」

テレサ「おおっ！ハンターボックス緑の1！ボタンを押す！」

ポチッ

クイズ君「合体漢字です！木＋？＋心＋自ちなみに、これは2字熟語だよ！」

テレサ「えーと、簡単だな。「休息」だろう。」

クイズ君「正解！ロックを解除します。」

グイッ

行き止まりのハンターが消え、58体となった・・・

残り1分

次に放出されるハンターは残り2体・・・

頭脳プレイ、ハンターチェイス

レッドクリッター「待てよ……これってさ、一番洞窟から遠い場所が一番いいんじゃないか？」

地図を見ると……

レッドクリッター「一番遠いのは星くずビーチか……」

レッドクリッターは向かっていった……

一方……

レーヴァス「俺のターン！ドロー！俺はマジックアーマーにマジック「ダブルチェンジ」を発動！これはデビルアーマー系統のモンスターの色を変え、能力を変えられる！」

レーヴァス「俺はオレンジ色のバーニングを水色のアイス、黒のダークを黄色のサンダーにチェンジ！」

マジックアーマー attack 3600 defense 1200

ラーミラ「攻撃力3600！？どうやら攻撃特化型か……」

レーヴァス「さらに、ドラキーを召喚！」

ドラキー level 1 attack 600 defense 300

レーヴアス「そして、マジックアーマーでニードリオンに攻撃！」

ラーミラ「トラップ発動！「ルナティック」！このカードは相手の攻撃力を20%減らす！20%は720！よって、マジックアーマーの攻撃力は2880になる！」

レーヴアス「だが！それでも580の差があるぞ！」

ラーミラ「連続トラップ！「パワーダウン」！これは、攻撃力が下がった時、その下がり方をもう一回相手に与える！これでお前のマジックアーマーの攻撃力は2160だ！」

ニードリオン「トゲスパイラル！」

ズババババ！

マジックアーマー「ぐわああああ！」

ドガアン！

レーヴアス「うわあ・・・これはどうすればいい・・・!?」

レーヴアス HP 2000 ↓ 1860

レーヴアス「まあいい！カードを」

ラーミラ「トラップ発動！「ポイズンバブル」！このカードは伏せトラップカードを全て毒に侵し、level1の生贄として自分が使える！」

レーヴアス「何ー！」

ラーミラ「そして相手のターンを強制終了！ダブルドロー！もう生贄を使うまでもない！ソードマスターで、ドラキーにアタック！」

ソードマスター「真空剣！」

ズバアア！

レーヴアス「ぐわああああー！」

レーヴアス HP 1860 ↓ 0

ラーミラ「よっしゃー！これで今日の夕飯は鯖の味噌煮だ！」

緑ヘイホー「チャンバラ・コロシウムでなんかやってますね・・・
って思ってたら、赤の1発見！」

ポチ

クイズ君「90×3は？」

緑ヘイホー「270」

クイズ君「正解！」

緑ヘイホー「よし！これで後1つ！と思ったら、もう時間が30秒しかない！」

グイッ

現在の封印ハンター 57体

黄色の1があるのは、レジャー・ビークル・・・

このmissionは、短時間で多くのハンターが放出される上に1回の時間が短いのが特徴だ・・・

メルザス幹部4人衝撃の過去（前書き）

やっぱり2日目を今年中に終わらせて、その後から新マリオストーリーを気長にやって行こうかと。
でも今回は短いです。

メルザス幹部4人衝撃の過去

今、レジャー・ビークルに一番近いのは、クツパ。

その距離は60mだ。

クツパ「おおっ！あんなところにランプの点いた黄色の1が……！」

クツパ「到着！」

残り15秒

クイズ君「19mの針金は何cm？」

クツパ「分かった！1900cmだ！」

クイズ君「正解！」

ガチャ！

これで、1クール of 消去装置は全て終わった……

だが、行きつく暇なく2クール目が始まる……

赤の2 ホテル・シーサイドスーペリア 入り口前

青の2 スイート・ビーチ

黄色の2 コイン・トスの噴水

緑の2 一本杉

水色の1 レイクピア・キャッスル内部
黄緑の1 サンセット岬

一方・・・

ベータ「おーい！皆！」

アルファ「どうした！ベータ！」

ベータ「地下室があるんだよ！」

アルファ「何！？それは俺も知らなかった！」

ラーミラ「面白そうです・・・行ってみましょう！」

レーヴアス「ああ。これは楽しくなりそうだよ！」

なんと、ベータが掃除をしている途中、地下室を見つけた！

アルファ「何もない・・・あるのは、1枚のメモ、4つのワープ装置、そしてなぜか、キャンディ20個。」

ベータ「メモか・・・何だか、怪しいな・・・」

ベータはメモを読んでみた。

「ベルーガ、ジャド、ラーミラ、レーヴアス。君たちは、実は仮面ライダーBLACK RXの四大隊長の力を受け継いだ者たちだ。」

ラーミラ「何！？僕たちが！」

レーヴアス「まさかな・・・後、これを変換すると真魚。」

アルファ「そんなこと言っな！」

「ベルーガはガテゾーンの手で造られた人間、ロボットが半分ずつ分かれているロボット。」

ジャドはマリバロンの手で訓練された妖族。実はマントの裏には、おぞましい姿が隠されている。

ラーミラはボスガンに強化された獣人だった。今は人間として生活している。

レーヴアスはゲドリ안의怪魔異生獣だ。いろいろなものに姿を変えられる。」

アルファ「そんな過去が・・・」

ベータ「そうだ、ベルーガとジャドを生き返らせる方法がある。あの逃走者たちの中から1人の細胞を取ってくれば、生き返らせることができるぞ。」

アルファ「よし、搜索はラーミラ、レーヴアスに任せる。その間に細胞再生装置を準備しておこう。」

ベルーガとジャド、再生の危機！

ハンター、悪を討て！

緑キノピオ「はあああ。牢獄ってつまんねえな……」

と、第一環状線トンネルの方から……

水色ヨッシー「うわああ！」

ハンターB「待てーっ！待たないと捕まえるぞ！」

牢獄全員「お前の仕事じゃねーか！」

ハンターB「あ……？そうか……って、あれ、水色ヨッシーは？」

全員「お前がそんなことしている間に逃げたぞ！」

ハンターB「どっちへ行った！？」

キャサリン（久々の出演）「砂浜の方！」

ハンターB「分かった！有難う！」

マリオ「（キャサリンに嘘を言えて、先に言っておいたんだよ……）」

その頃水色ヨッシーは

水色ヨッシー「はあはあ、ハラハラつり橋の中ごろに来ました。も

う来ないみたいですね……」

その時、自分の足が何かにぶつかった。

水色ヨツシー「ラッキー。宝箱だ。」

中に入っていたのは

水色ヨツシー「40分進ませ時計」この時計のレバーを上げると、40分の時がたつ。missionはそこまでの時間の物がクリアとなる。上げてみましょう。」

グイッ

44・54・00

44・32・07

44・1?・??

プルルル

赤カメツク「水色ヨツシーが時計を使い、40分がたった。その間の2、9クルのハンター達は全てクリア扱いとなった。よし、次は10……つてえ!？」

彼の見たケータイの逃走時間は……

44・10・00

ガゴン

6体のハンターが放出された・・・

10体のハンターとなる・・・

残りは10体・・・

赤カメツク「ど・・・どうして！？まあいいか・・・」

次は11クール目・・・

その頃

レーヴァス「よし・・・あいつだ・・・」

コンドルに変身したレーヴァスが襲ったのは・・・

ピンクヨッシー「何っ!」

ピンクヨッシー・・・

ラーミラ「お前を誘拐させてもらっ!」

ピンクヨッシー「させるか!タマゴ投げ!」

ラーミラ「うわっ!抵抗するな!ロケットランチャー!」

ピンクヨッシー「足の速さで対抗する!」

足が速いピンクヨッシーに攻撃が全然当たらない！

ラーミラ「だけど・・・スピードダウン！」

ピンクヨッシーの周りを時計が回り始めた！

するとどうしたことが、ピンクヨッシーの動きが遅くなってしまった！

ピンクヨッシー「どうしてだ！僕の速さが無くなっている！」

ラーミラ「言葉も遅くなっているー！」

このままではくどいので、4倍速。

レーヴアス「チャラ！チャチャチャチャチャ！」

ラーミラ「トルララララララ！」

バシバシバシバシバシバシ！

ピンクヨッシー「ぐわああああ！」

今度はラーミラとレーヴアスが何を言っているのか分からねえ！おいラーミラ、さっさと戻せ！」

ラーミラ「スピードアップ！」

ピンクヨッシー「隙ありiiiiiiii！」

カシユイイイイイイン！

レーヴアス「ぐあああああ！」

アップーカットが決まった！

レーヴアス「やるな……」

ラーミラ「でもあなたには少し眠ってもらいますよ……スリープ
フラワー！」

花弁が落ちてきた。

ピンクヨッシーは眠らされた。

ラーミラ「とりあえず戻って、次の出撃にまた1人連れ去ってきま
しょう……」

レーヴアス「そうだな……」

一方

ハンターA「メルザスを倒すための装置を、中にいる間に作ってく
れないか？」

牢の中のハンター達「了解！」

次に狙われるのは……

誰だ……

矛盾のその後の話（前書き）

この話はメルザス視点のため、逃走中は全く関係ない。

矛盾のその後の話

メルザスでは、人質にしたピンクヨッシーから細胞を取り、再生装置で見事ベルーガを復活させた。その後、ラーミラは少し自分の部屋に残っていた。レーヴァスはすぐ2人目を連れ去りに行った。

ベルーガ「この姿で復活できた・・・これで、俺も晴れてまたメルザスの一員だ！」

アルファ「とりあえず、1人復活できて良かったな、ベータ。」

ベータ「・・・・・・・・・・」

アルファ「どうした、ベータ？」

ベータ「あのさあ、矛盾っていう話あるじゃん。あれ、結局どうなったんだ？」

そこに・・・

ラーミラ「あの、アルファ。次は何を・・・・」

アルファ「そうだ！」「洗脳ビデオ」だ！」

すると、何故かビデオから放たれる光を2人に当てた。

2人は、何故か落ち着いた様子になった。

アルファ「ベルーガ、お前は矛と盾を2つの場所で売れ。ラーミラ

はベルーガの売る物を見るんだ。」

2人「了解！」

アルファ「ベータ、飛行用監視カメラで2人の様子を覗いてみよ
うぜ。」

その頃

ジョギングエリア

ベルーガ「さあさあ皆さん！この矛はどんな盾でも貫きます！予約
をすれば7日後に使いやすいように出来ますよ！」

全員「って、予約制かよ！」

動かずの時計台前

テレサ「何だかジョギングエリアの方が騒がしいな……っと思
ったら、青の11発見！」

ポチ

クイズ君「だいぶ難しくなりました。ムーチヨ君は母からカレーの
材料のお使いを頼まれました。メモにはこう書いてあります。」

「ムーチョは良く食べるから、カレールーは多い量の多いものにしてね。でも、あまり資金を使わないものにしてね。」

クイズ君「ムーチョ君は1gあたりの資金が一番少ない物を選ぶことにしました。カレールーは3つありました。」

カレールー A 55g 200円

カレールー B 65g 300円

カレールー C 60g 250円

さて、ムーチョ君は何を選んだらいいでしょう?」

テレサ「分かった。」

$200 \div 55 \approx 3.63$

$300 \div 65 \approx 4.61$

$250 \div 60 \approx 4.16$

だから、答えはA。」

クイズ君「正解!」

ガチャ

残り9体

一方今度はニュータウン近くで……

ベルーガ「さあさあ見てくださいよこの盾!どんな矛盾でも突きとおせません!勿論予約制!」

全員「それも正しいから！」

すると、さっきのも2つとも見ていたラーミラが・・・

ラーミラ「じゃあ、その矛でこの盾を突いたらどうなるんですか？」

ベルーガ「あー・・・それは、実際にやってみましょう！」

ベルーガは矛で盾を突いてみた！

ズバツ！

ラーミラ「貫いた！」

と思いきや・・・

矛は中で止まっていた！

ラーミラ「え・・・！？」

アルファ「これを見てどう思う？」

ベータ「・・・まあ、矛の「盾を貫く」っていうのと、盾の「矛を通さない」はどちらもあるから、矛盾ではないな・・・」

矛盾はこの結末で終わった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9996v/>

スーパーマリオスタジアムキャラで逃走中

2011年12月5日19時50分発行